

**平成 26 年度
指標達成度調査
報告書**

札幌市

目 次

1.	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	内容	1
(3)	設計	1
(4)	回収結果	1
(5)	回答者の特性	2
(6)	本調査結果利用上の注意	3
2.	調査結果の詳細	4
(1)	子どもを生み育てやすい環境づくり	4
・	子どもを生み育てやすい環境	4
・	子どもや子育て家庭への配慮	6
・	「仕事」と「私生活」の調和	8
・	安心して妊娠・出産できる環境	10
・	子育てに関する不安や負担とその要因	12
・	子育てに関する相談体制の充実	16
・	保育サービスの利用	20
・	安全に放課後を過ごす場所の確保	22
(2)	子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実	24
・	自然・社会・文化体験をしやすい環境	24
・	特別な配慮が必要な子どもの支援体制	26
・	子どもの権利の保護	28
(3)	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援	30
・	外出頻度	30
・	障がいのある方について	32
(4)	安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実	36
・	犯罪に対する安全性	36
・	犯罪に対して安全ではない理由	38
・	食品の安全性について	40
・	自主的な防犯活動について	42
・	雪の処理に関する取り組みについて	44
・	自転車のルールやマナーについて	46
・	自転車マナーへの意識の高まり	48
・	孤立死について	50
・	生活や健康福祉に関して相談するところ	52
(5)	水道事業について	54
・	水道事業に関する満足度	54
・	水道事業で重視すべきこと	60

(6)	将来を見据えた魅力ある都市の整備	66
・	都心部の「にぎわい」について	66
・	住環境の満足度	68
・	公共交通の満足度	70
(7)	低炭素社会の推進と循環型社会の構築	72
・	生ごみ減量・リサイクルの取り組み	72
・	環境配慮活動について	74
(8)	多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり・札幌に息づく動植物の安全と共生	78
・	花やみどりの現状について	78
・	「生物多様性」の認知度	80
(9)	市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり	82
・	「まちづくり活動」について	82
・	市政参加の機会	85
・	市政参加の意志	87
・	参加しやすくなるために必要なこと	89
・	海外諸都市や外国人の方との交流	91
(10)	多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり	93
・	文化芸術活動について	93
・	文化財施設の認知状況	95
・	1年間に行ったスポーツの種類	97
・	スポーツの頻度	99
・	スポーツ観戦について	101

調査票	103
-----------	-----

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意見を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 子どもを生み育てやすい環境づくり
- ② 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実
- ③ 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
- ④ 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実
- ⑤ 水道事業について
- ⑥ 将来を見据えた魅力ある都市の整備
- ⑦ 低炭素社会の推進と循環型社会の構築
- ⑧ 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり・札幌に息づく動植物の保全と共生
- ⑨ 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり
- ⑩ 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しみ健康づくりを推進するまちづくり

(3) 設計

本調査は、次のとおり設計した。

- | | |
|----------|---|
| ① 調査地域 | 札幌市内 |
| ② 調査対象 | 満20歳以上の男女個人 |
| ③ 標本数 | 5,000人 |
| ④ 調査方法 | 調査票を郵送し、返信用封筒で回収 |
| ⑤ 調査期間 | 平成27年1月30日(金)～平成27年2月25日(水) |
| ⑥ 抽出方法 | 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う) |
| ⑦ 調査実施機関 | 有限会社タイムエージェント |

(4) 回収結果

- | | |
|----------|--------------|
| ① 発送数 | 5,000 |
| ② 回収数(率) | 2,002(40.0%) |

(5) 回答者の特性

区	分	実数 (件)	比率 (%)
合	計	2,002	100.0
【性別】			
男	性	793	39.6
女	性	1180	58.9
無	回 答	29	1.4
【年齢】			
20	～ 29 歳	149	7.4
30	～ 39 歳	268	13.4
40	～ 49 歳	335	16.7
50	～ 59 歳	332	16.6
60	～ 64 歳	217	10.8
65	～ 69 歳	231	11.5
70	歳 以 上	446	22.3
無	回 答	24	1.2
【居住区】			
中	央 区	229	11.4
北	区	300	15.0
東	区	254	12.7
白	石 区	172	8.6
厚	別 区	138	6.9
豊	平 区	229	11.4
清	田 区	117	5.8
南	区	164	8.2
西	区	226	11.3
手	稲 区	148	7.4
無	回 答	25	1.2

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数を分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

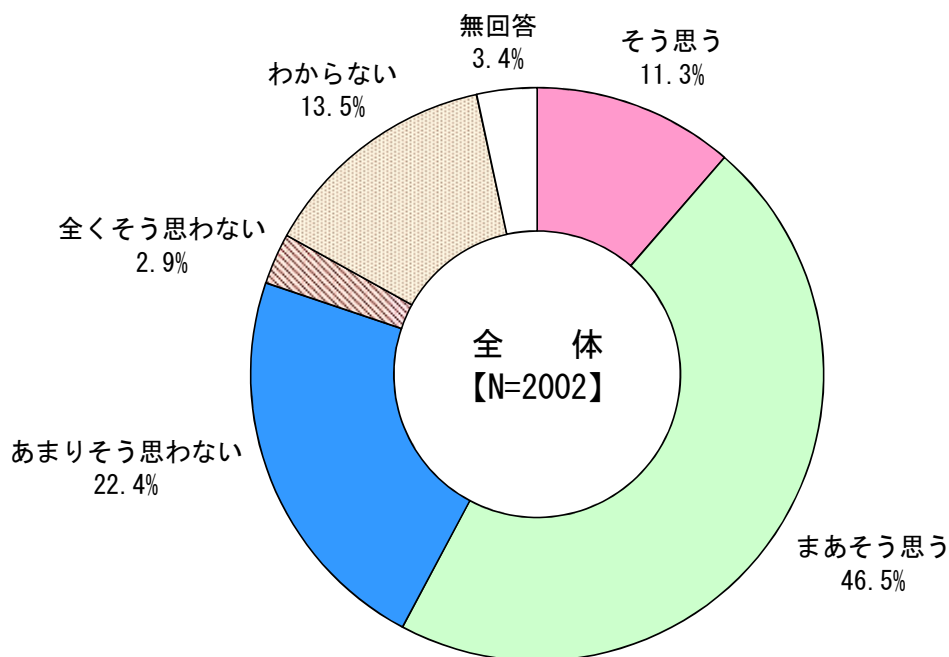
2. 調査結果の詳細

(1) 子どもを生み育てやすい環境づくり

・ 子どもを生み育てやすい環境

【問1】 札幌市は、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生み育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」(11.3%)と「まあそう思う」(46.5%)を合わせた“そう思う”(57.8%)が全体の約 6 割を占めている。



【対象者全体】

子どもを生み育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」が 46.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 22.4%、「わからない」が 13.5%、「そう思う」が 11.3%、「全くそう思わない」が 2.9%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性で 47.7%、女性で 45.9%となっている。「そう思う」は男性が 12.4%と女性の 10.8%と比較し若干高い。

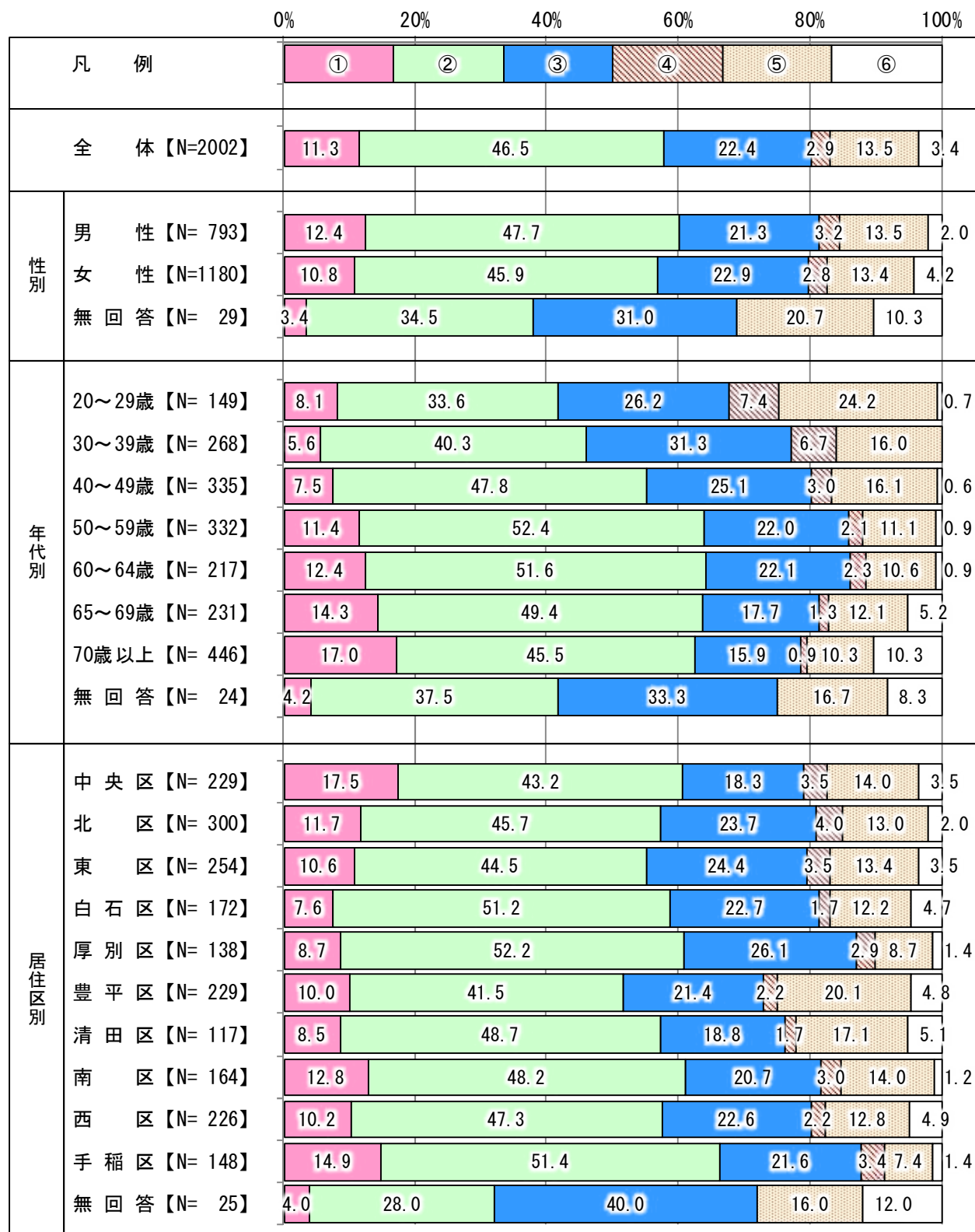
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、特に 50 歳代では 52.4%、60～64 歳では 51.6%と 5 割を超えている。「あまりそう思わない」は 30 歳代が 31.3%と最も高く、年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に白石区、厚別区、手稲区では 5 割を超えている。「そう思う」は中央区が 17.5%と他の居住区と比較し高い。

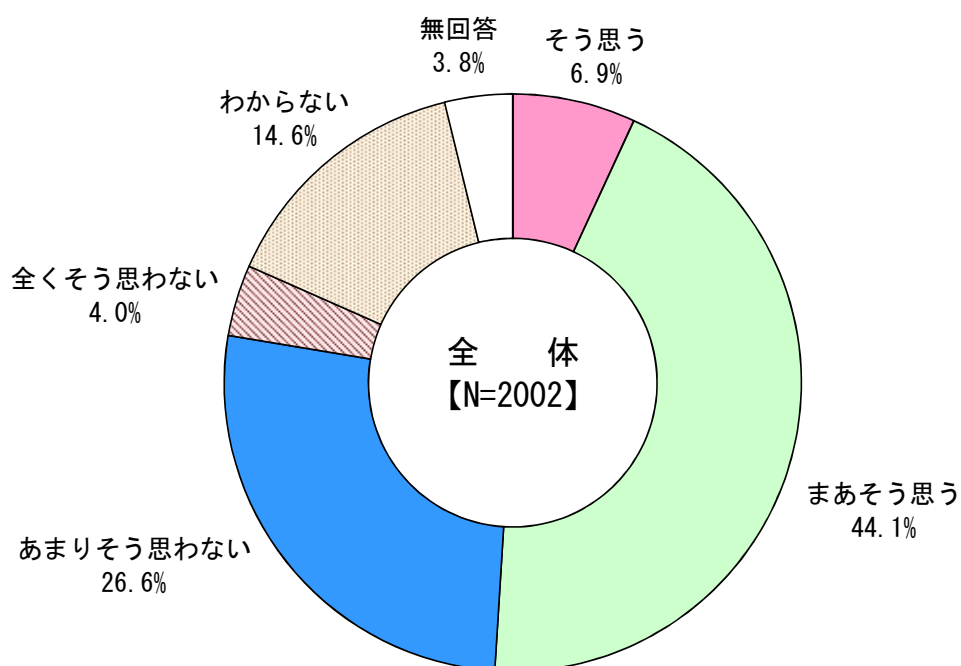
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 子どもや子育て家庭への配慮

【問2】 札幌市は、子どもと子育て家庭が暮らしやすいまちとして、住んでいる地域の住環境や公共施設が子どもや子育て家庭に配慮されていると思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

子どもや子育て家庭への配慮があるかについては、「そう思う」(6.9%)と「まあそう思う」(44.1%)を合わせた“そう思う”(51.0%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

子どもや子育て家庭への配慮があるかについては、「まあそう思う」が 44.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 26.6%、「わからない」が 14.6%、「そう思う」が 6.9%、「全くそう思わない」が 4.0%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、それぞれ 44.3%となっている。「そう思う」は男性が 8.6%と女性の 5.9%と比較し高い。

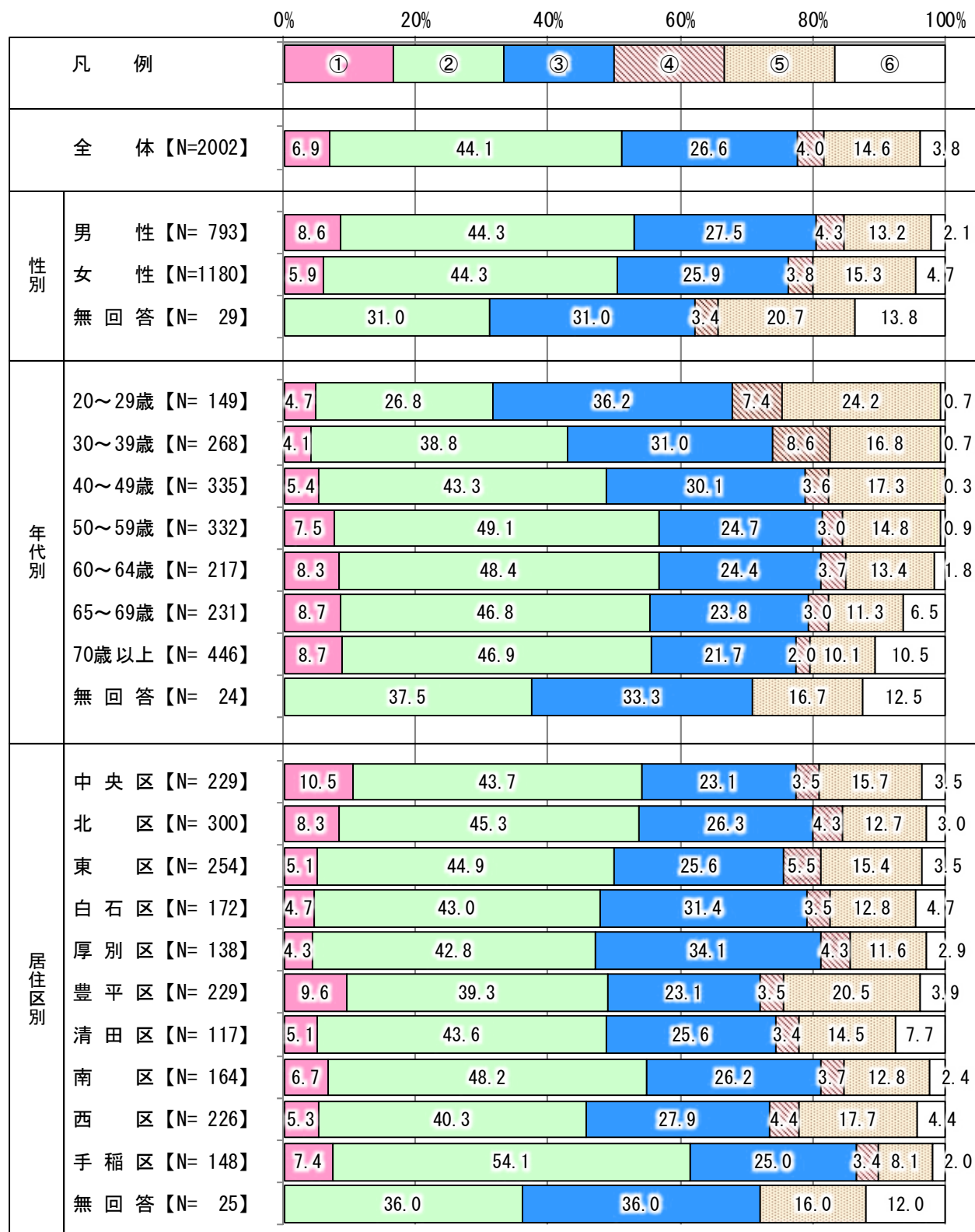
【年代別】

20 歳代を除く全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、特に 50 歳代では 49.1%と 5 割程度となっている。「あまりそう思わない」は 20 歳代で 36.2%と最も高く、年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、手稲区では 54.1%と 5 割を超えている。「そう思う」は中央区が 10.5%、豊平区が 9.6%と他の居住区と比較し高い。「あまりそう思わない」は厚別区で 34.1%、白石区で 31.4%と他の居住区と比較し高い。

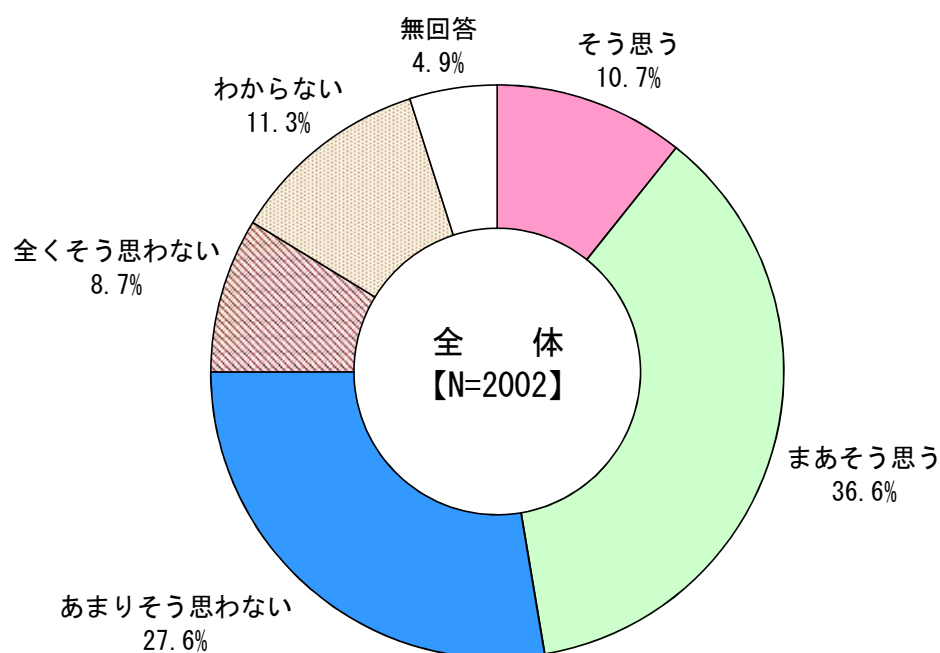
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 「仕事」と「私生活」の調和

【問3】 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれているかについては、「そう思う」（10.7%）と「まあそう思う」（36.6%）を合わせた“そう思う”（47.3%）が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれているかについては、「まあそう思う」が 36.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 27.6%、「わからない」が 11.3%、「そう思う」が 10.7%、「全くそう思わない」が 8.7%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 38.1%、女性が 36.1%となっている。「そう思う」は女性が 11.6%と男性の 9.7%と比較し若干高い。

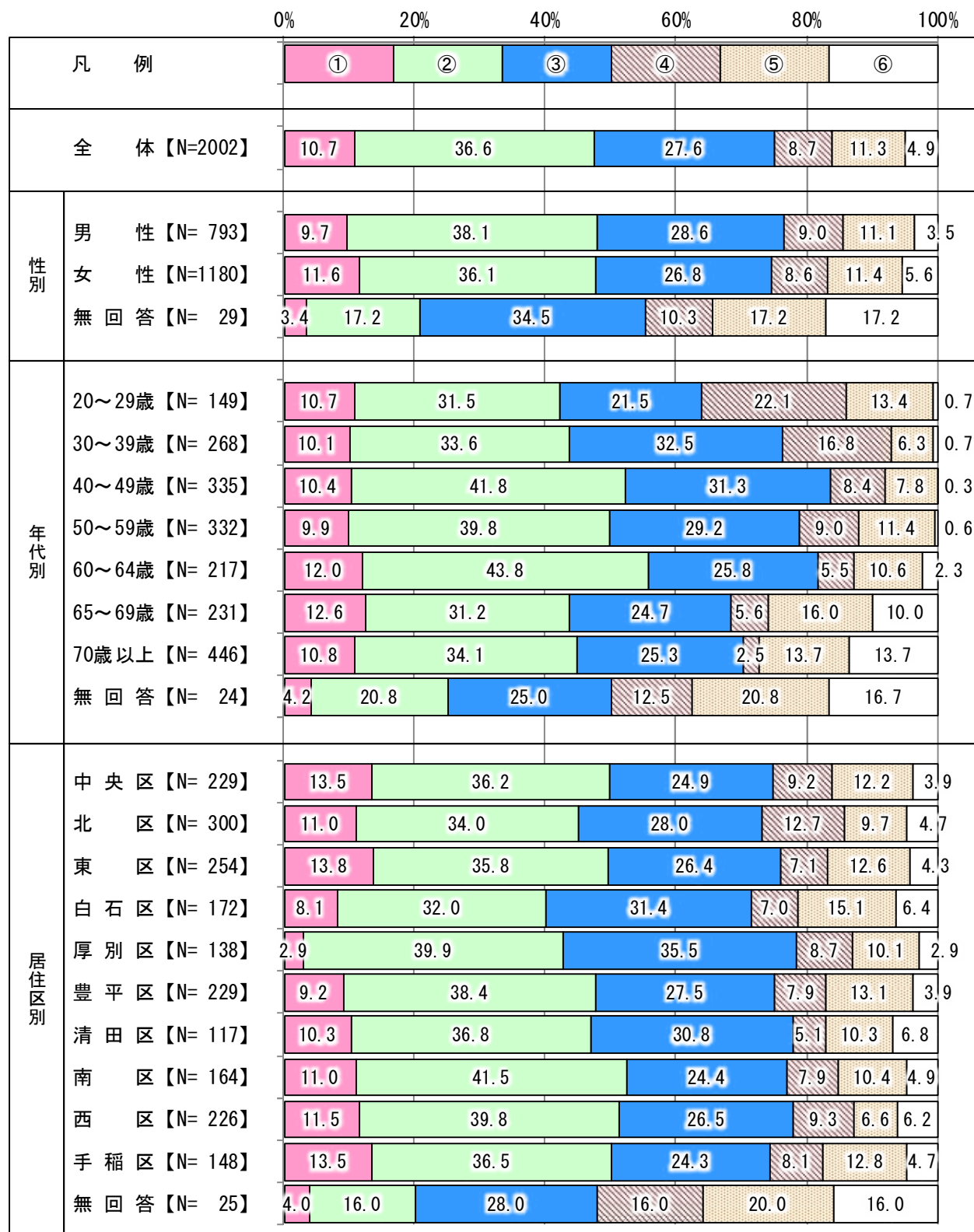
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、60～64 歳が 43.8%、40 歳代が 41.8%と 4 割を超えている。「全くそう思わない」は 20 歳代で 22.1%と最も高く、年代が上がるにつれ減少する傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、南区では 41.5%と 4 割を超えている。「そう思う」は厚別区で 2.9%と他の居住区と比較し低い。

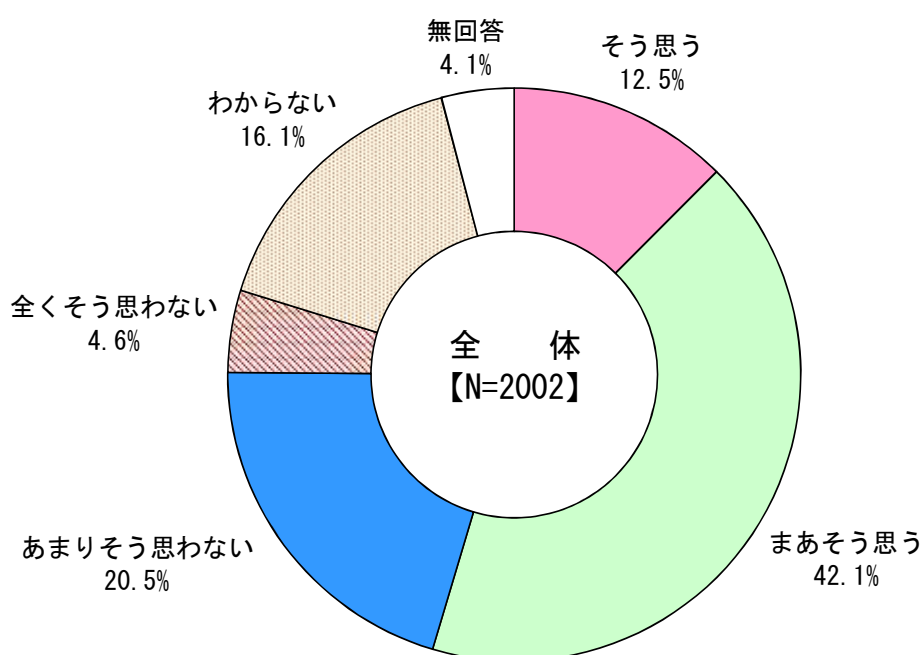
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 安心して妊娠・出産できる環境

【問4】 札幌市は、安心して妊娠・出産できる環境が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「そう思う」(12.5%)と「まあそう思う」(42.1%)を合わせた“そう思う”(54.6%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

安心して妊娠・出産できる環境が整っているかについては、「まあそう思う」が 42.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 20.5%、「わからない」が 16.1%、「そう思う」が 12.5%、「全くそう思わない」が 4.6%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 43.9%、女性が 41.4%となっている。「そう思う」は男性が 14.9%と女性の 11.0%と比較し高い。

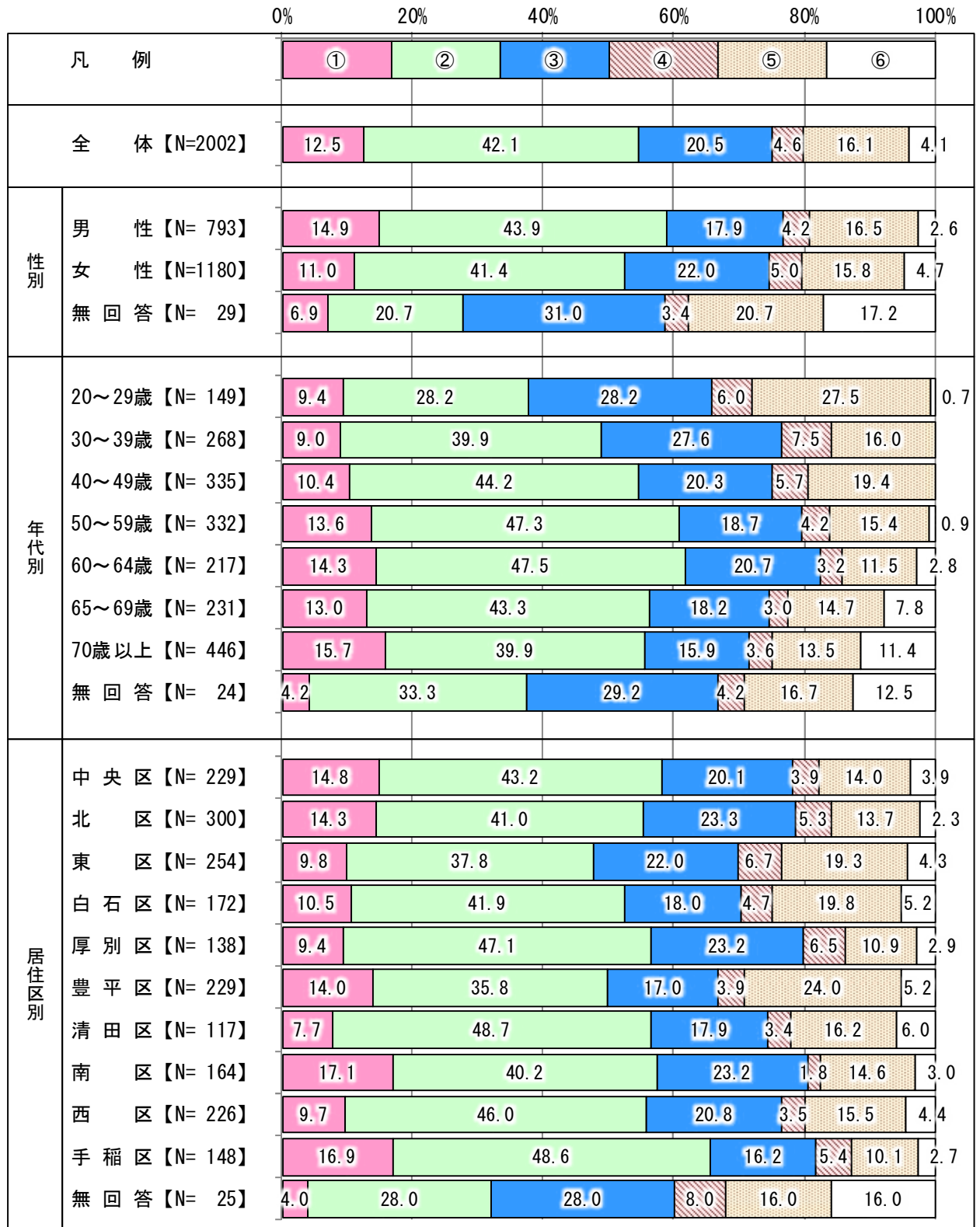
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、30 歳以上になると 4 割程度となっている。「あまりそう思わない」は 20 歳代で 28.2%と最も高く、年代が上がるにつれ減少する傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に清田区が 48.7%、手稲区が 48.6%となっている。「そう思う」は南区が 17.1%、手稲区が 16.9%と他の居住区と比較し高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

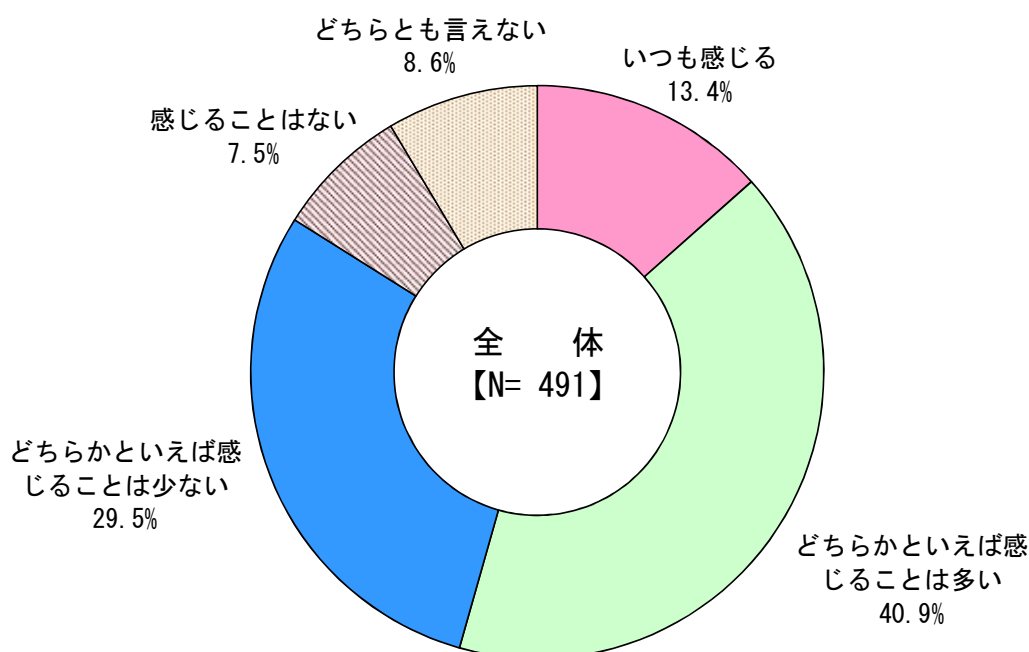


・ 子育てに関する不安や負担とその要因

【問5】 この設問は 18 歳以下のお子さんがいる方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、子育てに関して不安や負担を感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関して不安や負担を感じているかについては、「いつも感じる」(13.4%)と「どちらかといえば感じることは多い」(40.9%)を合わせた“感じる”(54.3%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

子育てに関して不安や負担を感じているかについては、「どちらかといえば感じることは多い」が 40.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じることは少ない」が 29.5%、「いつも感じる」が 13.4%、「どちらとも言えない」が 8.6%、「感じることはない」が 7.5%となっている。

【性別】

男女共に「どちらかといえば感じることは多い」が最も高く、男性が 43.2%、女性が 39.9%となっている。「どちらかといえば感じることは少ない」は女性が 33.9%と男性の 21.3%と比較し高い。

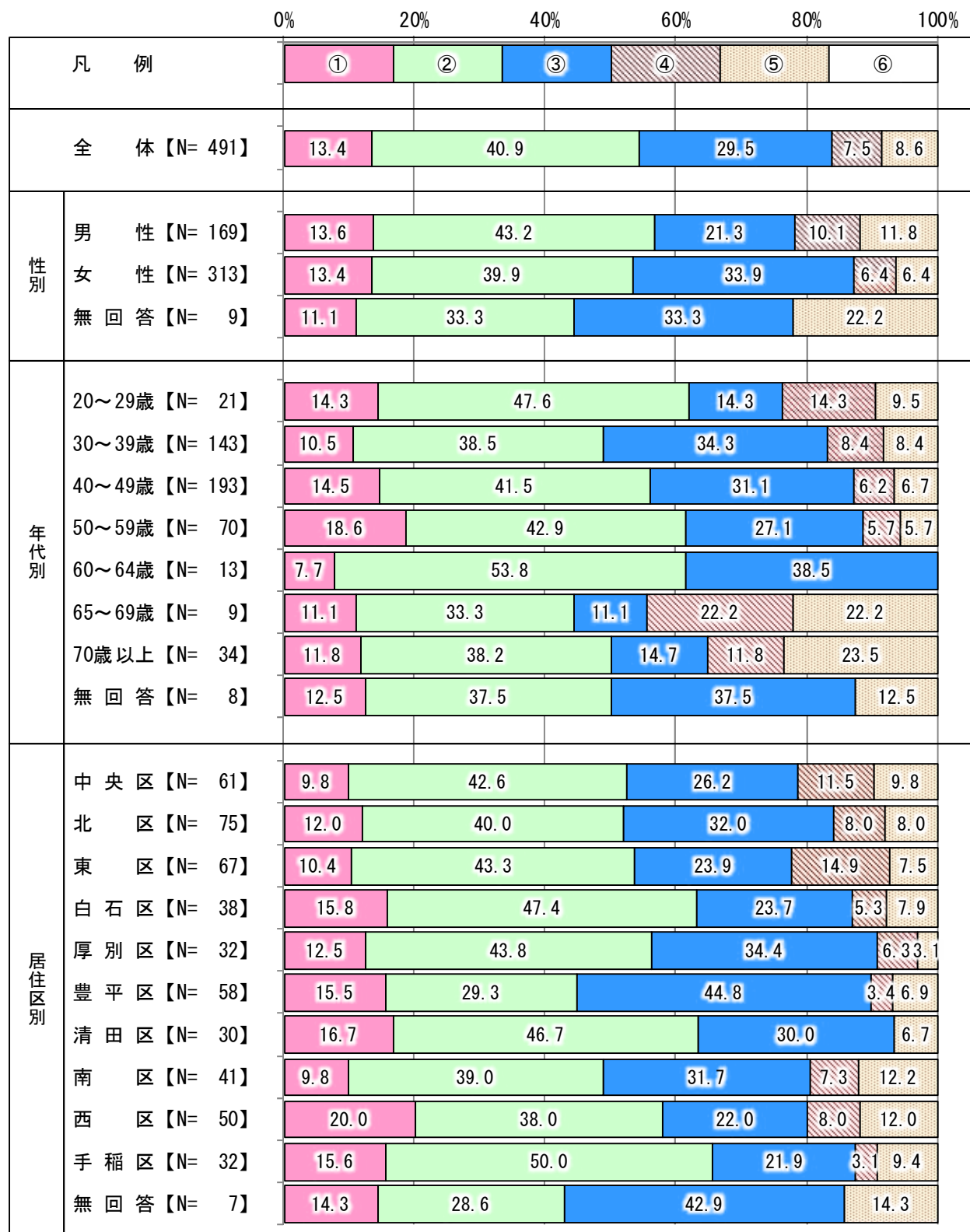
【年代別】

全年代で「どちらかといえば感じることは多い」が最も高く、60～64 歳では 53.8%と 5 割を超えている。「いつも感じる」は 50 歳代で 18.6%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

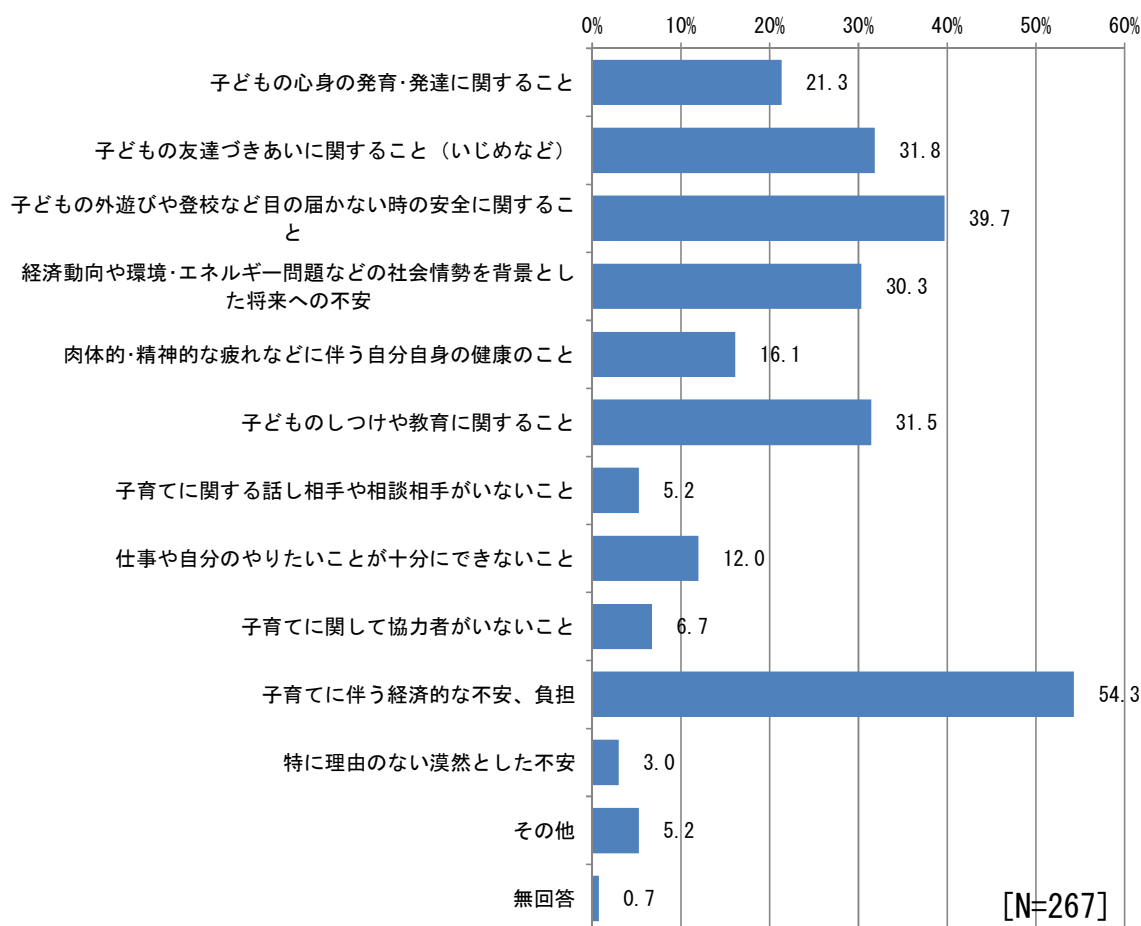
豊平区を除く全ての居住区で「どちらかといえば感じることは多い」が最も高く、手稲区が 50.0%と 5 割を超えている。豊平区では「どちらかといえば感じることは少ない」が 44.8%と 4 割を超えている。「いつも感じる」は西区が 20.0%と他の居住区と比較し高い。

- ①いつも感じる ②どちらかといえば感じることは多い ③どちらかといえば感じることは少ない
④感じることはない ⑤どちらとも言えない ⑥無回答



(2) この設問は(1)で「1. いつも感じる」、「2. どちらかといえば感じることは多い」と答えた方にお聞きします。どのようなことに不安や負担を感じますか（三つまで選択可）。

子育てに関する不安や負担を感じる要因については、「子育てに伴う経済的な不安、負担」(54.3%)が最も高く、5割を超えている。



【対象者全体】

子育てに関する不安や負担を感じる要因については、「子育てに伴う経済的な不安、負担」が 54.3%と最も高く、次いで「子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること」が 39.7%、「子どもの友達づきあいに関すること（いじめなど）」が 31.8%となっている。

【性別】

男性は「経済動向や環境・エネルギー問題などの社会情勢を背景とした将来への不安」が 38.5%と女性の 25.7%と比較し高い。女性は「肉体的・精神的な疲れなどに伴う自分自身の健康のこと」が 18.6%と男性の 10.4%と比較し高い。

【年代別】

20歳代では「子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること」が 53.8%、60～64歳では「子育てに関する話し相手や相談相手がいないこと」が 37.5%、65～69歳では「経済動向や環境・エネルギー問題などの社会情勢を背景とした将来への不安」が 50.0%と、それぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

北区では「経済動向や環境・エネルギー問題などの社会情勢を背景とした将来への不安」が 46.2%、白石区では「肉体的・精神的な疲れなどに伴う自分自身の健康のこと」が 37.5%、厚別区では「子育てに伴う経済的な不安、負担」が 72.2%、清田区では「子どもの友達つきあいに関すること(いじめなど)」が 52.6%と、それぞれ他の居住区と比較し高い。

問5-2 不安や負担を感じる要因

(単位：%)

		回答者数	子どもの心身の発育・発達に関すること	子どもの友達つきあいに関すること(いじめなど)	子どもの外遊びや登校など目の届かない時の安全に関すること	経済動向や環境・エネルギー問題などの社会情勢を背景とした将来への不安	肉体的・精神的な疲れなどに伴う自分自身の健康のこと	子どものしつけや教育に関すること	子育てに関する話し相手や相談相手がいらないこと	仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	子育てに関して協力者がいないこと	子育てに伴う経済的な不安、負担	特に理由のない漠然とした不安	その他	無回答	計
全体		267	21.3	31.8	39.7	30.3	16.1	31.5	5.2	12.0	6.7	54.3	3.0	5.2	0.7	258.1
性別	男性	96	24.0	30.2	41.7	38.5	10.4	29.2	4.2	8.3	2.1	58.3	4.2	2.1	-	253.1
	女性	167	19.8	32.9	39.5	25.7	18.6	31.7	6.0	13.2	9.0	52.7	2.4	7.2	1.2	259.9
	無回答	4	25.0	25.0	-	25.0	50.0	75.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	300.0
年代別	20～29歳	13	7.7	23.1	53.8	15.4	23.1	15.4	7.7	15.4	7.7	61.5	-	7.7	-	238.5
	30～39歳	70	24.3	17.1	41.4	21.4	18.6	27.1	5.7	20.0	10.0	60.0	1.4	7.1	-	254.3
	40～49歳	108	23.1	35.2	40.7	33.3	10.2	37.0	3.7	7.4	5.6	51.9	1.9	4.6	1.9	256.5
	50～59歳	43	23.3	41.9	37.2	39.5	18.6	32.6	2.3	9.3	4.7	53.5	9.3	7.0	-	279.1
	60～64歳	8	12.5	75.0	25.0	25.0	25.0	-	37.5	-	-	75.0	-	-	-	275.0
	65～69歳	4	25.0	-	50.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	275.0
	70歳以上	17	11.8	41.2	29.4	41.2	17.6	29.4	5.9	5.9	-	47.1	5.9	-	-	235.3
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	250.0
居住区別	中央区	32	21.9	37.5	46.9	21.9	9.4	34.4	3.1	12.5	12.5	31.3	-	3.1	6.3	240.6
	北区	39	15.4	28.2	35.9	46.2	5.1	28.2	10.3	7.7	5.1	69.2	-	2.6	-	253.8
	東区	36	11.1	27.8	44.4	30.6	19.4	36.1	5.6	13.9	5.6	63.9	2.8	5.6	-	266.7
	白石区	24	16.7	29.2	29.2	25.0	37.5	16.7	8.3	8.3	8.3	54.2	4.2	12.5	-	250.0
	厚別区	18	27.8	16.7	33.3	22.2	16.7	33.3	-	5.6	-	72.2	-	11.1	-	238.9
	豊平区	26	34.6	34.6	42.3	30.8	11.5	23.1	3.8	15.4	7.7	38.5	11.5	7.7	-	261.5
	清田区	19	15.8	52.6	57.9	21.1	21.1	42.1	5.3	10.5	5.3	42.1	10.5	-	-	284.2
	南区	20	30.0	30.0	25.0	45.0	20.0	25.0	-	20.0	5.0	55.0	-	10.0	-	265.0
	西区	29	20.7	31.0	37.9	31.0	10.3	44.8	6.9	6.9	3.4	58.6	-	3.4	-	255.2
	手稲区	21	33.3	33.3	47.6	23.8	14.3	23.8	4.8	14.3	9.5	57.1	4.8	-	-	266.7
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	66.7	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	300.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

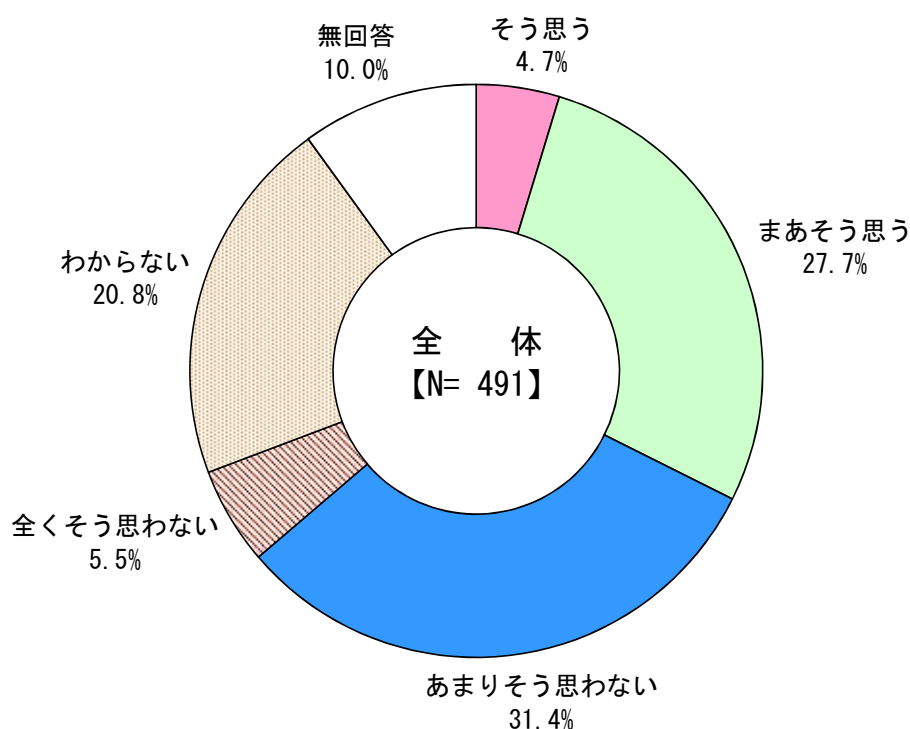
対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 子育てに関する相談体制の充実

【問6】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、子育てについての相談が必要な時、札幌市の相談体制は整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する相談体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(31.4%)と「全くそう思わない」(5.5%)を合わせた“そう思わない”(36.9%)が全体の約 4 割を占めている。



【対象者全体】

子育てに関する相談体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」が 31.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 27.7%、「わからない」が 20.8%、「全くそう思わない」が 5.5%、「そう思う」が 4.7%となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」が最も高く、男性が 30.8%、女性が 31.9%となっている。「まあそう思う」は、女性が 29.4%と男性の 24.3%と比較し高い。

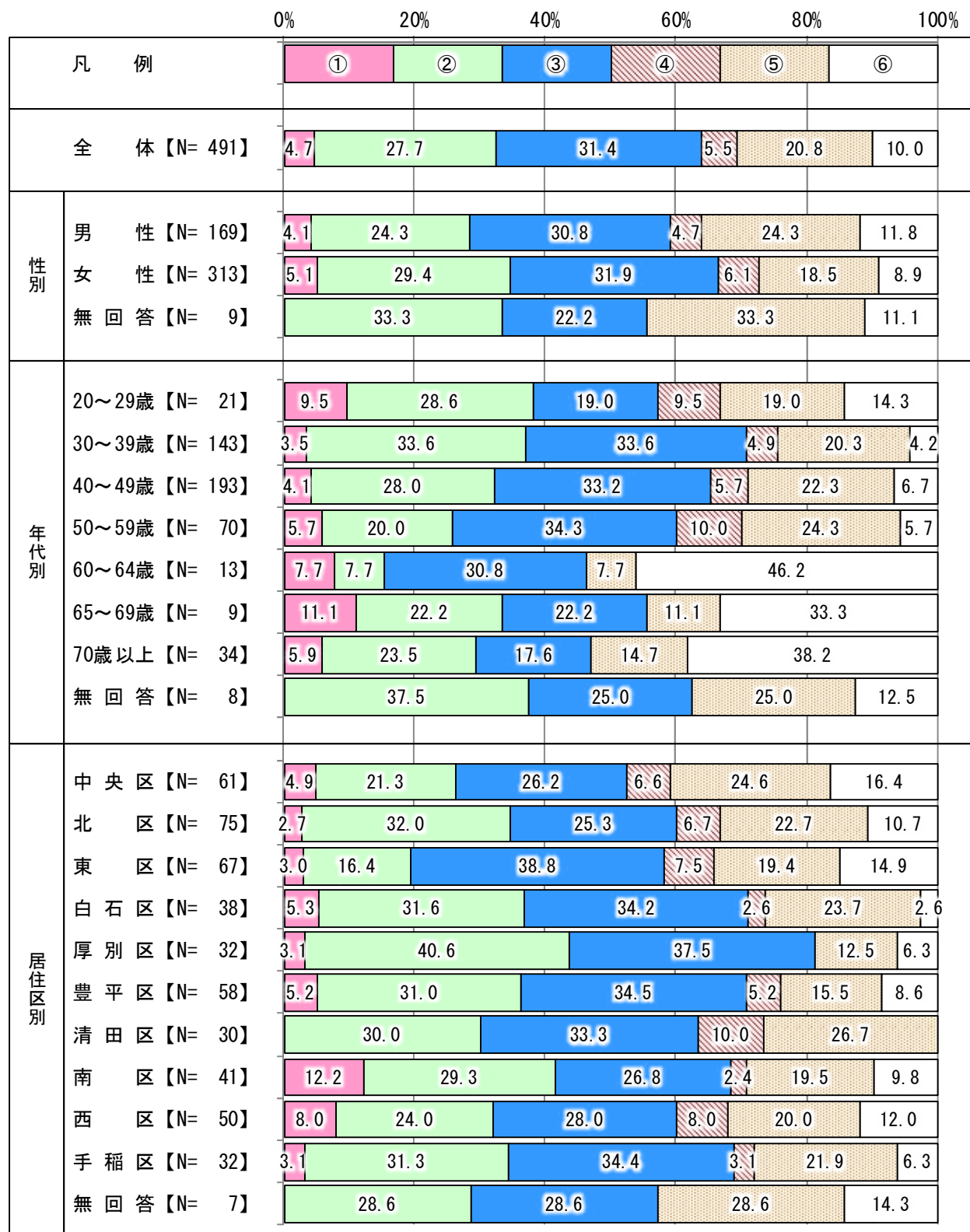
【年代別】

20 歳代、30 歳代、65～69 歳、70 歳以上では「まあそう思う」が最も高く、30 歳代では 33.6%と 3 割を超えている。40 歳代、50 歳代、60～64 歳では「あまりそう思わない」が最も高く、3 割程度となっている。

【居住区別】

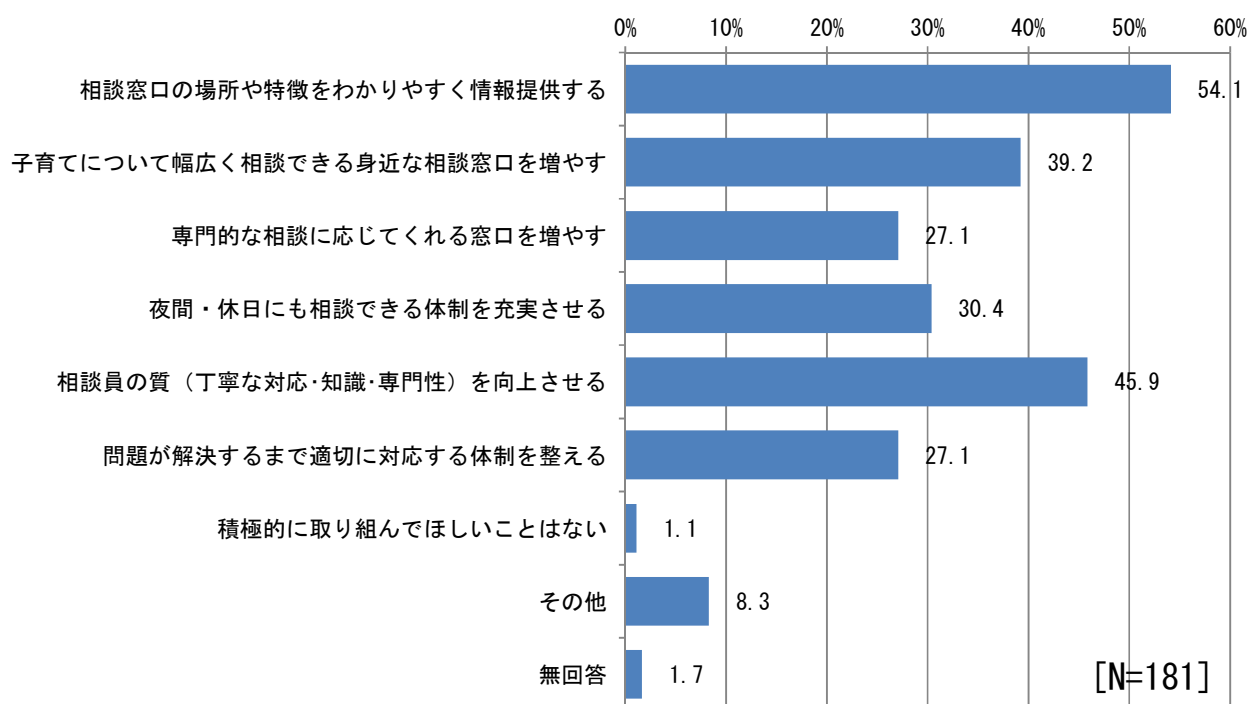
中央区、東区、白石区、豊平区、清田区、西区、手稲区では「あまりそう思わない」が最も高く、3 割程度となっている。北区、厚別区、南区では「まあそう思う」が最も高い。「そう思う」は南区で 12.2%と他の居住区と比較し高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



(2) この設問は(1)で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きます。札幌市の子育てについての相談体制として、積極的に取り組んでほしいことは何ですか（三つまで○）。

子育てに関する相談体制として積極的に取り組んでほしいことについては、「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」(54.1%)が最も高く、5割を超えている。



【対象者全体】

子育てに関する相談体制として積極的に取り組んでほしいことについては、「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」が 54.1%と最も高く、次いで「相談員の質（丁寧な対応・知識・専門性）を向上させる」が 45.9%、「子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす」が 39.2%となっている。

【性別】

男性は、「夜間・休日にも相談できる体制を充実させる」が 40.0%と女性の 26.1%と比較し高い。女性は「子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす」が 47.9%と男性の 21.7%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代は「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」が 66.7%、50 歳代は「問題が解決するまで適切に対応する体制を整える」が 41.9%、65～69 歳は「専門的な相談に応じてくれる窓口を増やす」が 50.0%と、それぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

北区は「問題が解決するまで適切に対応する体制を整える」が 41.7%、東区は「相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する」が 71.0%、手稲区は「相談員の質（丁寧な対応・知識・専門性）を向上させる」が 75.0%と、それぞれ他の居住区と比較し高い。

問6-2 子育てに関する相談体制として取り組んでほしいこと

(単位：%)

		回答者数	相談窓口の場所や特徴をわかりやすく情報提供する	子育てについて幅広く相談できる身近な相談窓口を増やす	専門的な相談に応じてくれる窓口を増やす	夜間・休日にも相談できる体制を充実させる	相談員の質（丁寧な対応・知識・専門性）を向上させる	問題が解決するまで適切に対応する体制を整える	積極的に取り組んでほしいことはない	その他	無回答	計
全体		181	54.1	39.2	27.1	30.4	45.9	27.1	1.1	8.3	1.7	234.8
性別	男性	60	60.0	21.7	30.0	40.0	35.0	21.7	-	8.3	3.3	220.0
	女性	119	51.3	47.9	26.1	26.1	51.3	28.6	1.7	8.4	0.8	242.0
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	250.0
年代別	20～29歳	6	66.7	33.3	-	66.7	-	16.7	-	-	-	183.3
	30～39歳	55	60.0	49.1	25.5	23.6	47.3	20.0	-	12.7	1.8	240.0
	40～49歳	75	50.7	33.3	33.3	30.7	48.0	25.3	2.7	6.7	1.3	232.0
	50～59歳	31	61.3	25.8	25.8	32.3	51.6	41.9	-	9.7	-	248.4
	60～64歳	4	25.0	75.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-	-	225.0
	65～69歳	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	200.0
	70歳以上	6	16.7	66.7	16.7	50.0	33.3	33.3	-	-	-	216.7
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	250.0
居住区別	中央区	20	45.0	45.0	15.0	20.0	40.0	20.0	-	10.0	5.0	200.0
	北区	24	54.2	58.3	25.0	33.3	37.5	41.7	-	12.5	-	262.5
	東区	31	71.0	25.8	25.8	38.7	48.4	25.8	-	9.7	3.2	248.4
	白石区	14	57.1	28.6	14.3	42.9	21.4	28.6	7.1	-	-	200.0
	厚別区	12	66.7	50.0	41.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-	225.0
	豊平区	23	52.2	39.1	39.1	21.7	43.5	13.0	-	17.4	4.3	230.4
	清田区	13	46.2	38.5	23.1	23.1	69.2	30.8	7.7	-	-	238.5
	南区	12	66.7	33.3	25.0	41.7	41.7	33.3	-	-	-	241.7
	西区	18	33.3	27.8	22.2	33.3	55.6	27.8	-	16.7	-	216.7
	手稲区	12	41.7	50.0	50.0	33.3	75.0	25.0	-	-	-	275.0
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	250.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

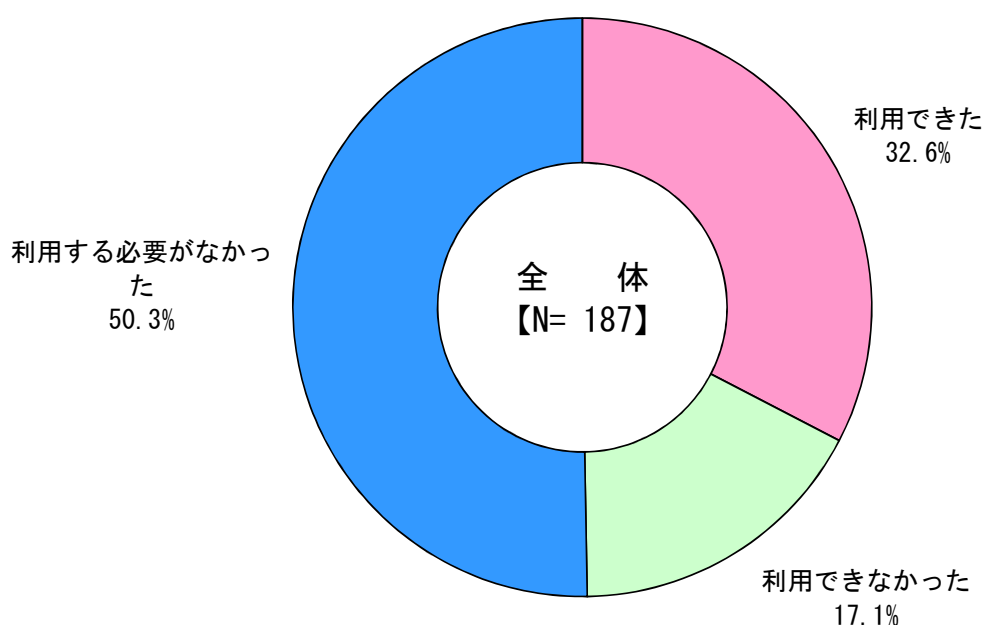
対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 保育サービスの利用

【問7】 この設問は就学前のお子さんがある方にのみお聞きします。あなたは、この1年間に、希望した時期に、希望した保育サービス*を利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ここでいう「保育サービス」とは、認可保育所への入所のほか、延長保育、病児・病後児保育などあらゆる保育サービスを含みます。

保育サービスの利用については、「利用できた」(32.6%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

保育サービスの利用については、「利用する必要がなかった」が50.3%と最も高く、次いで「利用できた」が32.6%、「利用できなかった」が17.1%となっている。

【性別】

男女共に「利用する必要がなかった」が最も高く、男性が57.8%、女性が47.5%となっている。「利用できなかった」は女性が18.6%と男性の12.5%と比較し高い。

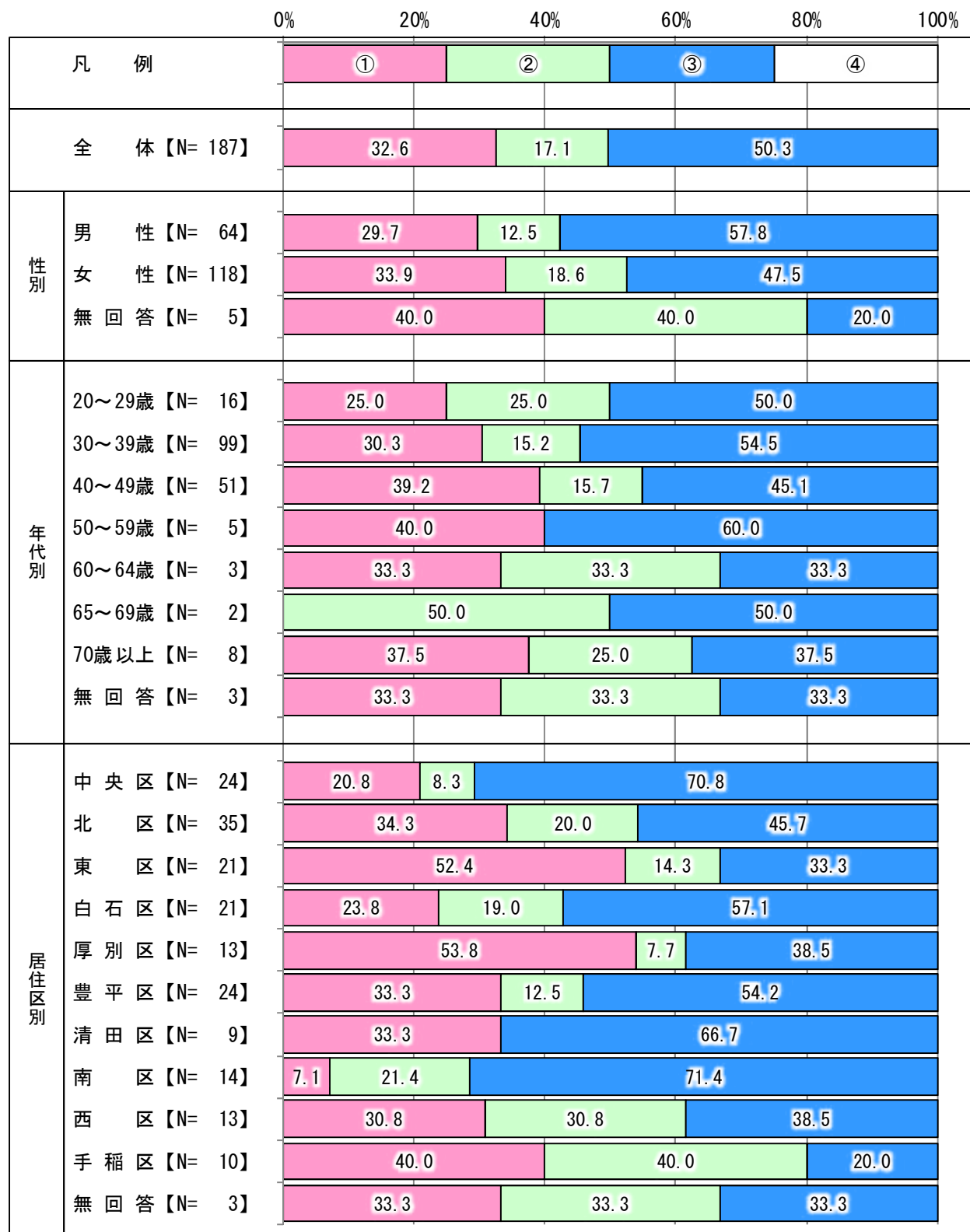
【年代別】

60歳代、70歳以上を除く全ての年代で「利用する必要がなかった」が最も高く、特に50歳代が60.0%と6割を占めている。60歳以上では「利用できた」が最も高く、65～69歳が50.0%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

中央区、北区、白石区、豊平区、清田区、南区、西区では「利用する必要がなかった」が最も高く、特に中央区が70.8%、南区が71.4%と7割を超えている。東区、厚別区、手稲区では「利用できた」が最も高い。「利用できなかった」は西区が30.8%、手稲区が40.0%と他の居住区と比較し高い。

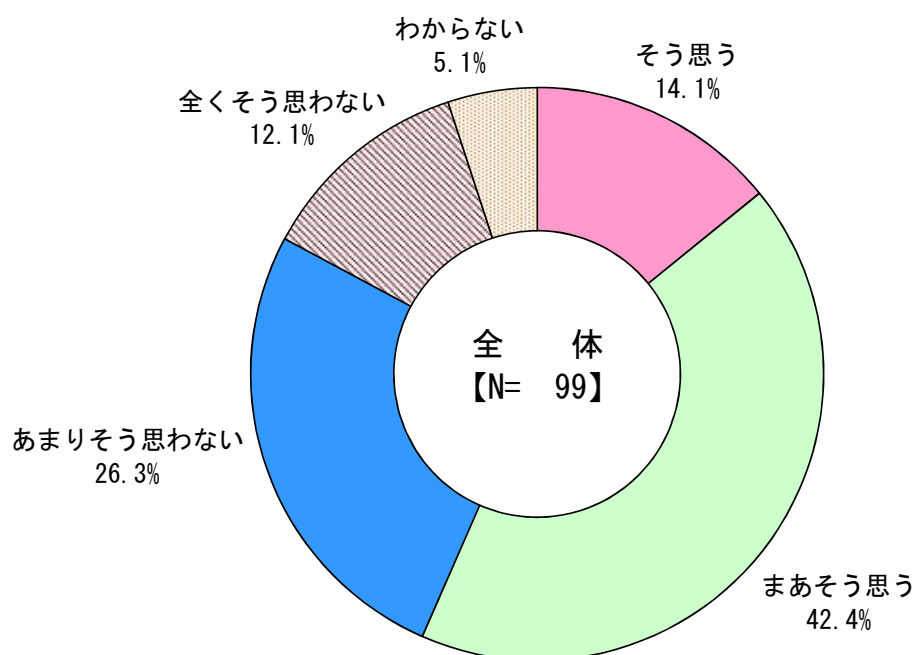
①利用できた	②利用できなかった	③利用する必要がなかった	④無回答
--------	-----------	--------------	------



・ 安全に放課後を過ごす場所の確保

【問8】 この設問は保護者が共働きなどで小学生のお子さんが放課後に家に1人でいられないご家庭の方にのみお聞きします。札幌市は、子どもが、安全に放課後を過ごす場所が確保されていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが安全に放課後を過ごす場所が確保されているかについては、「そう思う」(14.1%)と「まあそう思う」(42.4%)を合わせた“そう思う”(56.5%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもが安全に放課後を過ごす場所が確保されているかについては、「まあそう思う」が 42.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 26.3%、「そう思う」が 14.1%、「全くそう思わない」が 12.1%、「わからない」が 5.1%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 43.9%、女性が 38.2%となっている。「全くそう思わない」は女性が 16.4%と男性の 7.3%と比較し高い。

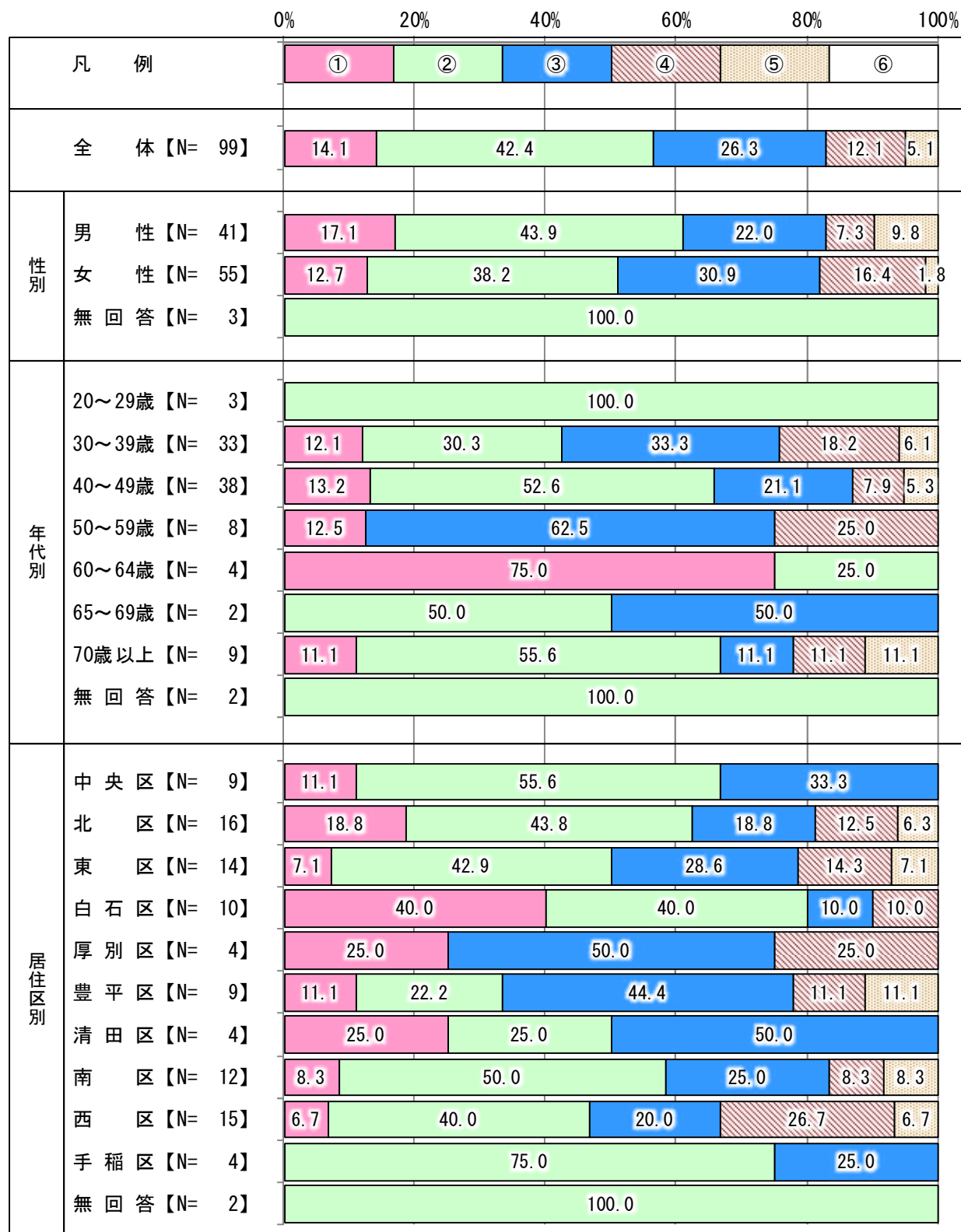
【年代別】

20 歳代、40 歳代、65～69 歳、70 歳以上では「まあそう思う」が最も高く、特に 20 歳代では 100.0%となっている。30 歳代、50 歳代では「あまりそう思わない」が最も高く、50 歳代では 62.5%となっている。60～64 歳では「そう思う」が 75.0%と最も高い。年代によって大きなバラつきが見られる

【居住区別】

中央区、北区、東区、南区、西区、手稲区では「まあそう思う」が最も高く、特に手稲区では 75.0%となっている。白石区では「そう思う」が 40.0%と高い。厚別区、豊平区、清田区では「あまりそう思わない」が最も高く、それぞれ 5 割程度となっている。「全くそう思わない」は厚別区が 25.0%、西区が 26.7%と他の居住区と比較し高い。居住区によって大きなバラつきが見られる。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

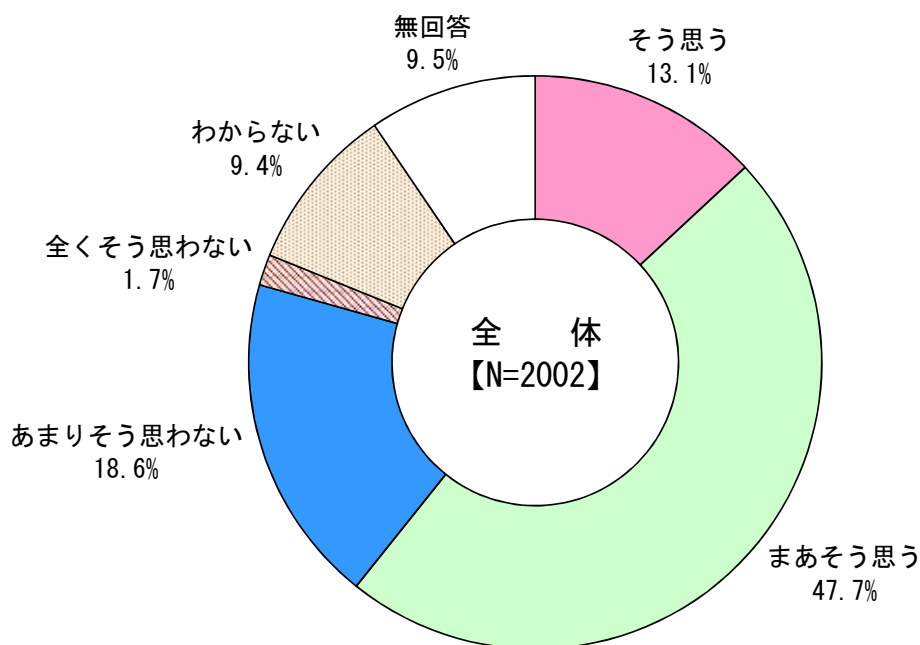


(2) 子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実

・ 自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問9】 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「そう思う」(13.1%)と「まあそう思う」(47.7%)を合わせた“そう思う”(60.8%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「まあそう思う」が 47.7%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 18.6%、「そう思う」が 13.1%、「わからない」が 9.4%、「全くそう思わない」が 1.7%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 51.1%、女性が 45.8%となっている。「そう思う」は男性が 14.9%と女性の 12.1%と比較し若干高い。

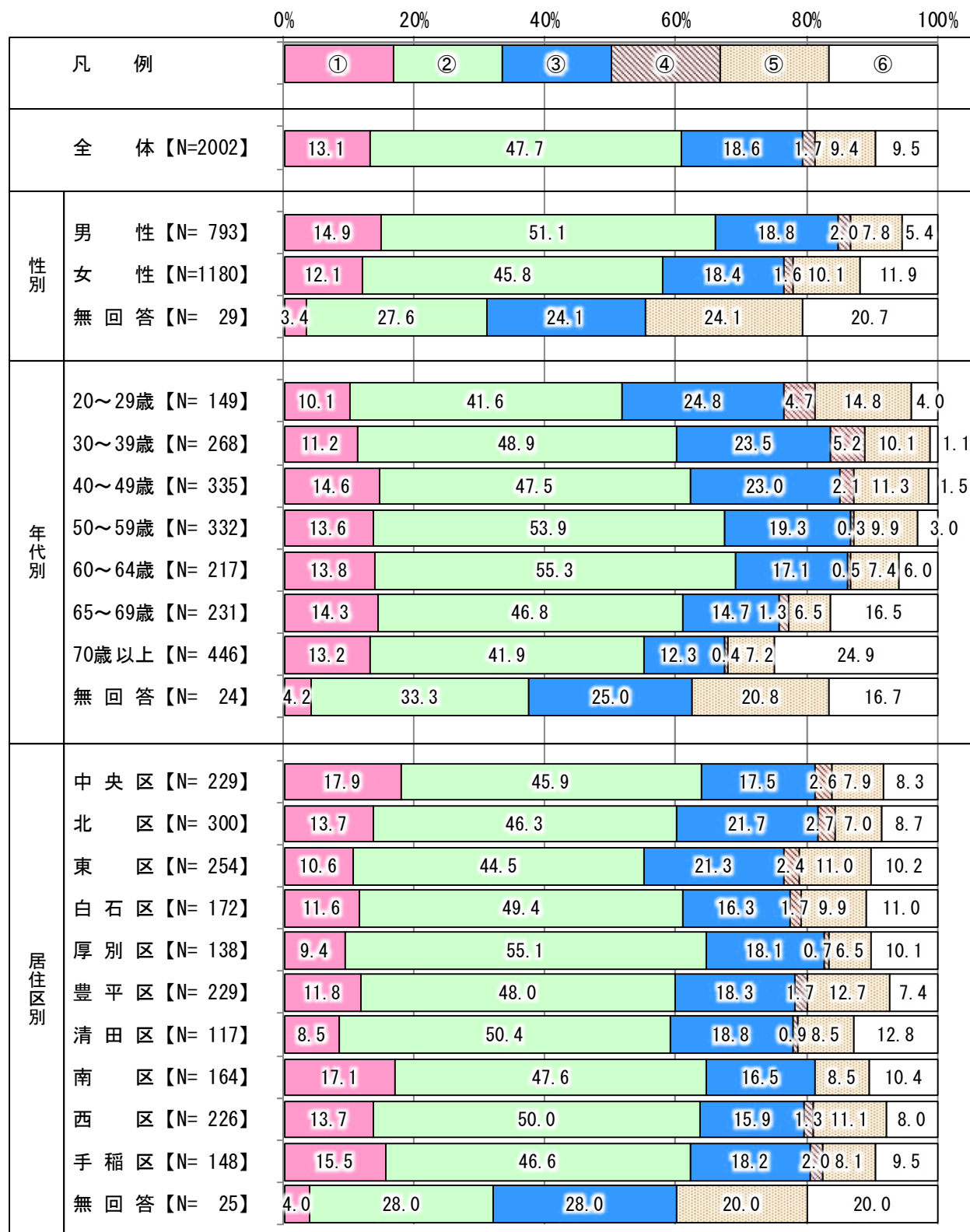
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、特に 60～64 歳が 55.3%と年代が上がるにつれ増加する傾向にあるが、65 歳以上では減少している。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に厚別区、清田区、西区では 5 割を超えている。「そう思う」は中央区が 17.9%、南区が 17.1%と他の居住区と比較し高い。北区、東区では「あまりそう思わない」が 2 割を超えている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



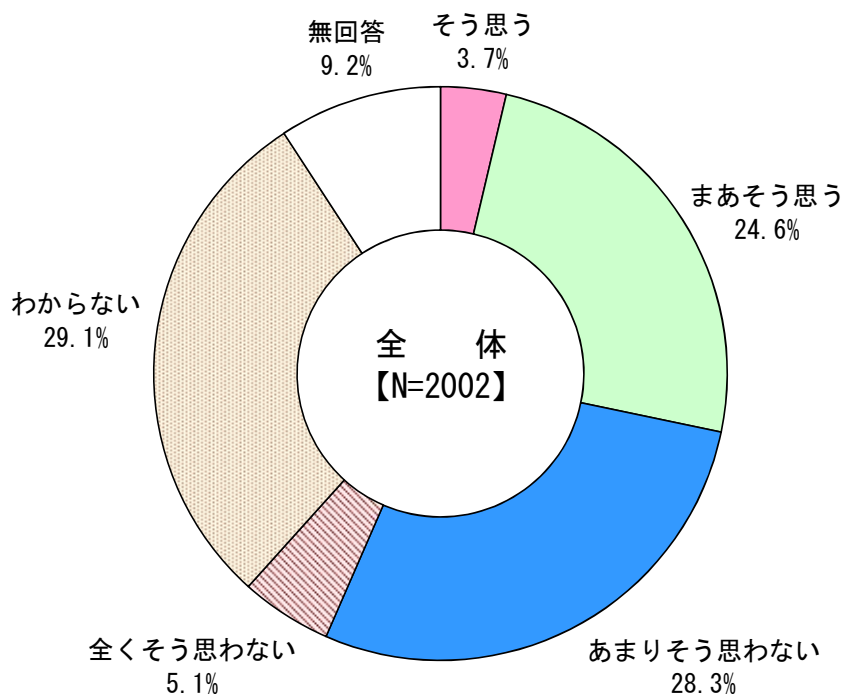
・ 特別な配慮が必要な子どもの支援体制

【問10】札幌市は、特別な配慮が必要な子ども^{※1}の支援体制^{※2}が整っていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1「特別な配慮が必要な子ども」とは、この場合、「虐待など不適切な養育環境で育った子どもや障がいのある子ども、ひとり親家庭の子ども」などのことを指しています。

※2 札幌市では、児童相談所での各種相談業務、学校生活上必要な支援を行う学びのサポーターの活用、ひとり親家庭の子どもに対する学習支援など様々な支援を行っています。

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「あまりそう思わない」(28.3%)と「全くそう思わない」(5.1%)を合わせた“そう思わない”(33.4%)が全体の約 3 割を占めている。



【対象者全体】

特別な配慮が必要な子どもの支援体制が整っているかについては、「わからない」が 29.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 28.3%、「まあそう思う」が 24.6%、「全くそう思わない」が 5.1%、「そう思う」が 3.7%となっている。

【性別】

男性は「あまりそう思わない」が 29.5%と最も高く、女性は「わからない」が 30.2%と最も高い。

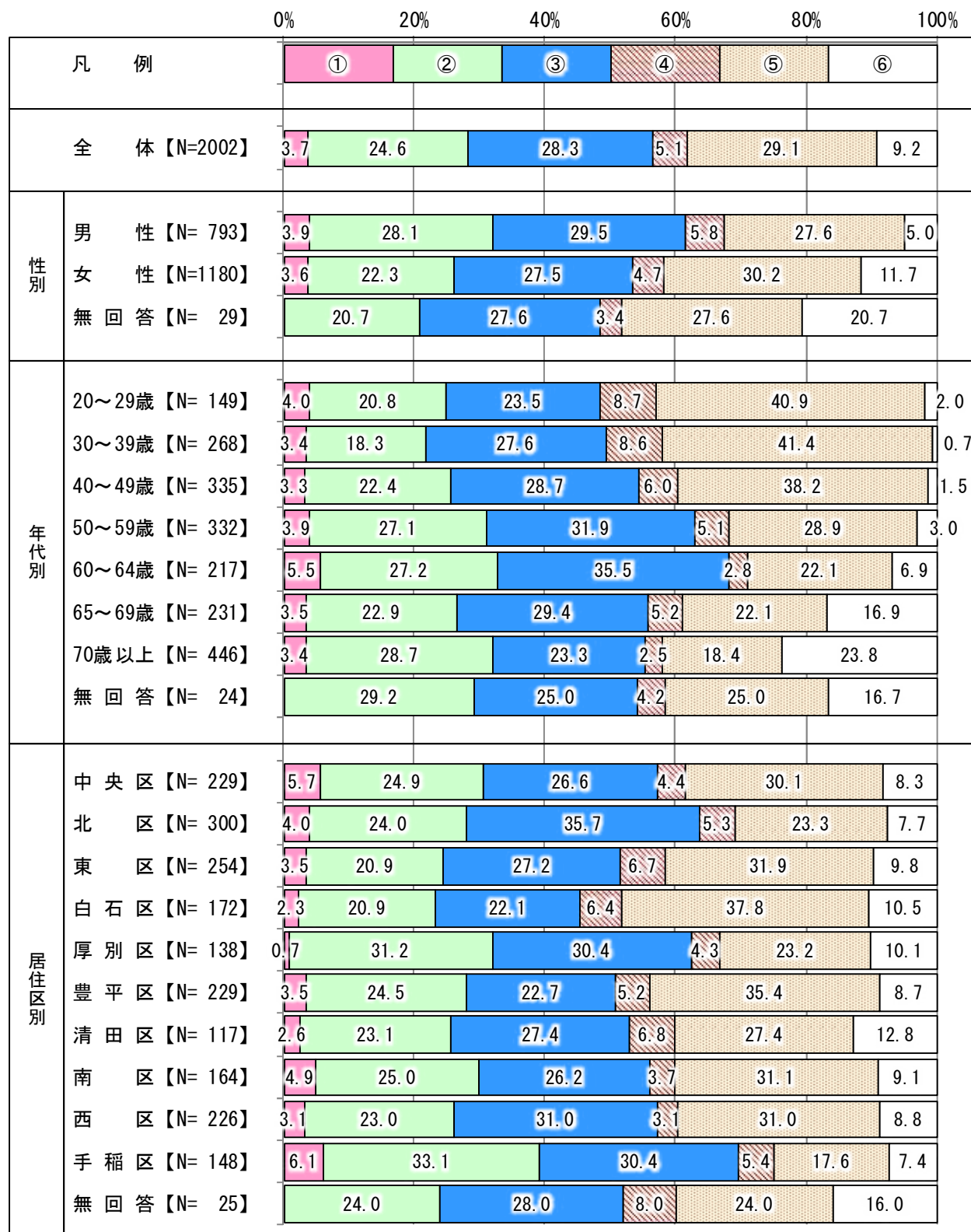
【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代では「わからない」が最も高く、4 割程度となっている。50 歳代、60 歳代では「あまりそう思わない」が 3 割程度となっている。70 歳以上では「まあそう思う」が 28.7%となっている。

【居住区別】

中央区、東区、白石区、豊平区、南区、では「わからない」が最も高く 3 割程度、北区、清田区、西区では「あまりそう思わない」が 3 割程度、厚別区、手稲区では「まあそう思う」が 3 割程度となっており、居住区によって若干のバラつきが見られる。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

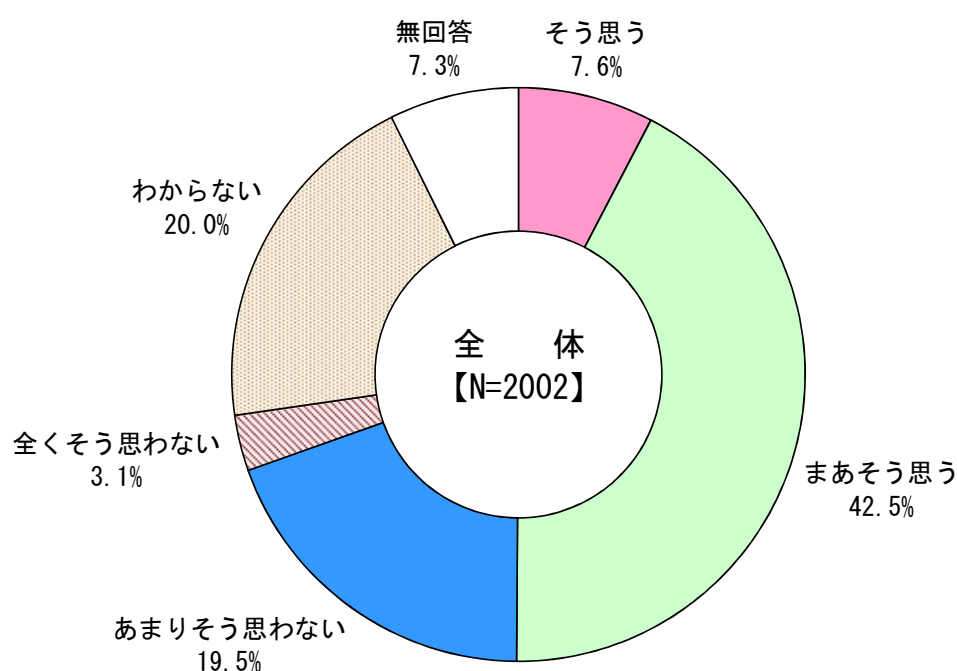


・ 子どもの権利の保護

【問11】 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利※が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利が守られているかについては、「そう思う」(7.6%)と「まあそう思う」(42.5%)を合わせた“そう思う”(50.1%)が全体の約5割を占めている。



【対象者全体】

子どもの権利が守られているかについては、「まあそう思う」が 42.5%と最も高く、次いで「わからない」が 20.0%、「あまりそう思わない」が 19.5%、「そう思う」が 7.6%、「全くそう思わない」が 3.1%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 45.4%、女性が 40.3%となっている。「そう思う」は、男性が 9.0%と女性の 6.9%と比較し若干高い。

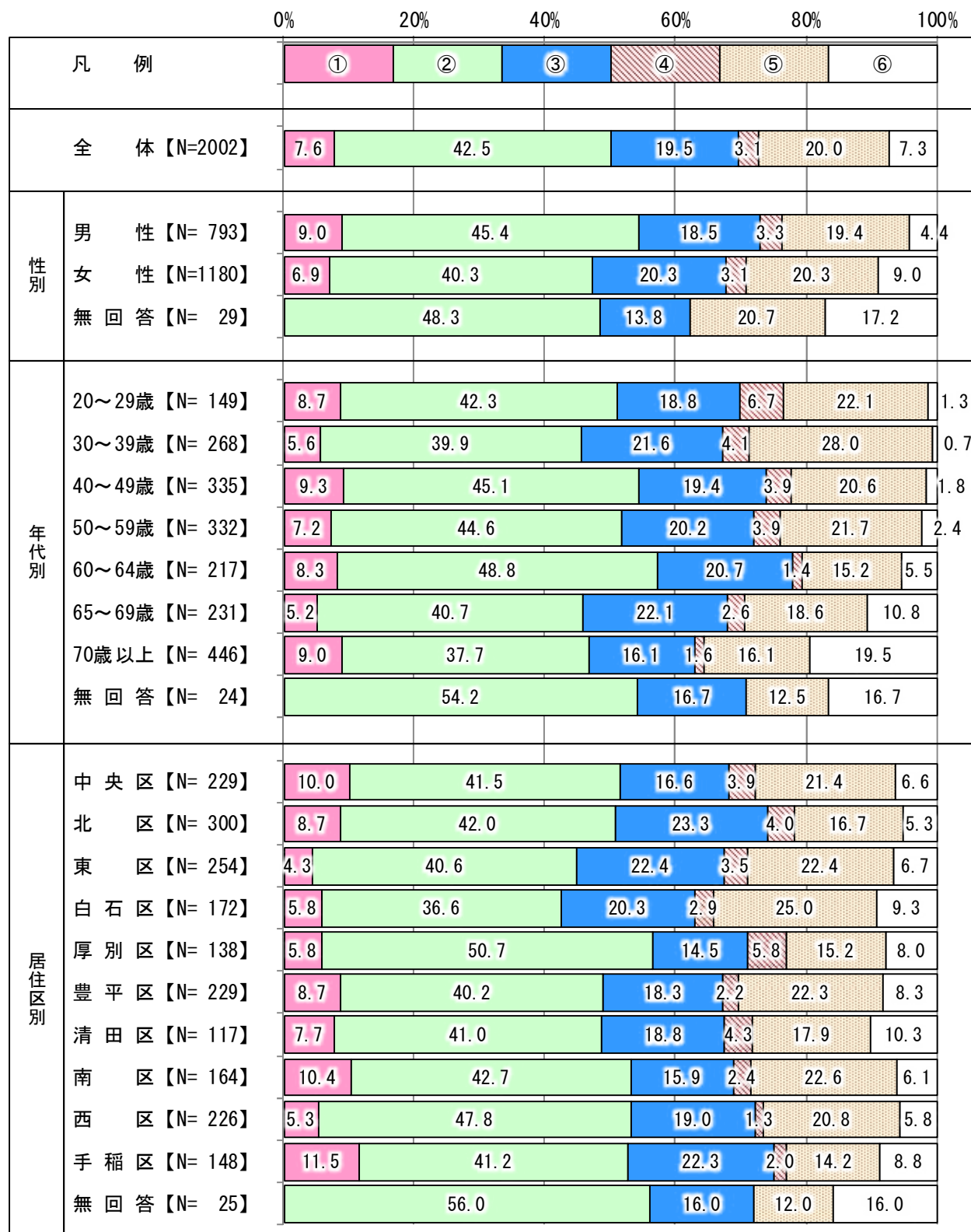
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、特に 60～64 歳では 48.8%となっている。年代による大きな傾向の違いは見られない。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に厚別区では 50.7%と 5 割を超えている。「そう思う」は手稲区が 11.5%と他の居住区と比較し高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

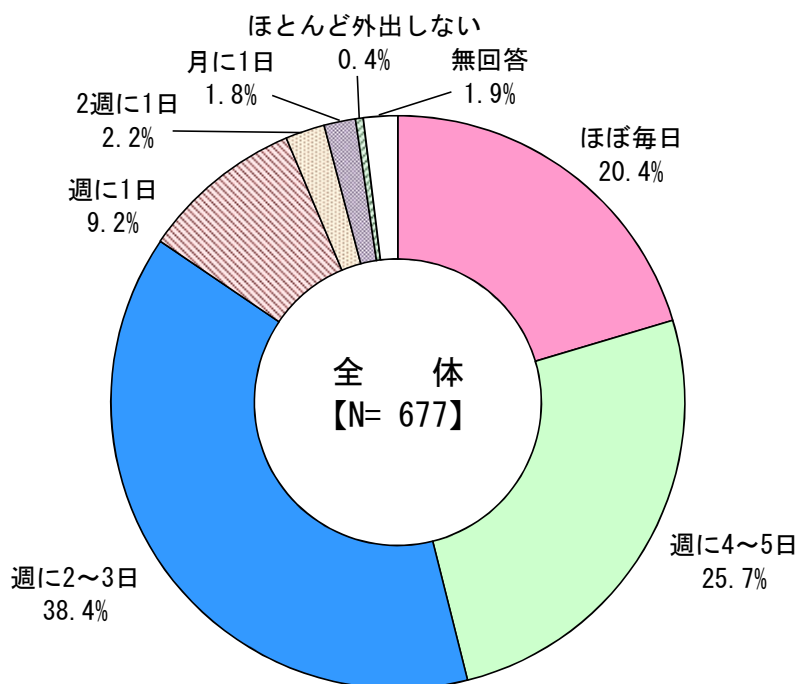


(3) 地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援

・ 外出頻度

【問12】 この設問は 65 歳以上の方にのみお聞きします。あなたは、年間を通してどのくらいの頻度で外出をしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

65 歳以上の方の外出頻度については、「週に 2～3 日」(38.4%)が全体の約 4 割を占めている。



【対象者全体】

65 歳以上の方の外出頻度については、「週に 2～3 日」が 38.4%と最も高く、次いで「週に 4～5 日」が 25.7%、「ほぼ毎日」が 20.4%、「週に 1 日」が 9.2%、「2 週に 1 日」が 2.2%、「月に 1 日」が 1.8%、「ほとんど外出しない」が 0.4%となっている。

【性別】

男性は「ほぼ毎日」が 26.7%と最も高く、女性は「週に 2～3 日」が 43.9%と最も高い。

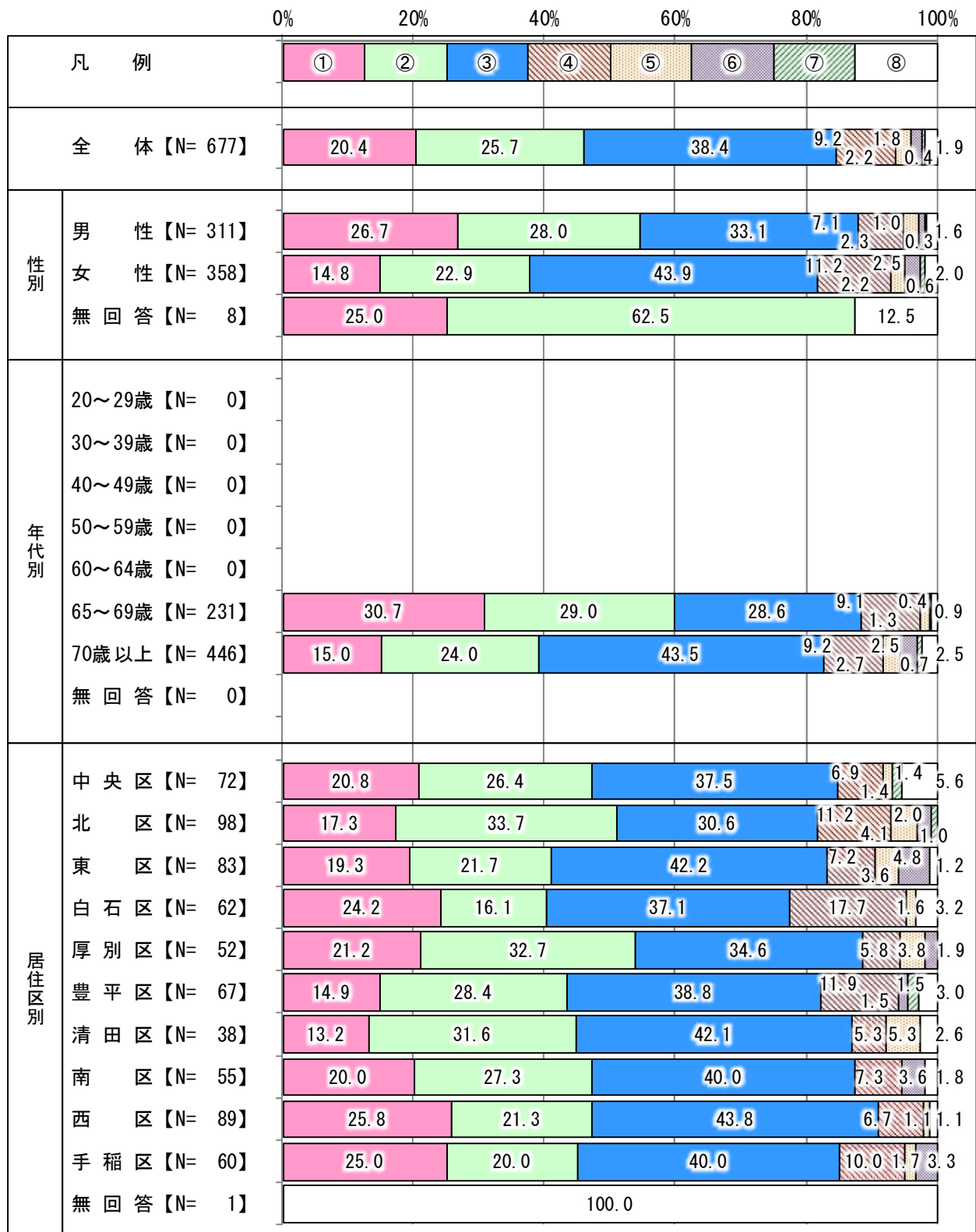
【年代別】

65～69 歳では「ほぼ毎日」が 30.7%と最も高い。70 歳以上では「週に 2～3 日」が 43.5%と最も高い。

【居住区別】

北区を除く全ての居住区で「週に 2～3 日」が最も高く、4 割程度となっている。北区は「週に 4～5 日」が 33.7%と最も高くなっている。「週に 1 日」は白石区で 17.7%と他の居住区と比較し高い。

①ほぼ毎日 ⑤2週に1日	②週に4～5日 ⑥月に1日	③週に2～3日 ⑦ほとんど外出しない	④週に1日 ⑧無回答
-----------------	------------------	-----------------------	---------------

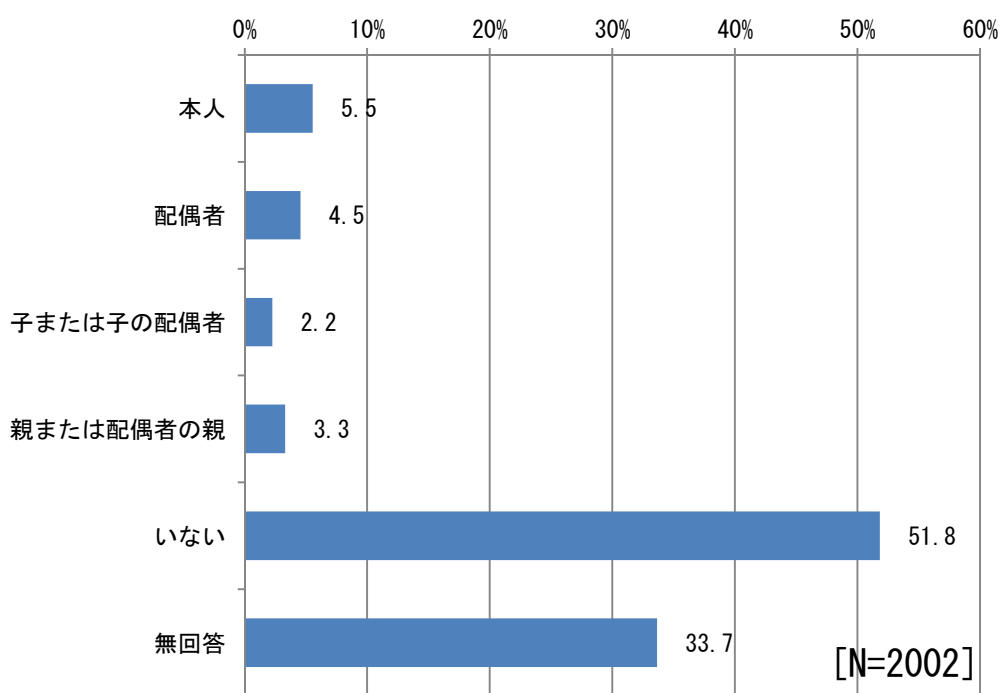


・ 障がいのある方について

【問13】 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

同居のご家族で障がいのある方がいるかについては、「いない」(51.8%)が最も高く、5割を超えている。



【対象者全体】

同居のご家族で障がいのある方がいるかについては、「いない」が51.8%と最も高く、次いで「本人」が5.5%、「配偶者」が4.5%となっている。

【性別】

男女共に「いない」が最も高く、男性が54.4%、女性が50.8%となっている。

【年代別】

全年代で「いない」が最も高く、特に65～69歳では67.1%となっている。70歳以上では「本人」が13.5%、「配偶者」が12.6%となっており、年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高く、5割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

問13-1 障がいのある家族の有無

(単位：%)

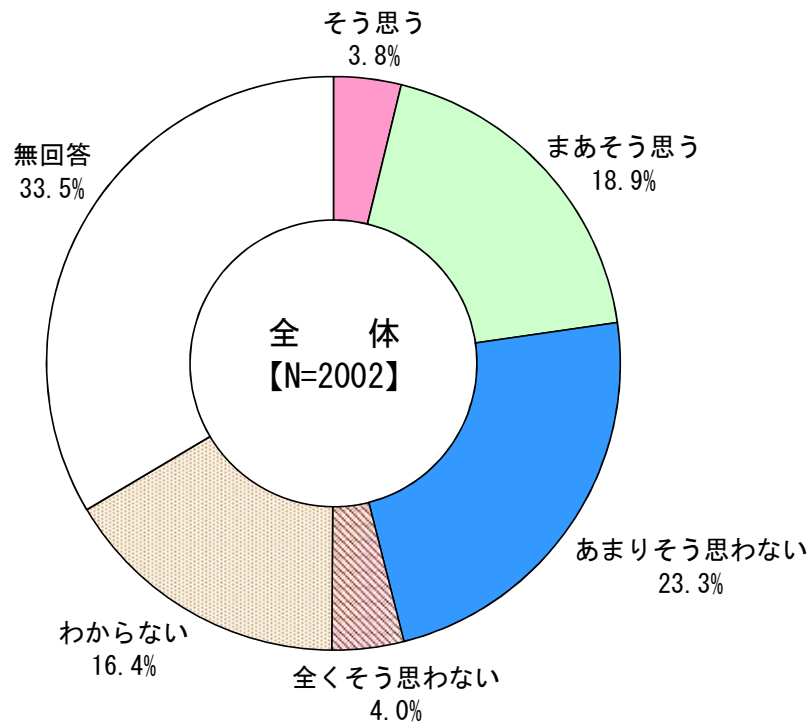
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	親または配偶者の親	いない	無回答	計
全体		2,002	5.5	4.5	2.2	3.3	51.8	33.7	101.1
性別	男性	793	7.4	5.3	2.3	3.5	54.4	28.9	101.8
	女性	1,180	4.1	4.0	2.3	3.2	50.8	36.4	100.8
	無回答	29	13.8	6.9	-	-	27.6	51.7	100.0
年代別	20～29歳	149	-	2.0	-	2.7	59.7	35.6	100.0
	30～39歳	268	1.9	0.7	0.7	3.0	44.8	49.3	100.4
	40～49歳	335	3.0	0.9	3.0	4.2	46.0	43.9	100.9
	50～59歳	332	2.1	2.1	3.0	4.8	45.8	43.4	101.2
	60～64歳	217	4.6	3.7	0.9	6.0	49.3	35.5	100.0
	65～69歳	231	7.4	4.8	4.3	2.6	67.1	14.7	100.9
	70歳以上	446	13.5	12.6	2.5	1.1	57.2	16.1	102.9
	無回答	24	8.3	4.2	-	-	25.0	62.5	100.0
居住区別	中央区	229	5.7	5.2	2.2	1.7	55.0	33.2	103.1
	北区	300	6.3	4.0	3.0	4.3	59.0	24.3	101.0
	東区	254	7.1	4.3	0.4	3.9	48.8	36.2	100.8
	白石区	172	2.9	4.1	4.7	2.9	50.0	37.2	101.7
	厚別区	138	3.6	2.9	2.2	5.1	52.2	34.8	100.7
	豊平区	229	7.0	5.7	3.1	2.2	49.3	34.9	102.2
	清田区	117	6.0	5.1	1.7	6.0	43.6	37.6	100.0
	南区	164	3.0	7.3	0.6	3.0	50.0	36.6	100.6
	西区	226	5.8	4.0	3.1	2.7	53.1	31.9	100.4
	手稲区	148	5.4	2.7	0.7	2.7	54.7	33.8	100.0
	無回答	25	8.0	4.0	4.0	-	24.0	60.0	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

- (2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がいのある方にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」(23.3%)と「全くそう思わない」(4.0%)を合わせた“そう思わない”(27.3%)が全体の約3割を占めている。



【対象者全体】

障がいのある方にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」が 23.3%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 18.9%、「わからない」が 16.4%、「全くそう思わない」が 4.0%、「そう思う」が 3.8%となっている。

【性別】

男性は「まあそう思う」が 23.2%と最も高く、女性は「あまりそう思わない」が 23.8%と最も高い。

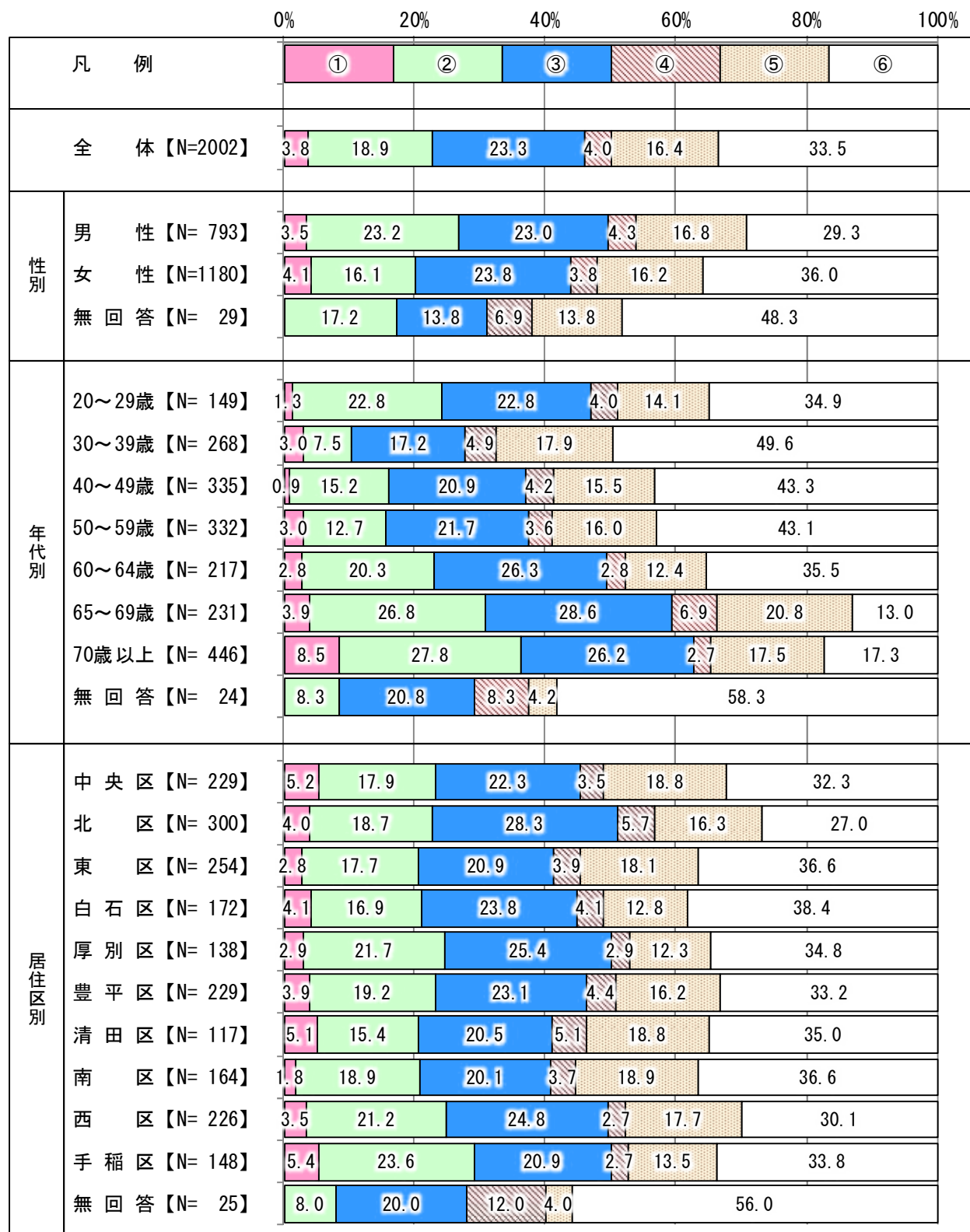
【年代別】

40 歳代、50 歳代、60 歳代では「あまりそう思わない」が最も高く、特に 65～69 歳は 28.6%となっている。20 歳代、70 歳以上では「まあそう思う」が最も高く、30 歳代では「わからない」が 17.9%と最も高くなっている。「全くそう思わない」は 65～69 歳が 6.9%と他の年代と比較し高い。「そう思う」は 70 歳以上が 8.5%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

手稲区を除く全ての居住区で「あまりそう思わない」が最も高く、特に北区は 28.3%となっている。手稲区では「まあそう思う」が 23.6%と最も高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

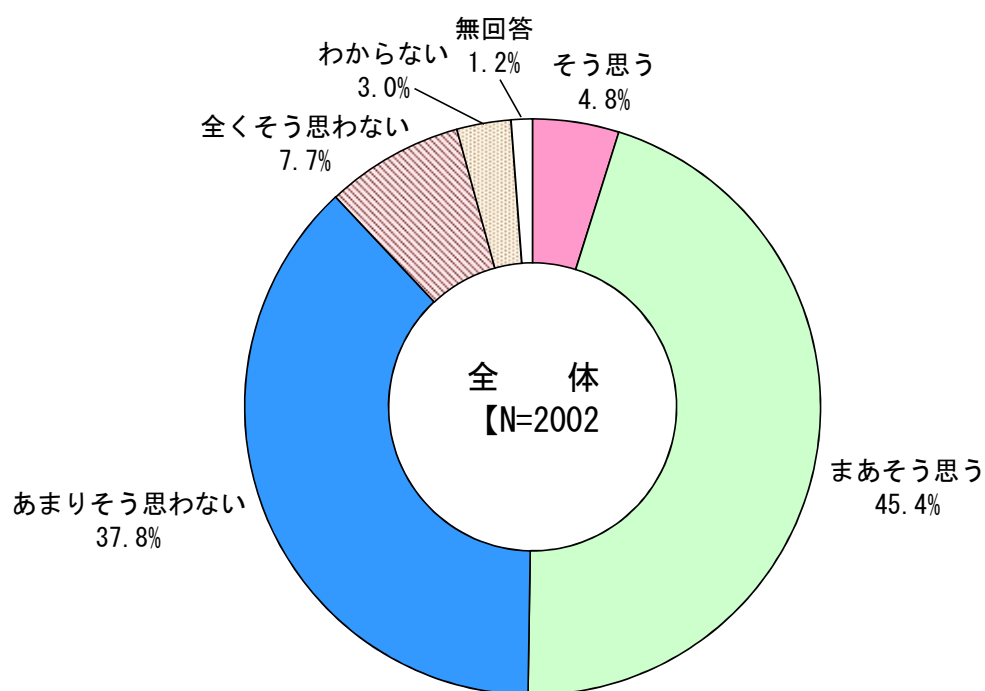


(4) 安心のある暮らしの確保に向けた環境の充実

・ 犯罪に対する安全性

【問14】札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちかについては、「あまりそう思わない」(37.8%)と「全くそう思わない」(7.7%)を合わせた“そう思わない”(45.5%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちかについては、「まあそう思う」が 45.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 37.8%、「全くそう思わない」が 7.7%、「そう思う」が 4.8%、「わからない」が 3.0%となっている。

【性別】

男女共に「まあそう思う」が最も高く、男性が 49.1%、女性が 43.1%となっている。「あまりそう思わない」は女性が 40.9%と男性の 33.3%と比較し高い。

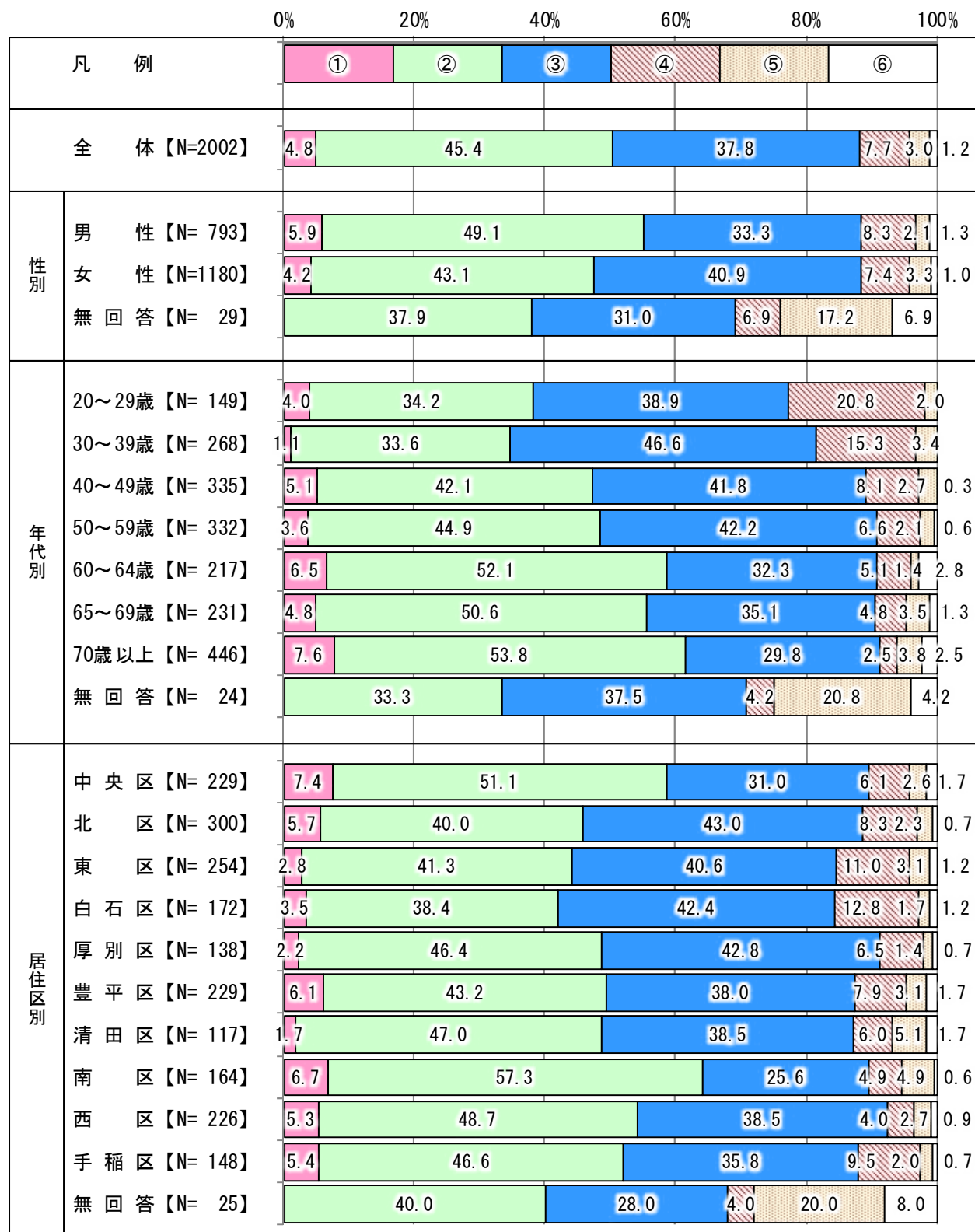
【年代別】

20 歳代、30 歳代では「あまりそう思わない」が最も高く、4 割程度となっている。40 歳以上になると「まあそう思う」が最も高く、特に 60 歳以上では 5 割を超えている。

【居住区別】

北区、白石区を除く全ての居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に南区では 57.3%となっている。北区、白石区では「あまりそう思わない」が最も高く、4 割を超えている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

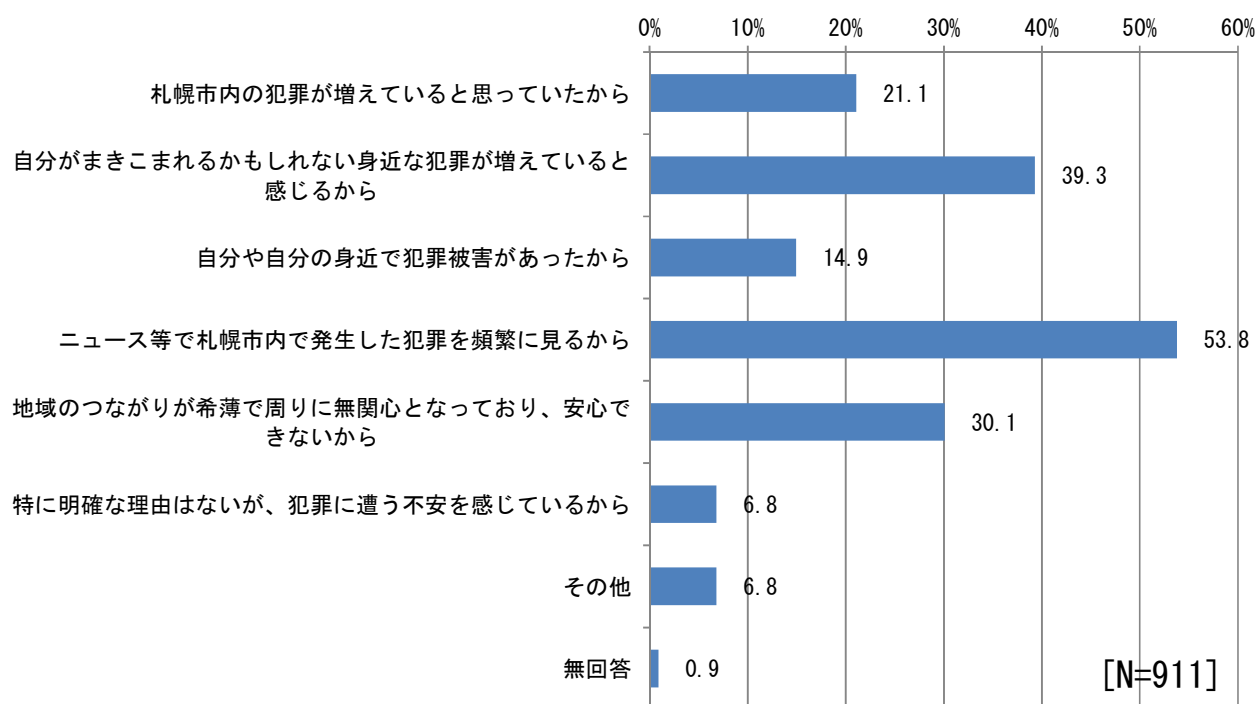


・ 犯罪に対して安全ではない理由

【問15】 この設問は問 14 で「3. あまりそう思わない」、「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。札幌市内の刑法犯認知件数※は平成 13 年の 41,290 件から毎年減少し、平成 25 年は 19,423 件と平成 13 年の半数以下になっていますが、札幌市が「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」ではないと思った理由は何ですか。あてはまるものに○を付けてください。（二つまで選択可）

※刑法犯認知件数： 警察において、被害の届出・告訴・告発を受理するなど、刑法犯の発生を確認した件数

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちではないと思った理由については、「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」(53.8%)が最も高く、5 割を超えている。



【対象者全体】

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちではないと思った理由については、「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が 53.8%と最も高く、次いで「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」が 39.3%、「地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから」が 30.1%、となっている。

【性別】

男性は「地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから」が 33.0%と女性の 27.9%と比較し高い。女性は「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が 57.0%と男性の 48.2%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が最も高く、20 歳代と 60～64 歳では 6 割を超えている。60～64 歳では「地域のつながりが希薄で周りに無関心となっており、安心できないから」が 44.4%と他の年代と比較し高い。70 歳以上は「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」が 28.5%と他の年代と比較し低い。

【居住区別】

清田区を除く全ての居住区で「ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が最も高く、中央区、豊平区、手稲区では6割を超えている。清田区では「自分がまきこまれるかもしれない身近な犯罪が増えていると感じるから」が50.0%と最も高い。

問15 犯罪に対して安全ではない理由

(単位：%)

		回答者数	札幌市内の犯罪が増えていると	自分がまきこまれるかもしれないと感じるから	自分や自分の身近で犯罪被害があつたから	ニュース等で札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから	地域的なつながりが希薄で、無関心となっており、安心してできないから	特に明確な理由はないが、犯罪に遭う不安を感じているから	その他	無回答	計
全体		911	21.1	39.3	14.9	53.8	30.1	6.8	6.8	0.9	173.7
性別	男性	330	19.1	36.7	15.5	48.2	33.0	8.2	9.7	0.3	170.6
	女性	570	22.3	40.9	14.9	57.0	27.9	5.6	5.3	1.2	175.1
	無回答	11	18.2	36.4	-	54.5	54.5	27.3	-	-	190.9
年代別	20～29歳	89	15.7	44.9	22.5	60.7	15.7	5.6	9.0	-	174.2
	30～39歳	166	18.7	48.2	16.3	54.8	22.9	3.0	12.0	-	175.9
	40～49歳	167	26.3	43.1	18.0	49.7	25.1	5.4	10.2	-	177.8
	50～59歳	162	24.1	42.0	14.2	48.1	38.3	4.9	3.7	1.2	176.5
	60～64歳	81	17.3	29.6	7.4	64.2	44.4	6.2	4.9	1.2	175.3
	65～69歳	92	22.8	31.5	15.2	56.5	34.8	7.6	4.3	1.1	173.9
	70歳以上	144	19.4	28.5	11.1	52.1	30.6	14.6	2.1	2.8	161.1
	無回答	10	10.0	40.0	-	50.0	60.0	20.0	-	-	180.0
居住区別	中央区	85	22.4	37.6	7.1	61.2	24.7	7.1	15.3	-	175.3
	北区	154	26.6	40.3	20.1	47.4	31.2	7.8	7.1	1.9	182.5
	東区	131	20.6	43.5	14.5	51.1	26.7	6.9	7.6	0.8	171.8
	白石区	95	22.1	45.3	23.2	47.4	24.2	6.3	4.2	3.2	175.8
	厚別区	68	14.7	33.8	19.1	55.9	27.9	5.9	7.4	-	164.7
	豊平区	105	15.2	34.3	11.4	61.9	35.2	7.6	5.7	-	171.4
	清田区	52	25.0	50.0	9.6	44.2	38.5	1.9	5.8	-	175.0
	南区	50	26.0	30.0	20.0	56.0	34.0	6.0	2.0	-	174.0
	西区	96	24.0	33.3	11.5	56.3	32.3	9.4	5.2	1.0	172.9
	手稲区	67	11.9	43.3	10.4	61.2	26.9	3.0	6.0	-	162.7
	無回答	8	12.5	37.5	-	50.0	62.5	25.0	-	-	187.5

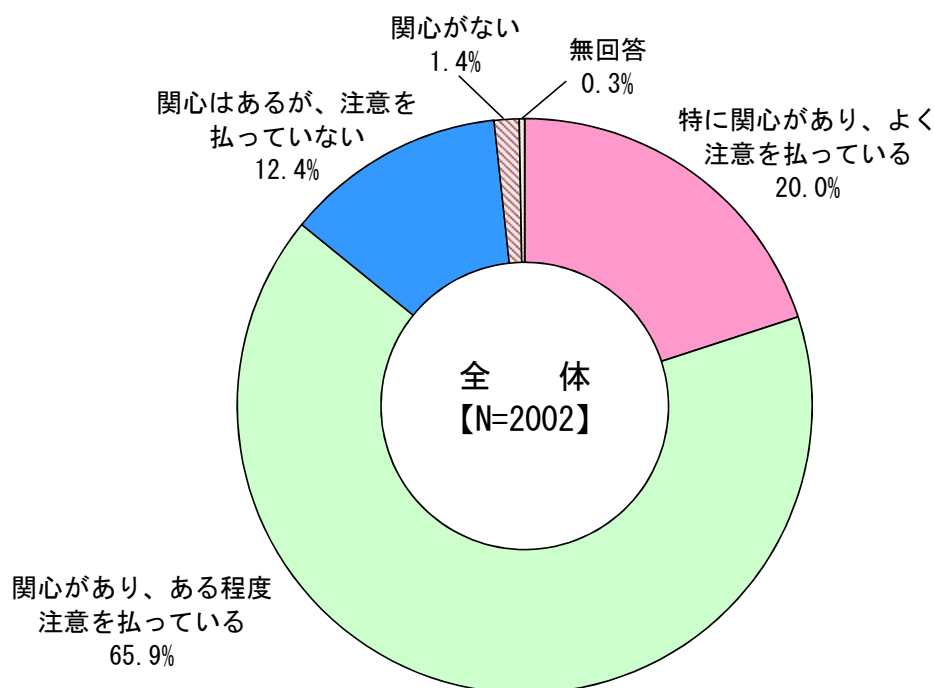
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 食品の安全性について

【問16】 あなたは、毎日食べている食品の安全性に関心を持ち、注意を払っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

食品の安全性については、「特に関心があり、よく注意を払っている」(20.0%)と「関心があり、ある程度注意を払っている」(65.9%)を合わせた“関心があり、注意を払っている”(85.9%)が全体の約 9 割を占めている。



【対象者全体】

食品の安全性については、「関心があり、ある程度注意を払っている」が 65.9%と最も高く、次いで「特に関心があり、よく注意を払っている」が 20.0%、「関心はあるが、注意を払っていない」が 12.4%、「関心がない」が 1.4%となっている。

【性別】

男女共に「関心があり、ある程度注意を払っている」が最も高く、男性が 61.9%、女性が 69.0%となっている。「関心はあるが、注意を払っていない」は男性が 15.8%と女性の 9.8%と比較し高い。

【年代別】

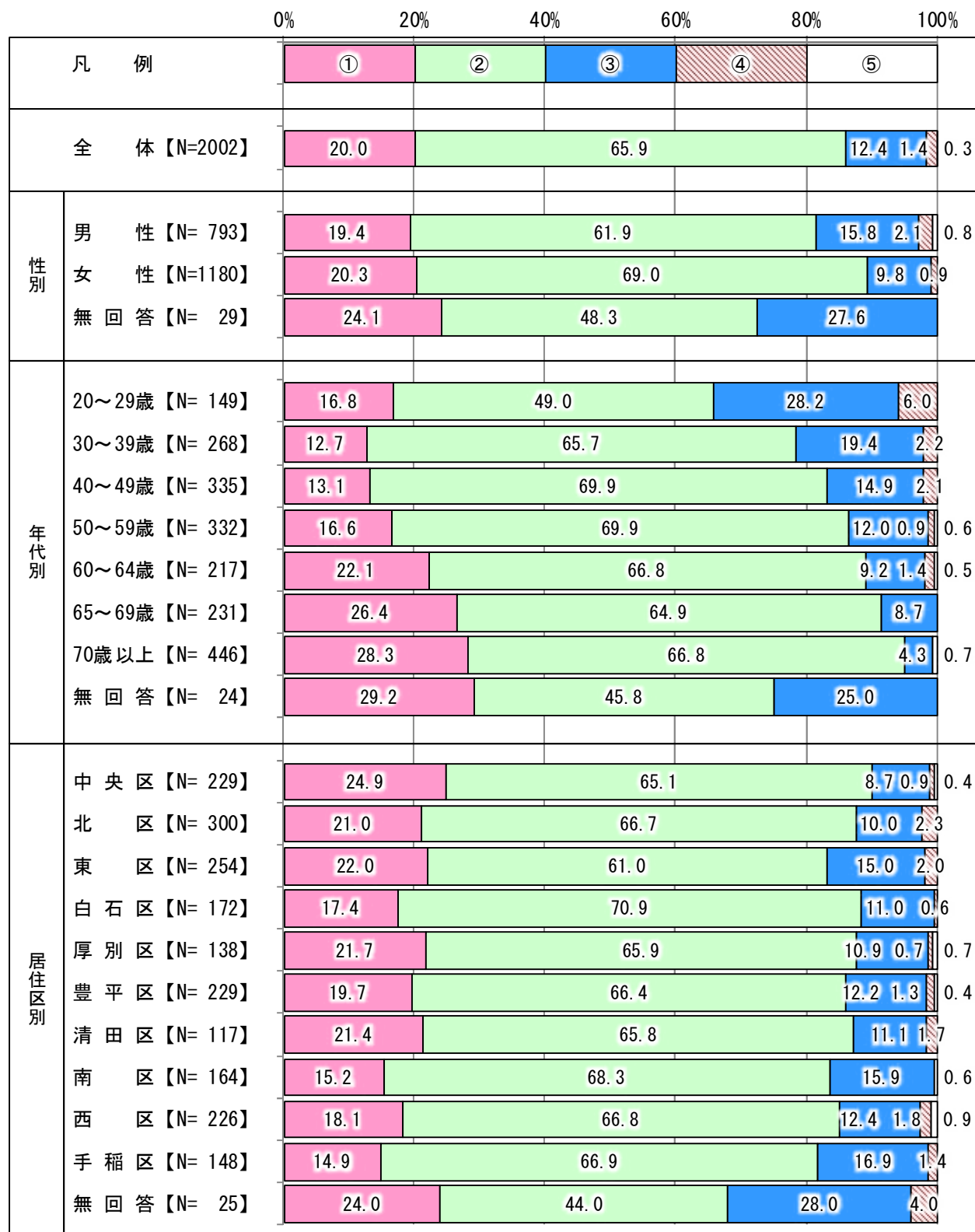
全年代で「関心があり、ある程度注意を払っている」が最も高く、特に 40 歳代、50 歳代では 7 割近い。「関心はあるが、注意を払っていない」は 20 歳代で 28.2%と最も高く、年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「関心があり、ある程度注意を払っている」が最も高く、特に白石区では 70.9%と 7 割を超えている。「特に関心があり、よく注意を払っている」は中央区が 24.9%と他の居住区と比較し高い。「関心はあるが、注意を払っていない」は東区、南区、手稲区でそれぞれ 15.0%を超えており他の居住区と比較し高い。

①特に関心があり、よく注意を払っている
③関心はあるが、注意を払っていない

②関心があり、ある程度注意を払っている
④関心がない
⑤無回答

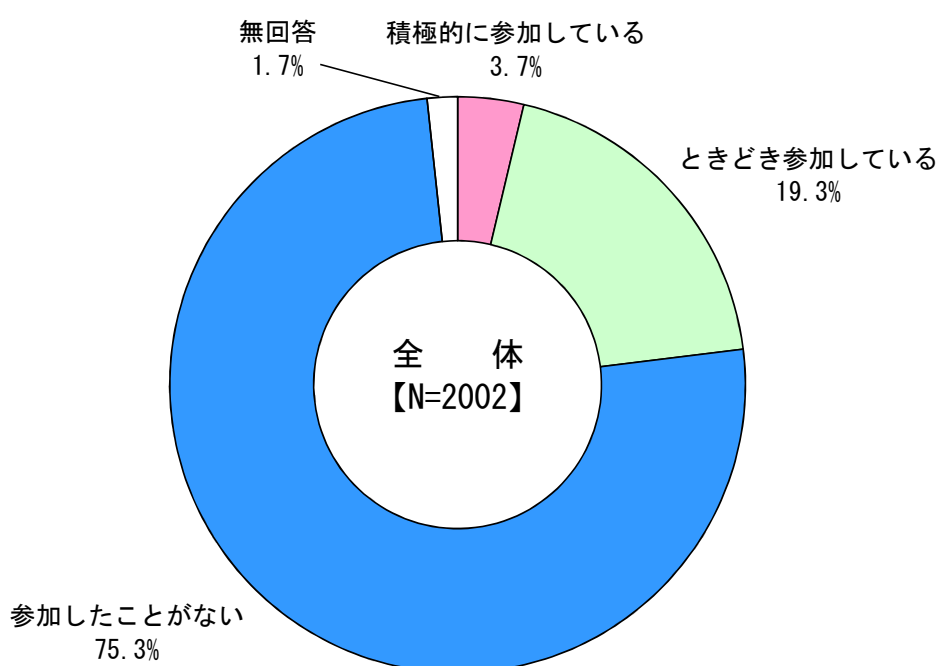


- ・ 自主的な防犯活動について

【問17】 あなたは、地域などの自主的な防犯活動※に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども110番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

自主的な防犯活動については、「積極的に参加している」(3.7%)と「ときどき参加している」(19.3%)を合わせた“参加している”(23.0%)が全体の約2割を占めている。



【対象者全体】

自主的な防犯活動については、「参加したことがない」が75.3%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が19.3%、「積極的に参加している」が3.7%となっている。

【性別】

男女共に「参加したことがない」が最も高く、男性が76.4%、女性が74.4%となっている。「ときどき参加している」は女性が20.8%と男性の17.5%と比較し高い。

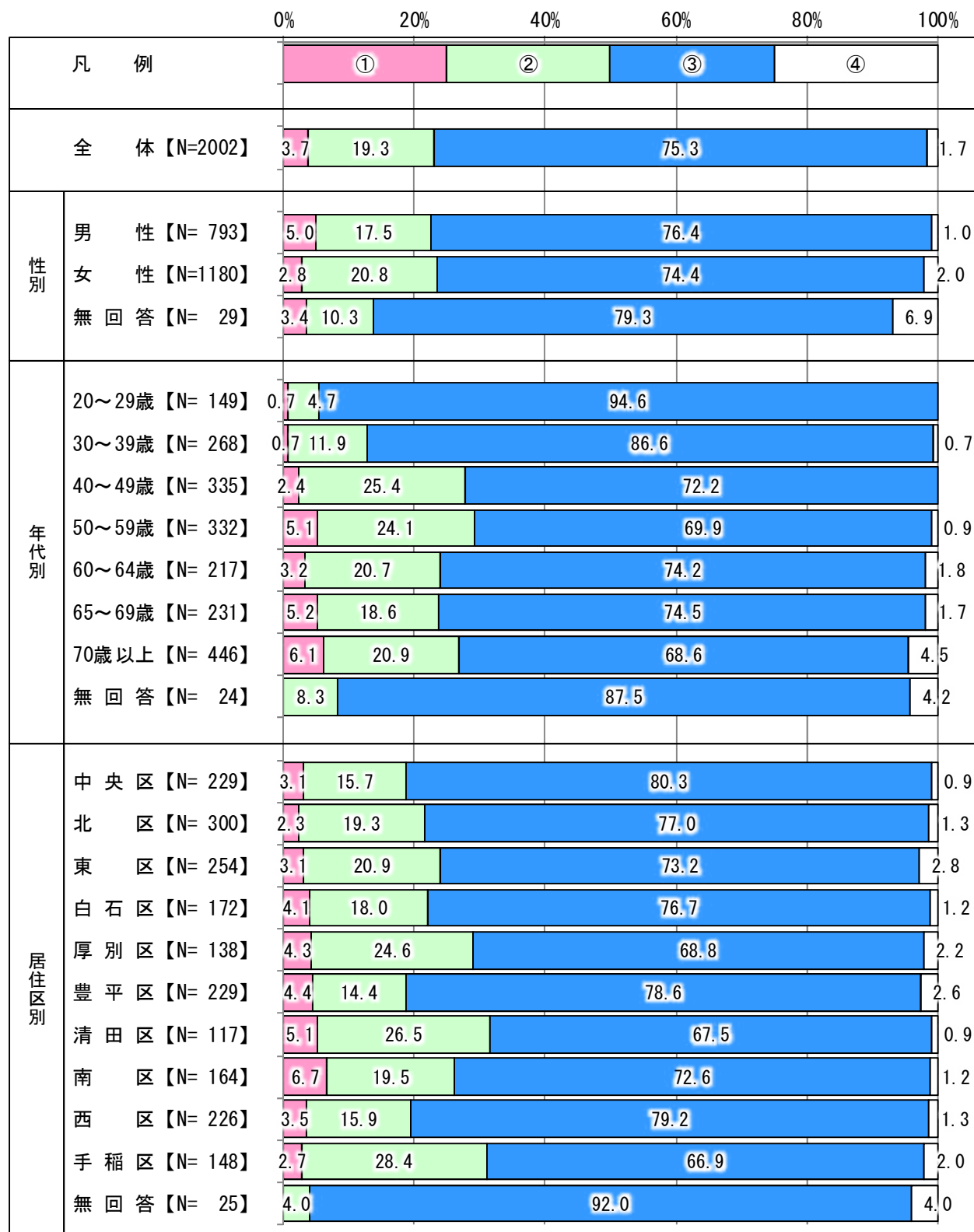
【年代別】

全年代で「参加したことがない」が最も高く、20歳代では9割を超えている。「積極的に参加している」は70歳以上で6.1%と他の年代と比較し若干高い。

【居住区別】

全居住区で「参加したことがない」が最も高く、中央区では80.3%となっている。「積極的に参加している」は南区が6.7%と他の居住区と比較し若干高い。

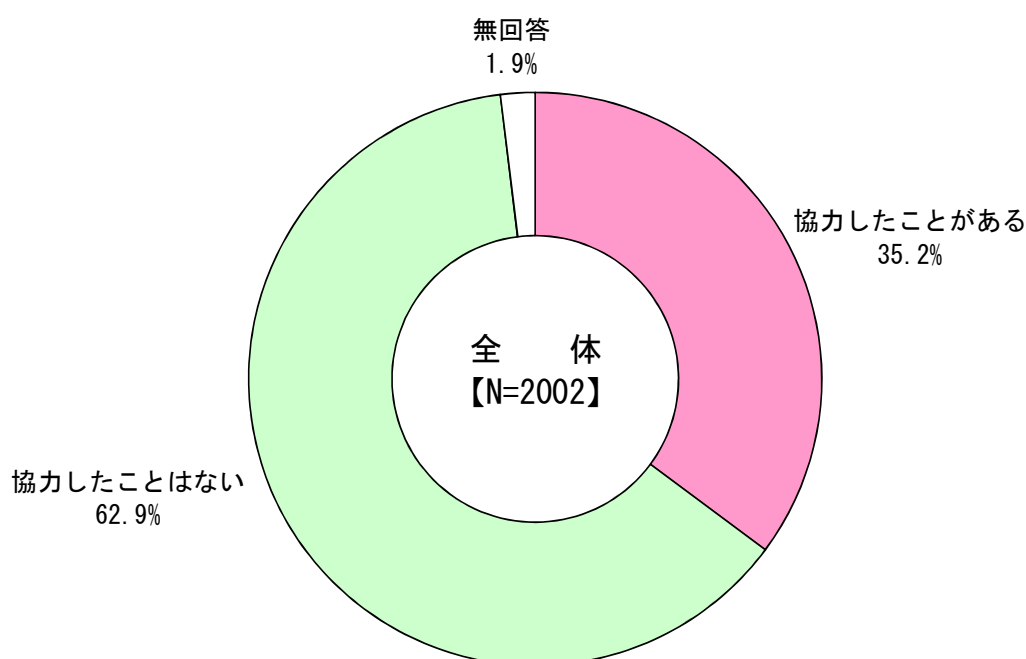
①積極的に参加している ②ときどき参加している ③参加したことがない ④無回答



・ 雪の処理に関する取り組みについて

【問18】 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

雪の処理に関する取り組みについては、「協力したことがある」(35.2%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

雪の処理に関する取り組みについては、「協力したことはない」が62.9%と最も高く、次いで「協力したことがある」が35.2%となっている。

【性別】

男女共に「協力したことはない」が最も高く、男性が57.9%、女性が66.2%となっている。「協力したことがある」は男性が40.4%と女性の31.8%と比較し高い。

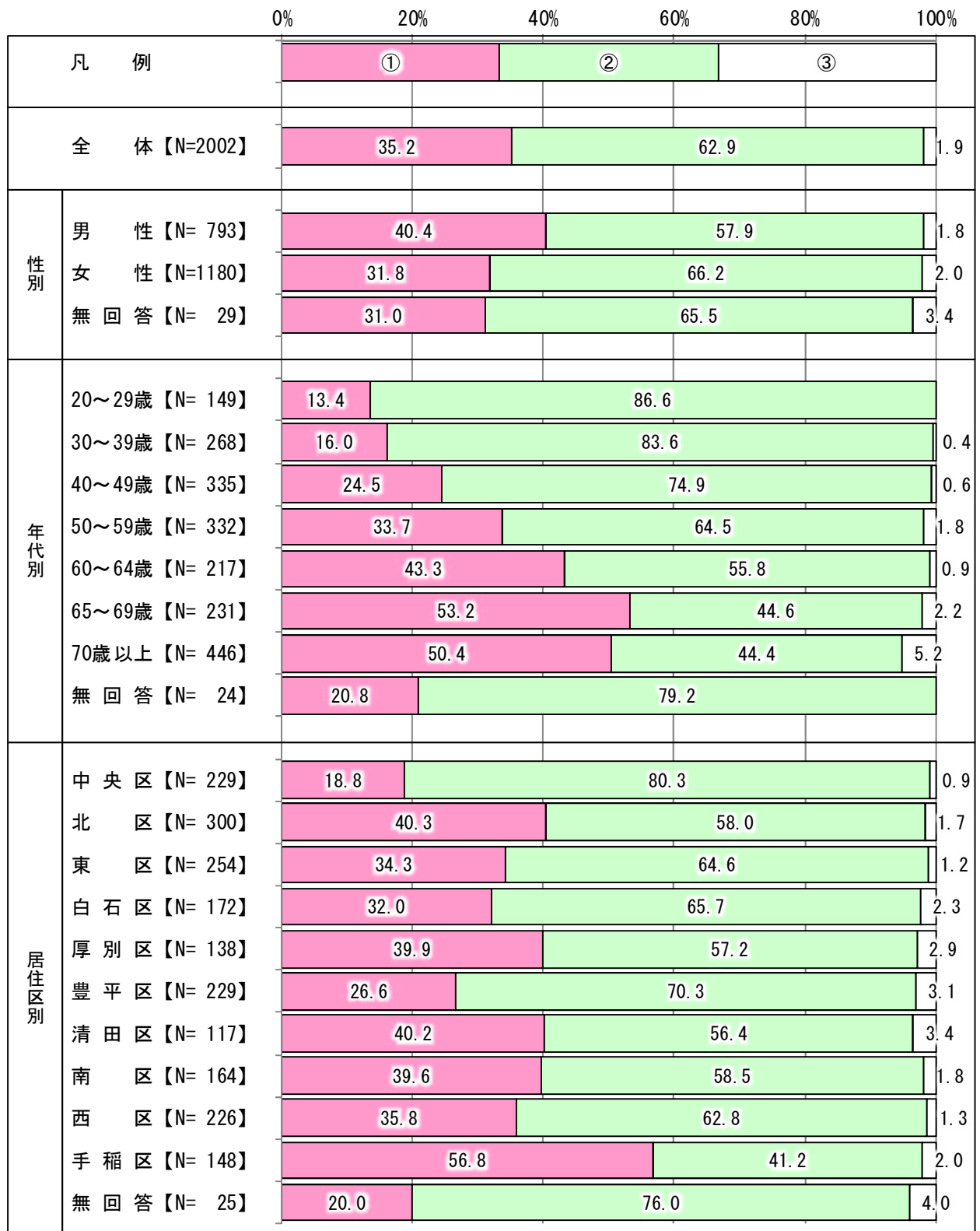
【年代別】

20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳では「協力したことはない」が最も高く、特に20歳代、30歳代は8割を超えている。「協力したことがある」は20歳代で13.4%、65～69歳で53.2%と年代が上がるにつれ増加していく傾向となっている。

【居住区別】

手稲区を除く全ての居住区で「協力したことはない」が最も高く、特に中央区は80.3%と他の居住区と比較し高い。手稲区では「協力したことがある」が56.8%と最も高い。

①協力したことがある	②協力したことはない	③無回答
------------	------------	------

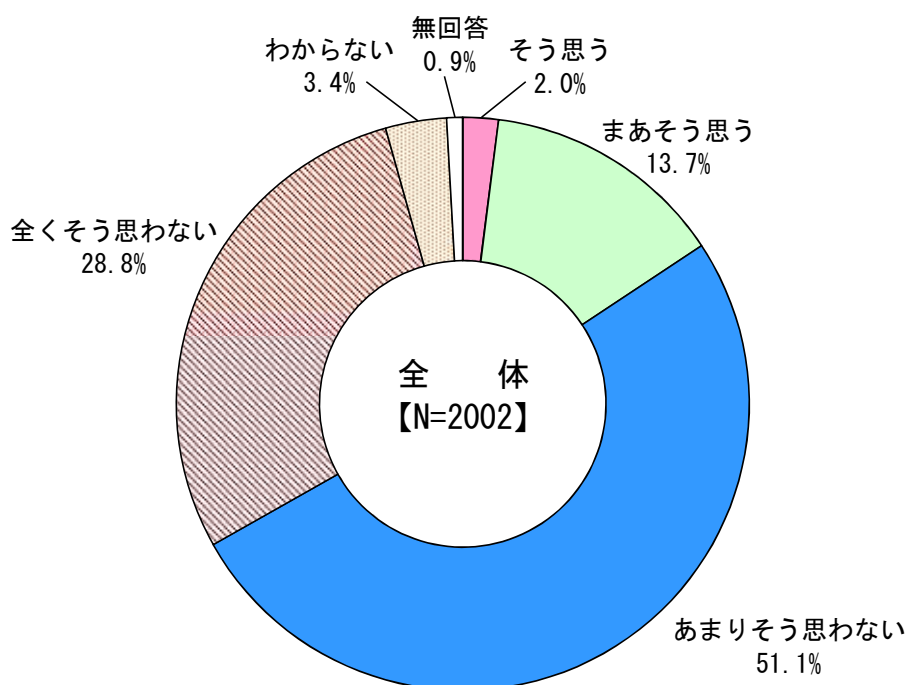


・ 自転車のルールやマナーについて

【問19】札幌市は、「自転車のルールやマナー※が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

自転車のルールやマナーについては、「あまりそう思わない」(51.1%)と「全くそう思わない」(28.8%)を合わせた“そう思わない”(79.9%)が全体の約 8 割を占めている。



【対象者全体】

自転車のルールやマナーについては、「あまりそう思わない」が 51.1%と最も高く、次いで「全くそう思わない」が 28.8%、「まあそう思う」が 13.7%、「わからない」が 3.4%、「そう思う」が 2.0%となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」が最も高く、男性が 49.4%、女性が 52.5%となっている。「全くそう思わない」は男性が 33.7%と女性の 25.9%と比較し高い。

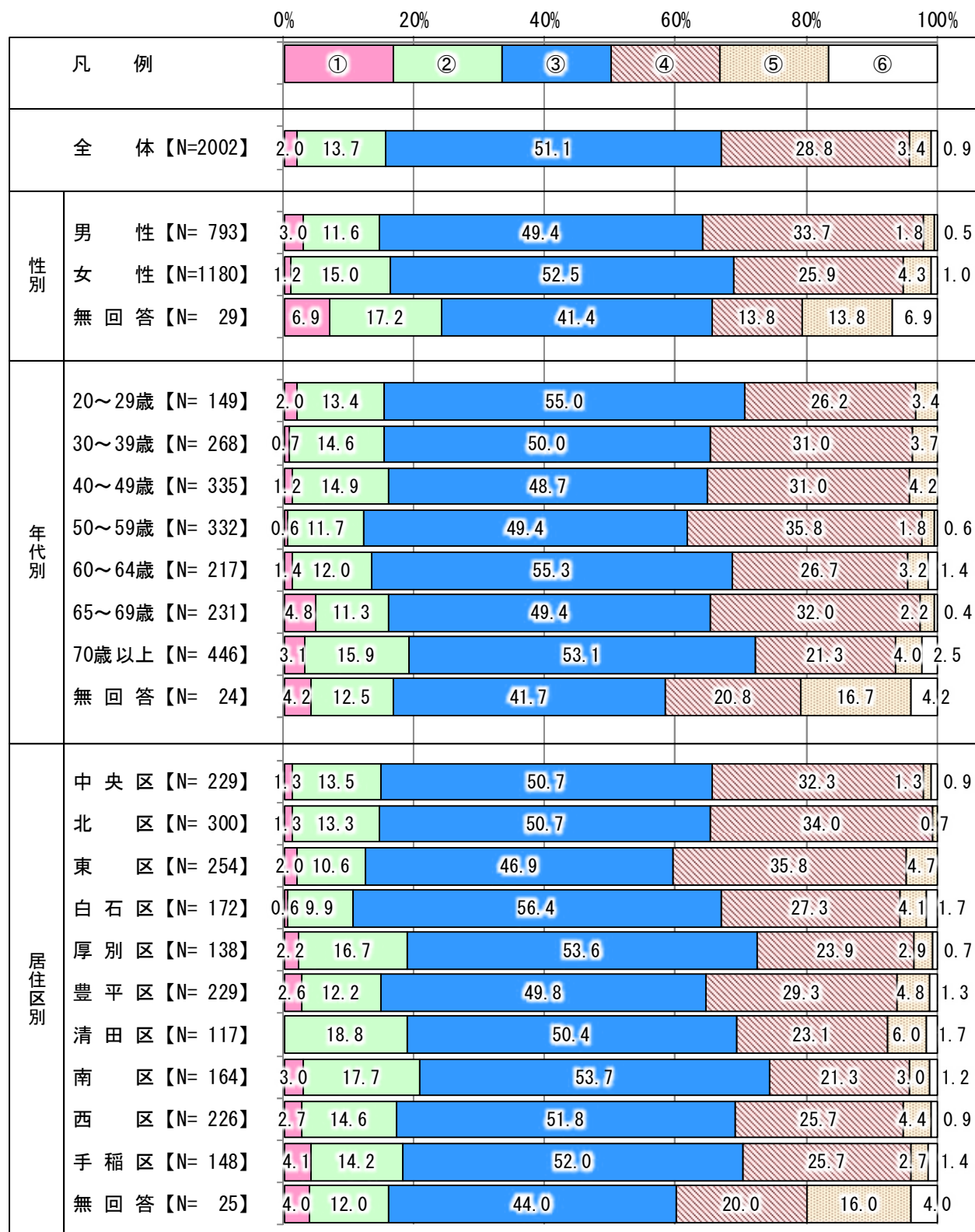
【年代別】

全年代で「あまりそう思わない」が最も高く、5 割程度となっている。「まあそう思う」は 70 歳以上では 15.9%と他の年代と比較し若干高い。

【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」が最も高く、5 割程度となっている。「まあそう思う」は清田区では 18.8%と他の居住区と比較し若干高い。

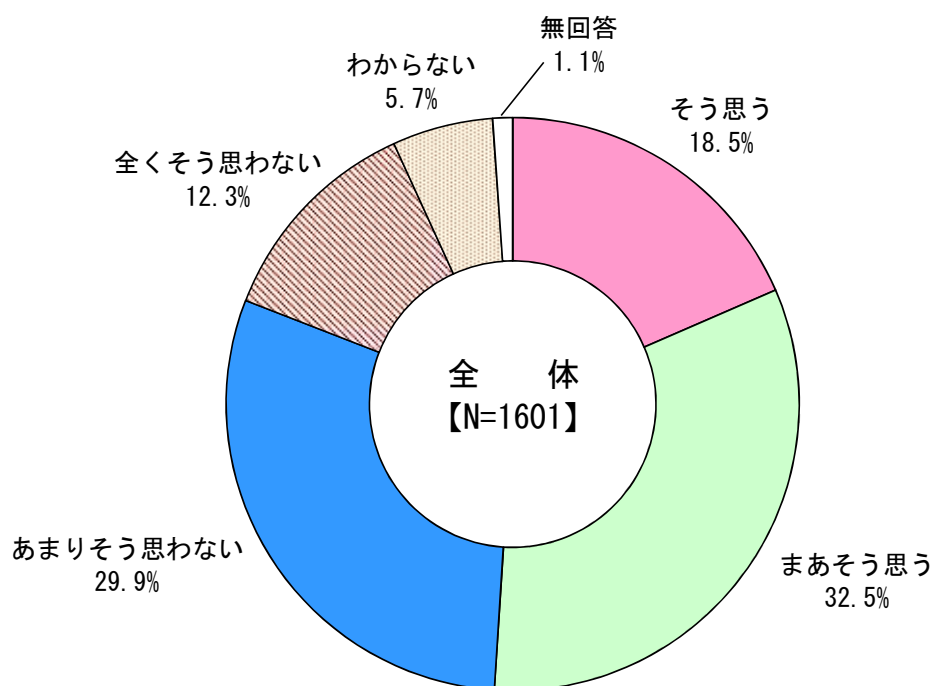
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 自転車マナーへの意識の高まり

【問20】 この設問は問 19 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの 1 年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自転車マナーへの意識の高まりについては、「そう思う」(18.5%)と「まあそう思う」(32.5%)を合わせた“そう思う”(51.0%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

自転車マナーへの意識の高まりについては、「まあそう思う」が 32.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 29.9%、「そう思う」が 18.5%、「全くそう思わない」が 12.3%、「わからない」が 5.7%となっている。

【性別】

男性は「あまりそう思わない」が 32.8%と最も高く、女性は「まあそう思う」が 36.3%と最も高い。

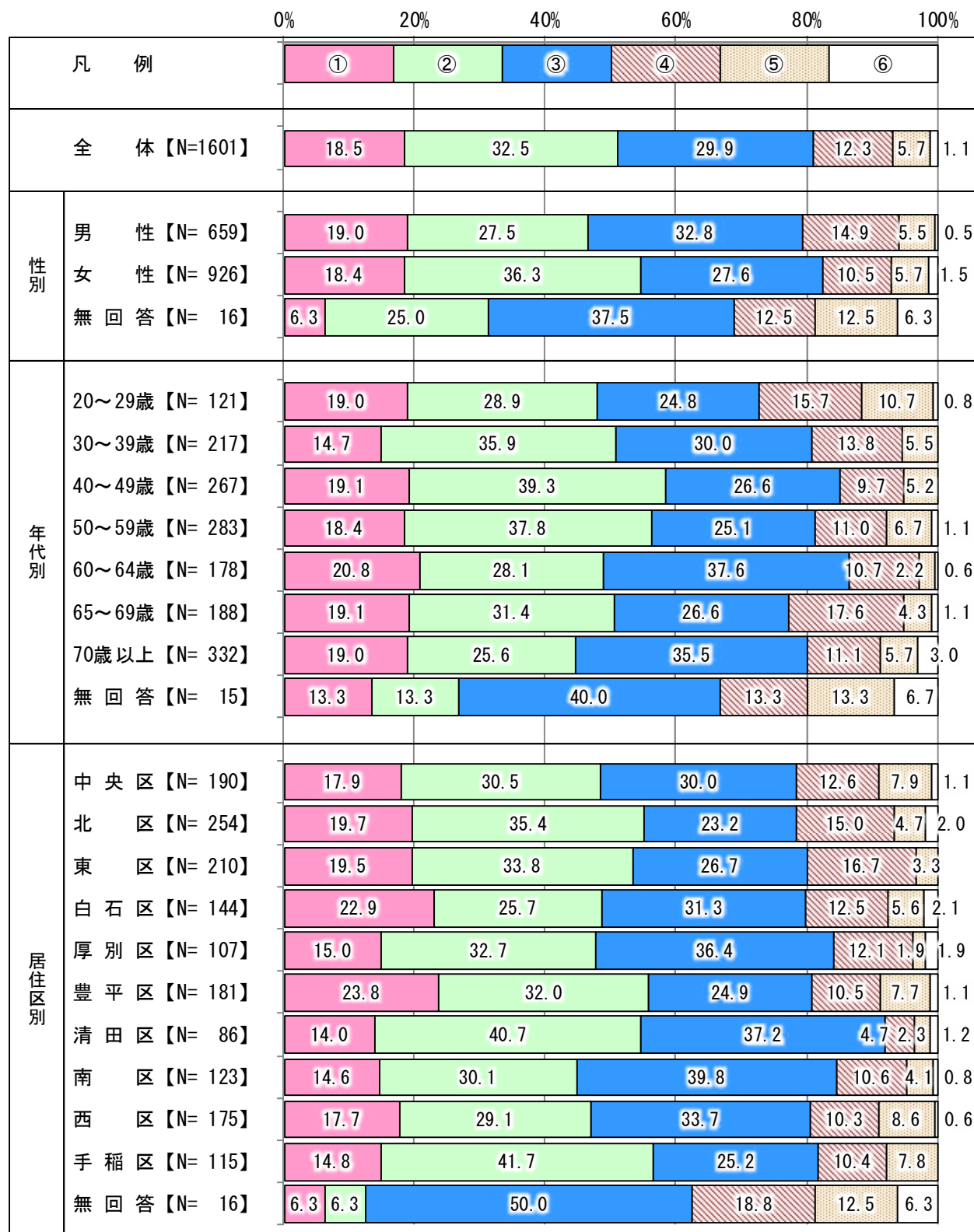
【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、65～69 歳では「まあそう思う」が最も高く、特に 40 歳代では 39.3%となっている。60～64 歳、70 歳以上は「あまりそう思わない」が最も高く、3 割を超えている。

【居住区別】

中央区、北区、東区、豊平区、清田区、手稲区では「まあそう思う」が最も高く、3 割を超えている。白石区、厚別区、南区、西区では「あまりそう思わない」が最も高く、3 割を超えている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

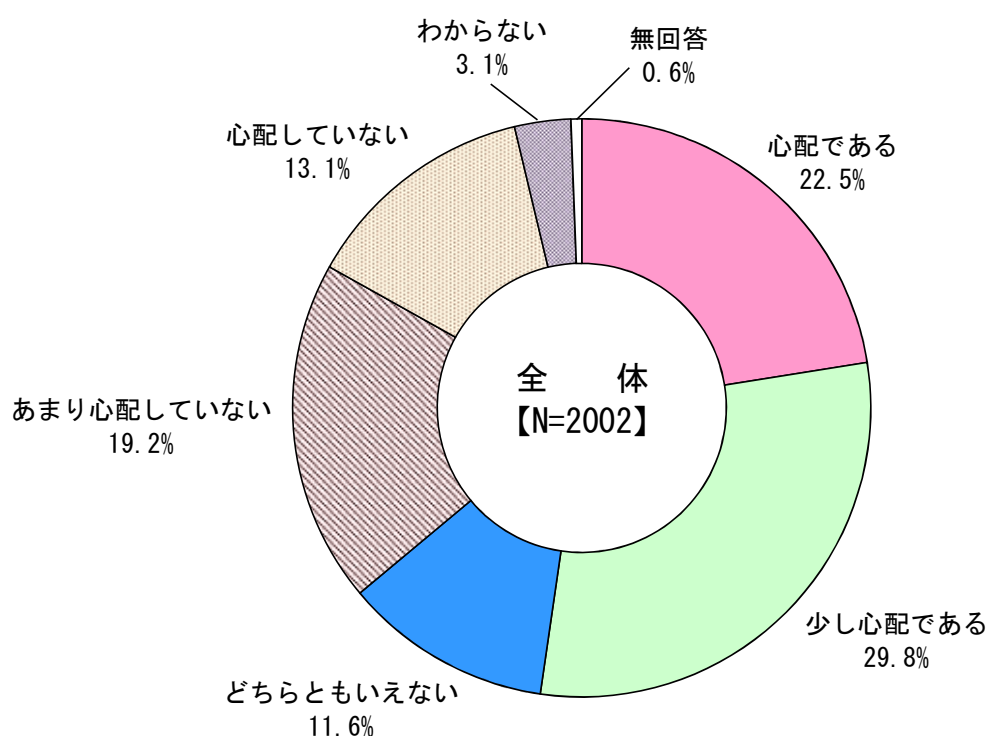


・ 孤立死について

【問21】 近年、孤立死（孤独死）※が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死（孤独死）について心配がありますか。あてはまるものに○をつけてください。

※孤立死（孤独死）とは、誰にも看取られずに亡くなったり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

孤立死については、「心配である」(22.5%)と「少し心配である」(29.8%)を合わせた“心配である”(52.3%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

孤立死については、「少し心配である」が 29.8%と最も高く、次いで「心配である」が 22.5%、「あまり心配していない」が 19.2%、「心配していない」が 13.1%、「どちらともいえない」が 11.6%、「わからない」が 3.1%となっている。

【性別】

男女共に「少し心配である」が最も高く、男性が 27.4%、女性が 31.5%となっている。「心配していない」は男性が 15.0%と女性の 11.9%と比較し高い。

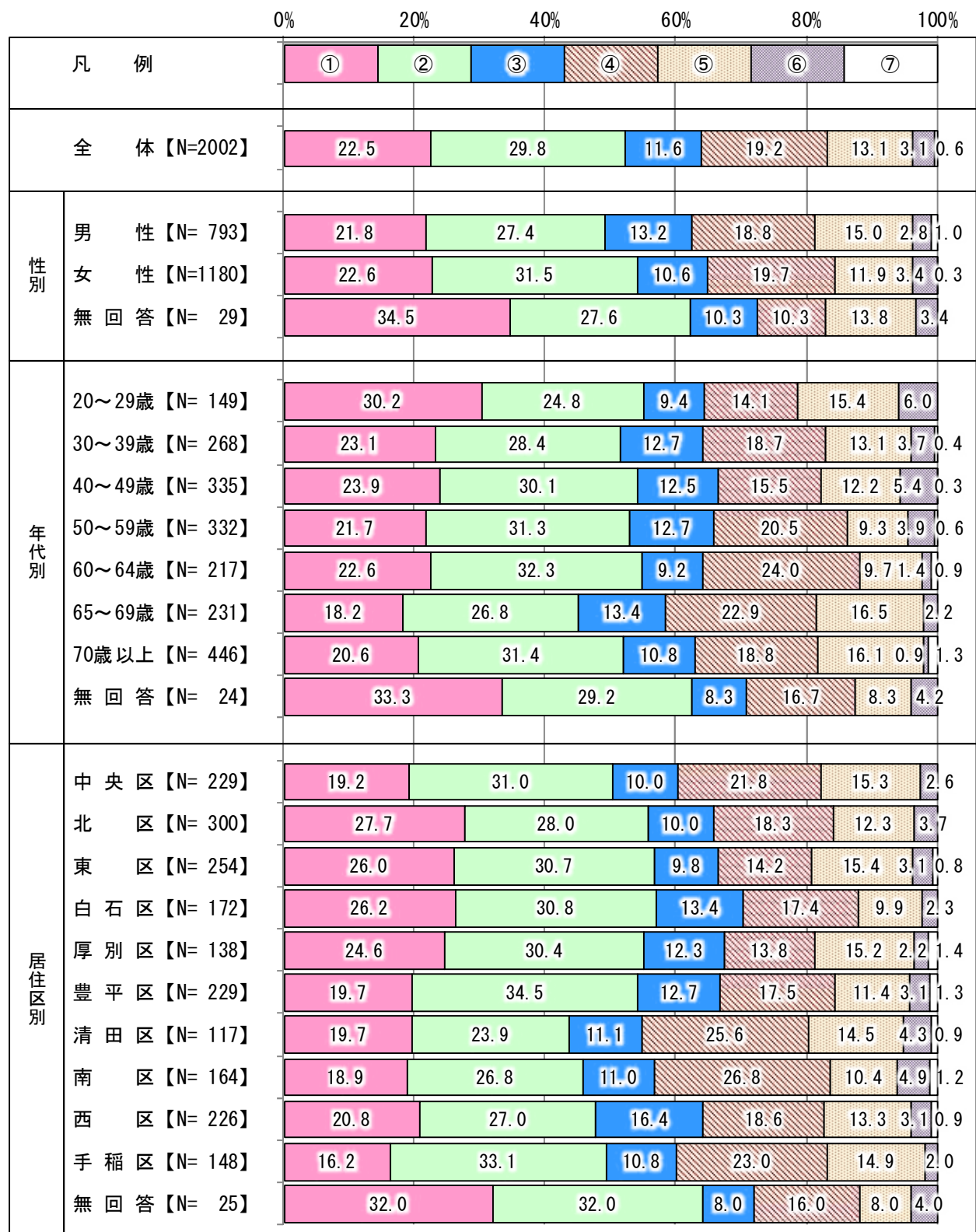
【年代別】

20 歳代を除く全ての年代で「少し心配である」が最も高く、3 割程度となっている。20 歳代は「心配である」が 30.2%となっている。「あまり心配していない」は 60～64 歳が 24.0%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

清田区を除く全ての居住区で「少し心配である」が最も高く、3 割程度となっている。清田区は「あまり心配していない」が 25.6%と最も高い。

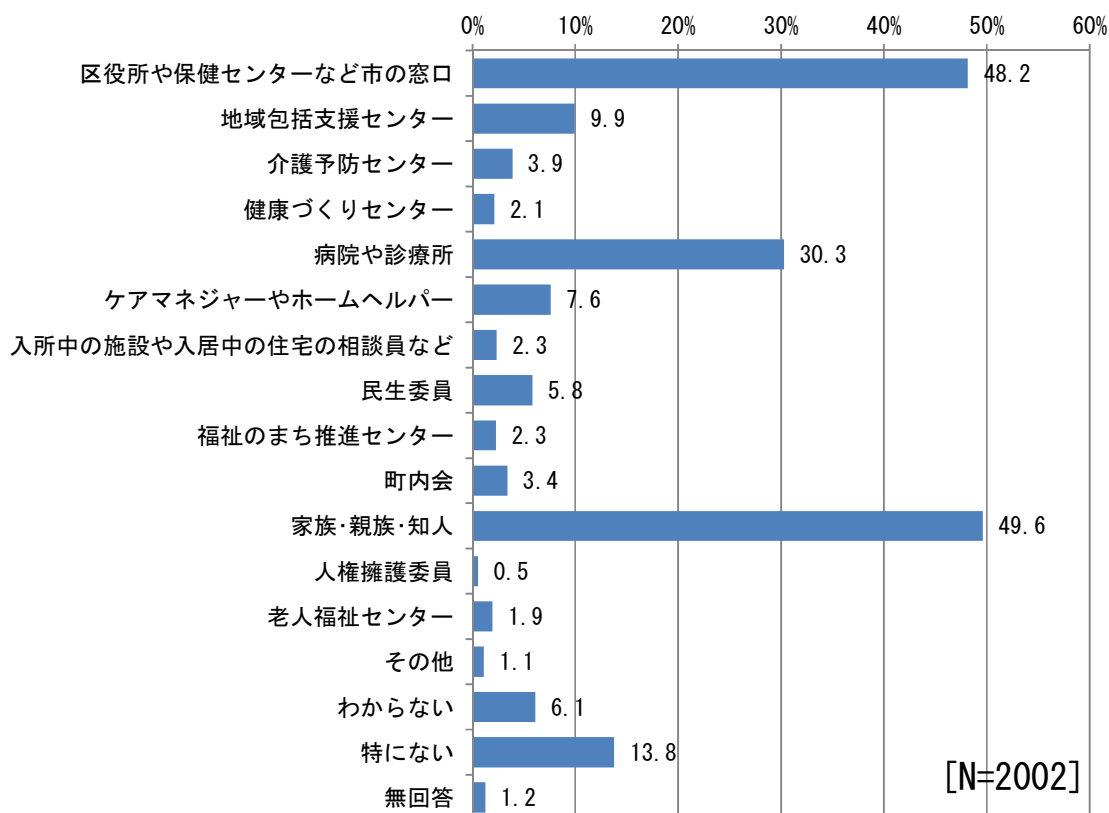
①心配である	②少し心配である	③どちらともいえない
④あまり心配していない	⑤心配していない	⑥わからない
		⑦無回答



・ 生活や健康福祉に関して相談するところ

【問22】 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉に関して相談するところについては、「家族・親族・知人」(49.6%)が最も高く、約 5 割となっている。



【対象者全体】

生活や健康福祉に関して相談するところについては、「家族・親族・知人」が 49.6%と最も高く、次いで「区役所や保健センターなど市の窓口」が 48.2%、「病院や診療所」が 30.3%となっている。

【性別】

男性は「病院や診療所」が 34.2%と女性の 27.8%と比較し高い。女性は「家族・親族・知人」が 53.7%と男性の 43.8%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代、70 歳以上では「家族・親族・知人」が最も高く、特に 20 歳代では 57.0%となっている。50 歳代、60 歳代では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、5 割程度となっている。20 歳代では「区役所や保健センターなど市の窓口」が 32.2%と他の年代と比較し低い。

【居住区別】

厚別区、豊平区、手稲区を除く全ての居住区で「家族・親族・知人」が最も高く、5 割程度となっている。厚別区、豊平区、手稲区では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、5 割程度となっている。特に手稲区は 57.4%と他の居住区と比較し高い。

問22 生活や健康福祉に関して相談するところ

		回答者数	窓口役所や保健センターなど市の	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院や診療所	ケアマネジャーやホームヘルパー	入所中の施設や入居中の住宅の相談員など	民生委員
全体		2,002	48.2	9.9	3.9	2.1	30.3	7.6	2.3	5.8
性別	男性	793	43.5	8.2	4.0	2.3	34.2	6.2	1.5	5.9
	女性	1,180	51.1	11.3	3.9	1.9	27.8	8.6	3.0	5.5
	無回答	29	55.2	3.4	-	6.9	24.1	3.4	-	17.2
年代別	20～29歳	149	32.2	4.0	0.7	1.3	30.2	4.0	1.3	0.7
	30～39歳	268	48.5	2.6	0.7	2.6	22.4	3.4	1.1	1.1
	40～49歳	335	51.6	6.9	1.8	1.2	25.4	4.8	1.8	2.1
	50～59歳	332	49.4	11.4	3.9	1.5	30.4	11.1	3.9	3.0
	60～64歳	217	54.8	12.0	0.9	2.8	31.8	11.5	5.1	3.2
	65～69歳	231	53.7	11.7	5.6	2.2	29.9	6.5	1.7	11.7
	70歳以上	446	43.9	15.9	9.2	2.7	38.6	9.9	1.8	13.2
	無回答	24	41.7	4.2	-	8.3	20.8	-	-	12.5
居住区別	中央区	229	48.9	11.8	5.7	3.9	27.1	10.5	1.7	5.2
	北区	300	46.0	7.7	1.7	1.3	32.0	6.3	2.0	7.0
	東区	254	44.1	10.6	4.3	2.0	29.9	5.5	3.1	5.5
	白石区	172	48.8	9.3	2.9	1.2	29.1	5.8	1.7	4.7
	厚別区	138	52.9	12.3	3.6	1.4	23.9	7.2	3.6	12.3
	豊平区	229	48.0	8.3	4.4	0.9	28.8	8.7	2.6	6.1
	清田区	117	42.7	10.3	4.3	0.9	23.9	8.5	2.6	4.3
	南区	164	47.0	10.4	3.7	2.4	34.1	10.4	0.6	5.5
	西区	226	49.6	12.4	5.3	3.5	36.3	6.6	3.1	3.5
	手稲区	148	57.4	8.1	4.1	2.7	35.1	8.1	2.7	4.1
	無回答	25	44.0	4.0	-	8.0	20.0	4.0	-	12.0

		福祉のまち推進センター	町内会	家族・親族・知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答	計
全体		2.3	3.4	49.6	0.5	1.9	1.1	6.1	13.8	1.2	190.2
性別	男性	3.2	4.2	43.8	0.9	1.8	0.9	5.8	16.9	1.4	184.5
	女性	1.8	2.7	53.7	0.3	1.9	1.3	6.2	11.9	1.1	194.2
	無回答	-	10.3	41.4	-	6.9	-	10.3	3.4	3.4	186.2
年代別	20～29歳	1.3	0.7	57.0	0.7	2.7	1.3	9.4	20.8	7.4	175.8
	30～39歳	0.7	0.7	50.4	-	0.4	2.2	7.1	15.7	4.9	164.6
	40～49歳	0.6	3.0	52.2	0.3	-	0.9	11.0	14.3	-	177.9
	50～59歳	2.1	1.2	49.1	0.3	0.6	1.2	7.5	15.4	-	192.2
	60～64歳	2.8	1.4	46.5	0.9	2.8	0.9	3.7	12.0	-	193.1
	65～69歳	3.9	4.3	46.3	0.9	2.2	0.4	3.5	17.3	-	201.7
	70歳以上	4.0	8.3	48.7	0.7	4.5	0.9	1.8	8.1	-	212.1
	無回答	-	4.2	41.7	4.2	4.2	-	12.5	8.3	4.2	166.7
居住区別	中央区	1.3	3.1	54.6	0.4	1.3	-	4.8	13.1	0.4	193.9
	北区	1.3	4.7	48.0	0.7	0.7	0.7	7.3	15.7	3.7	186.7
	東区	1.6	2.4	48.4	0.8	3.1	3.5	9.1	11.4	5.1	190.6
	白石区	1.2	1.7	52.3	0.6	-	0.6	7.6	12.8	-	180.2
	厚別区	3.6	2.9	47.1	0.7	4.3	0.7	5.8	15.9	-	198.6
	豊平区	3.1	1.3	45.4	-	3.1	1.3	3.9	17.9	-	183.8
	清田区	1.7	4.3	48.7	-	-	-	9.4	13.7	-	175.2
	南区	3.0	4.9	47.6	-	4.3	1.8	4.3	15.9	-	195.7
	西区	4.0	4.4	51.3	0.9	1.8	0.9	4.4	12.4	-	200.4
	手稲区	3.4	4.7	54.7	0.7	0.7	0.7	3.4	9.5	-	200.0
	無回答	-	4.0	40.0	4.0	4.0	-	12.0	4.0	-	160.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

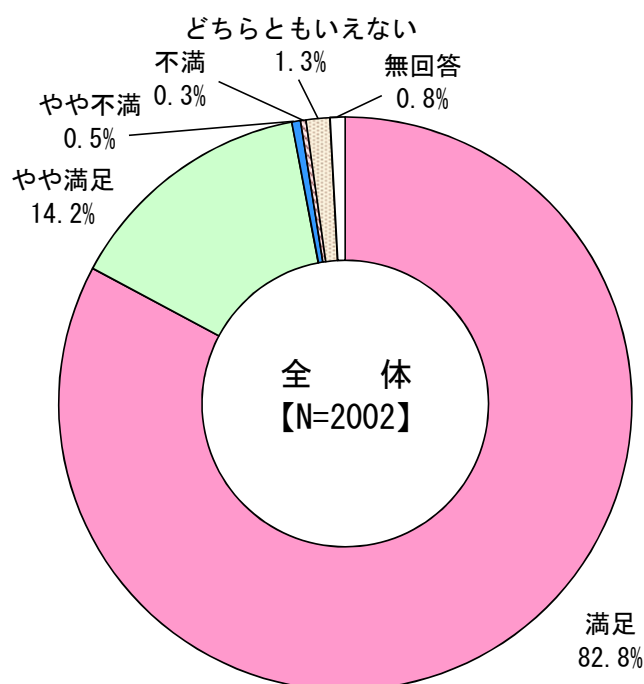
(5) 水道事業について

・ 水道事業に関する満足度

【問23】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること（事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く）

水道水を安定してお届けすることの満足度については、「満足」(82.8%)と「やや満足」(14.2%)を合わせた“満足”(97.0%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

水道水を安定してお届けすることの満足度については、「満足」が 82.8%と最も高く、次いで「やや満足」が 14.2%、「どちらともいえない」が 1.3%、「やや不満」が 0.5%、「不満」が 0.3%となっている。

【性別】

男女共に「満足」が最も高く、男性が 82.1%、女性が 83.8%となっている。性別による大きな傾向の違いは見られない。

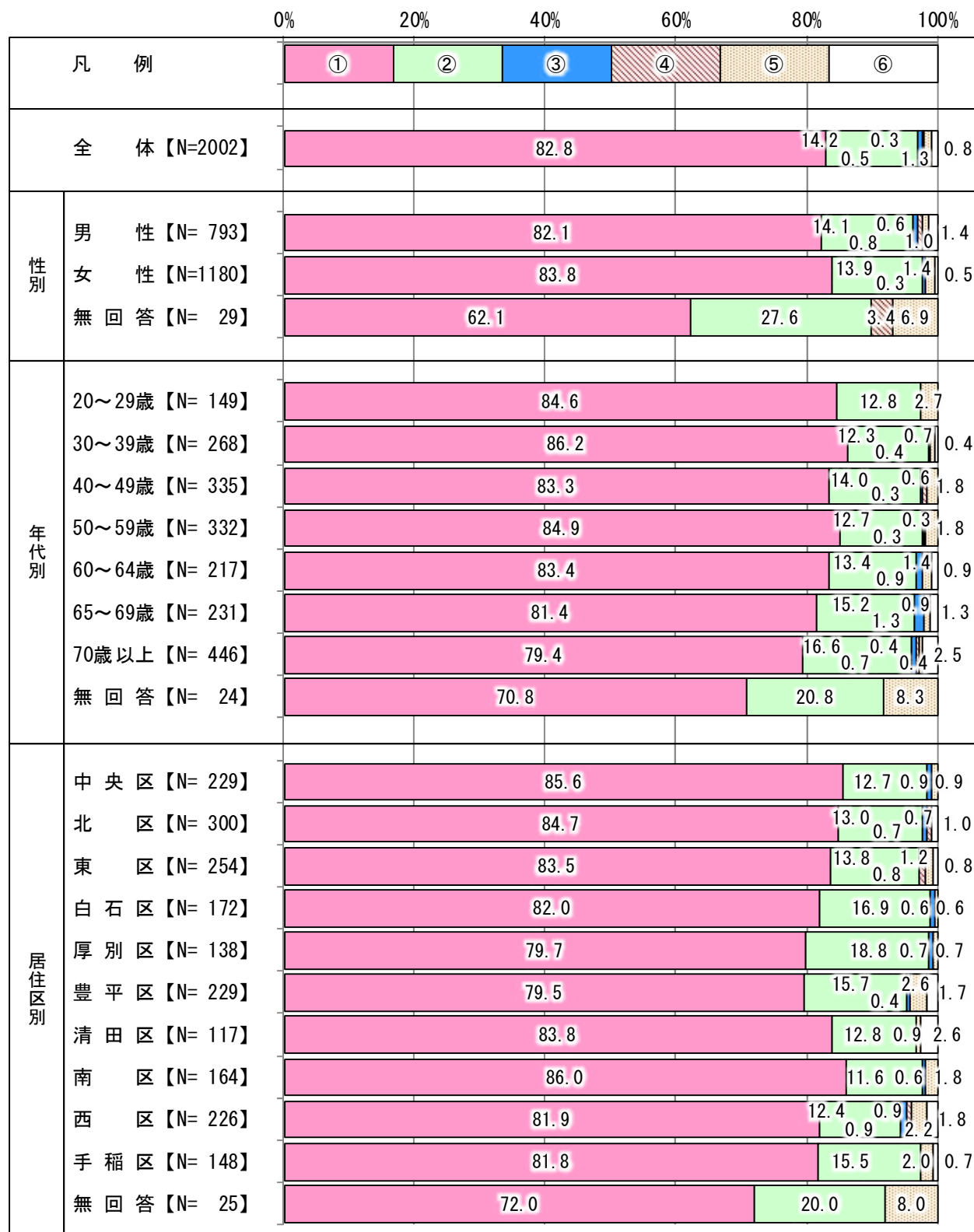
【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、8割程度となっている。年代による大きな傾向の違いは見られない。

【居住区別】

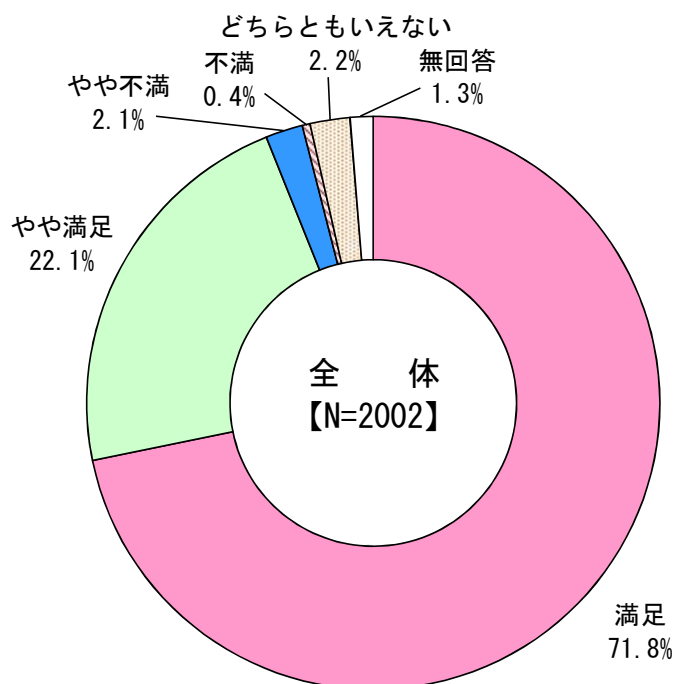
全居住区で「満足」が最も高く、8割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

①満足	②やや満足	③やや不満	④不満	⑤どちらともいえない	⑥無回答
-----	-------	-------	-----	------------	------



(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることの満足度については、「満足」(71.8%)と「やや満足」(22.1%)を合わせた“満足”(93.9%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることの満足度については、「満足」が71.8%と最も高く、次いで「やや満足」が22.1%、「どちらともいえない」が2.2%、「やや不満」が2.1%、「不満」が0.4%となっている。

【性別】

男女共に「満足」が最も高く、男性が73.8%、女性が70.6%となっている。「やや満足」は女性が23.2%と男性の20.3%と比較し高い。

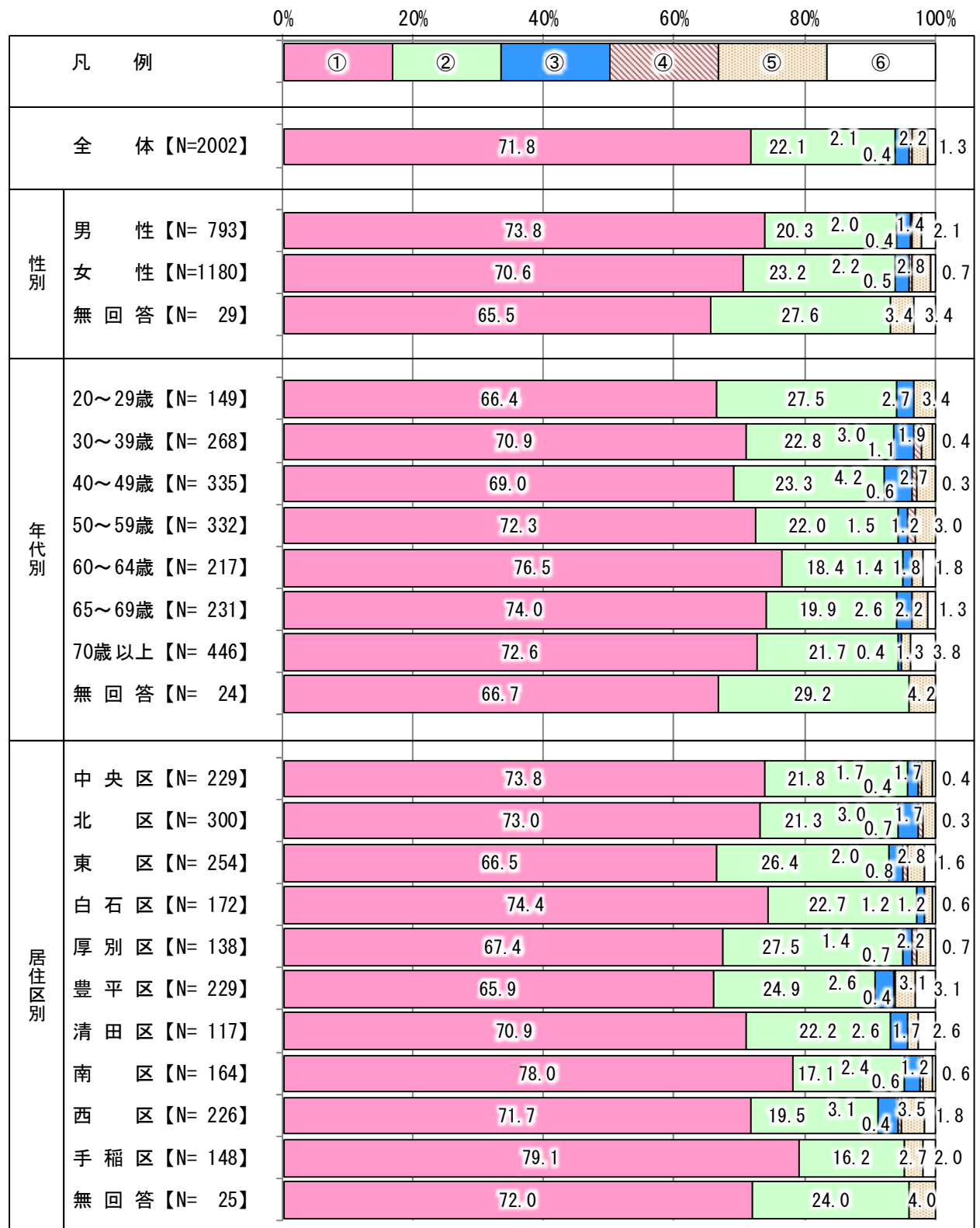
【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、7割程度となっている。40歳代では「やや不満」が4.2%と他の年代と比較し若干高い。

【居住区別】

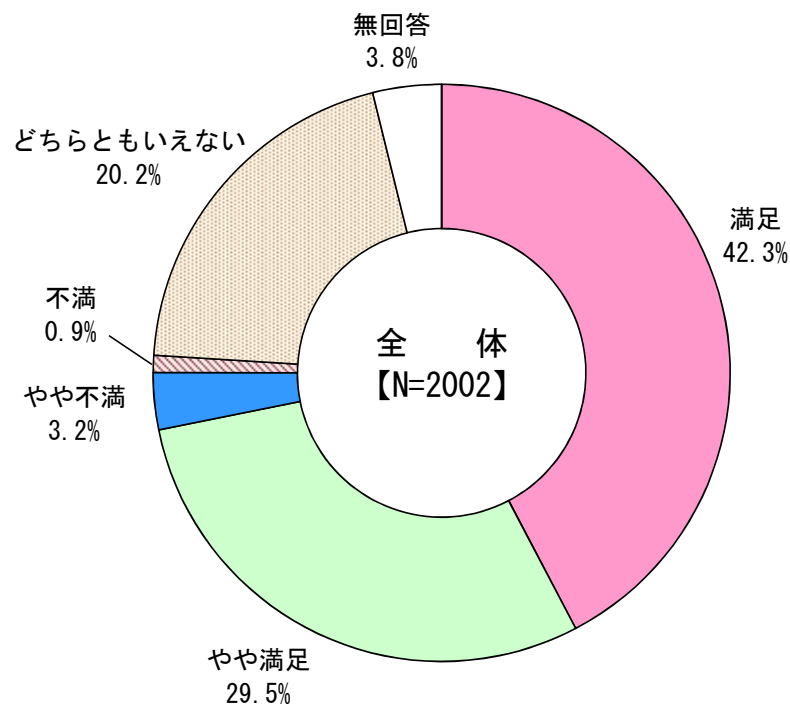
全居住区で「満足」が最も高く、7割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

①満足	②やや満足	③やや不満	④不満	⑤どちらともいえない	⑥無回答
-----	-------	-------	-----	------------	------



(3) お客様サービス（問い合わせ対応・広報）

お客様サービスの満足度については、「満足」(42.3%)と「やや満足」(29.5%)を合わせた“満足”(71.8%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

お客様サービスの満足度については、「満足」が 42.3%と最も高く、次いで「やや満足」が 29.5%、「どちらともいえない」が 20.2%、「やや不満」が 3.2%、「不満」が 0.9%となっている。

【性別】

男女共に「満足」が最も高く、男性が 41.6%、女性が 42.9%となっている。性別による大きな傾向の違いは見られない。

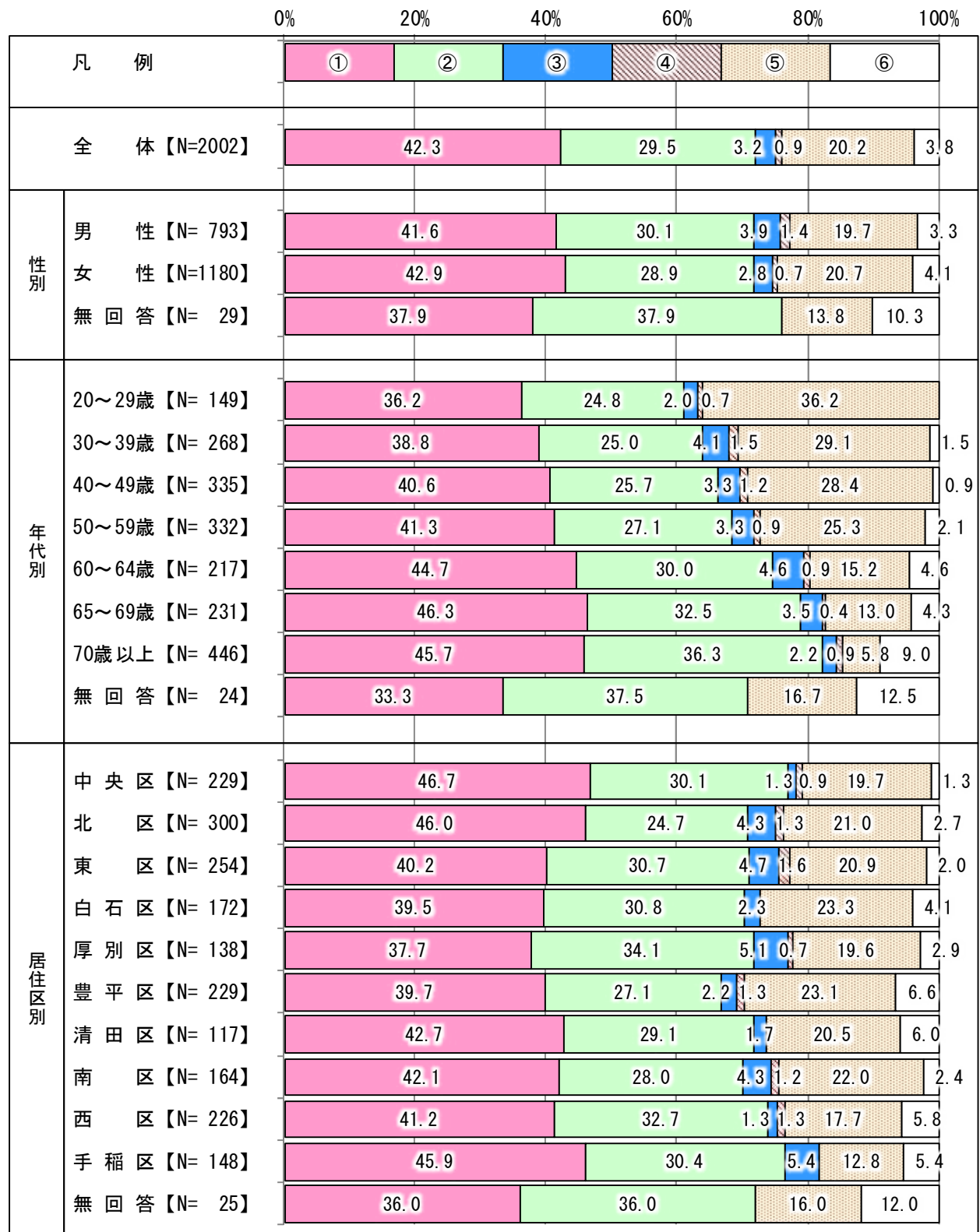
【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、20 歳代が 36.2%、70 歳以上が 45.7%と年代が上がるにつれ増加していく傾向となっている。「やや満足」も同様の傾向が見られる。

【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高く、4 割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

①満足	②やや満足	③やや不満	④不満	⑤どちらともいえない	⑥無回答
-----	-------	-------	-----	------------	------

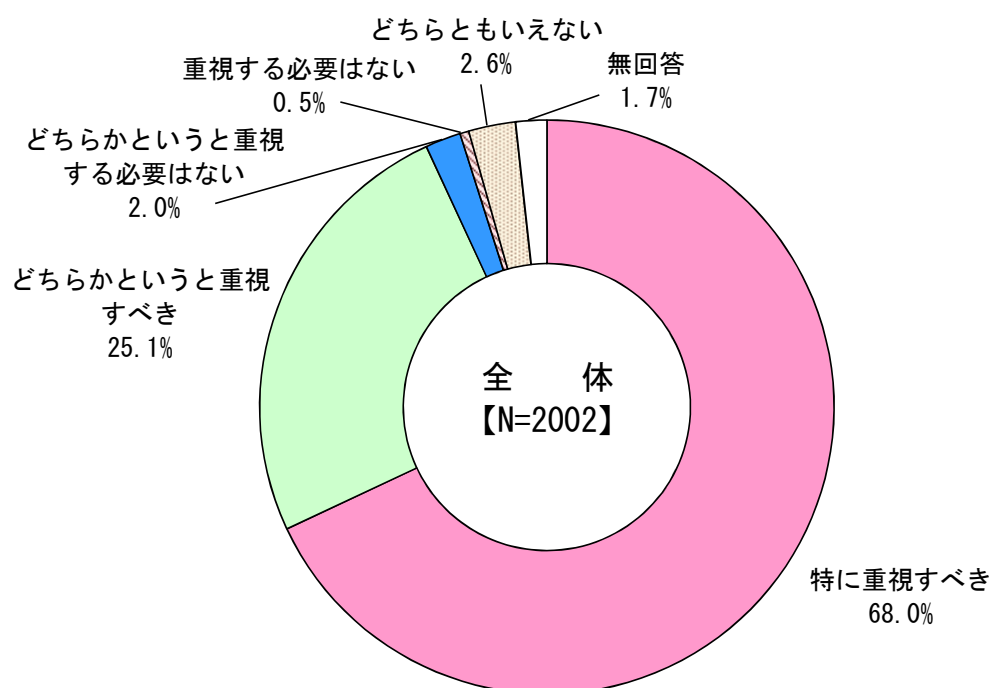


・ 水道事業で重視すべきこと

【問24】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄について今後どのくらい重視すべきとお考えですか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること（事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く）

水道水を安定してお届けすることの重要度については、「特に重視すべき」(68.0%)と「どちらかという重視すべき」(25.1%)を合わせた“重視すべき”(93.1%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

水道水を安定してお届けすることの重要度については、「特に重視すべき」が 68.0%と最も高く、次いで「どちらかという重視すべき」が 25.1%、「どちらともいえない」が 2.6%、「どちらかという重視する必要はない」が 2.0%、「重視する必要はない」が 0.5%となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」が最も高く、男性が 68.2%、女性が 68.4%となっている。性別による大きな傾向の違いは見られない。

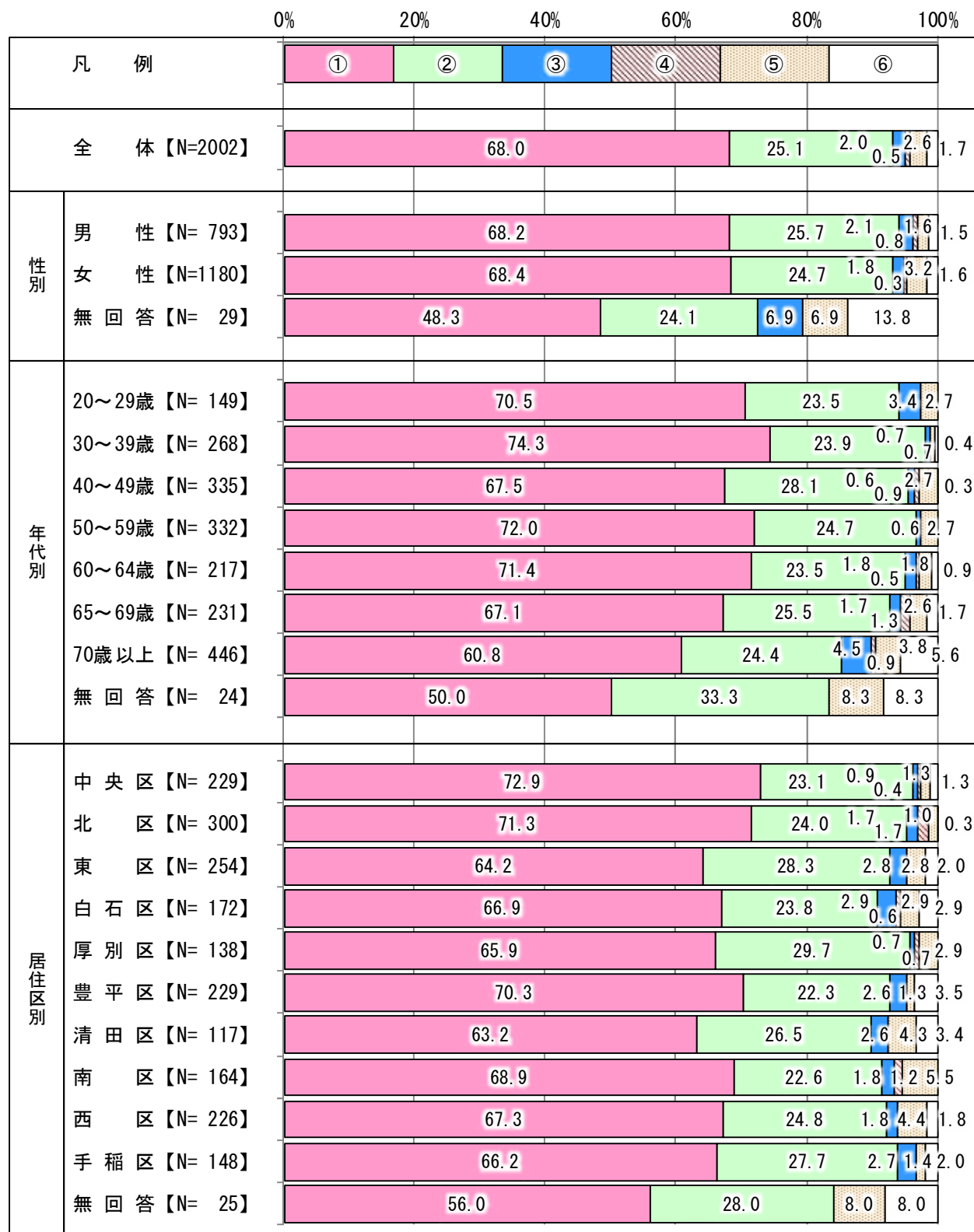
【年代別】

全年代で「特に重視すべき」が最も高く、30 歳代は 74.3%となっている。年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

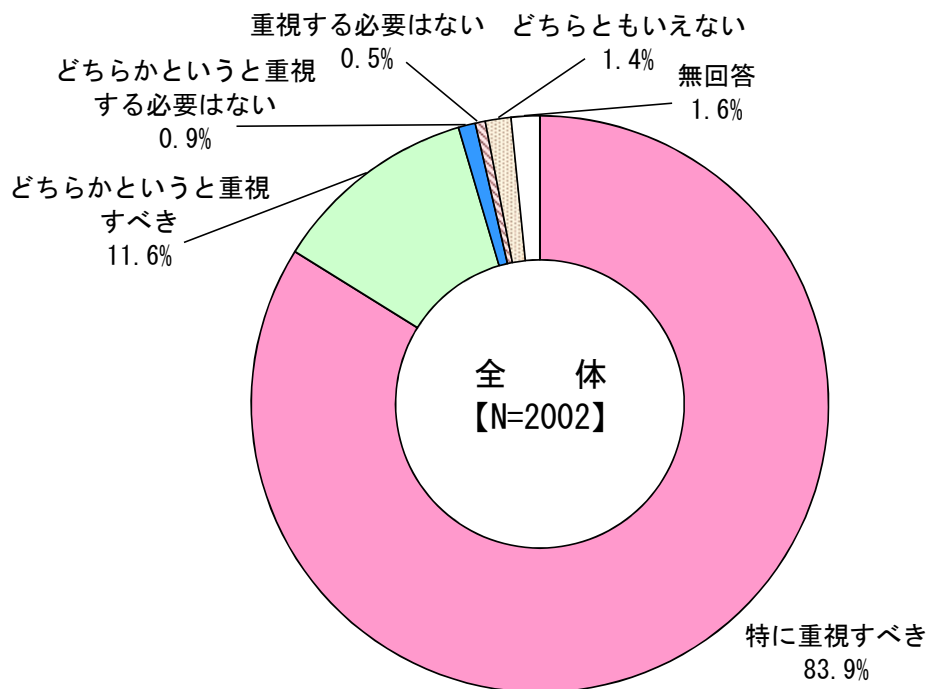
全居住区で「特に重視すべき」が最も高く、中央区、北区、豊平区では 7 割を超えている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水をお届けすることの重要度については、「特に重視すべき」(83.9%)と「どちらかという重視すべき」(11.6%)を合わせた“重視すべき”(95.5%)が全体の9割以上を占めている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水をお届けすることの重要度については、「特に重視すべき」が 83.9%と最も高く、次いで「どちらかという重視すべき」が 11.6%、「どちらともいえない」が 1.4%、「どちらかという重視する必要がある」が 0.9%、「重視する必要はない」が 0.5%となっている。

【性別】

男女共に「特に重視すべき」が最も高く、男性が 83.9%、女性が 84.2%となっている。性別による大きな傾向の違いは見られない。

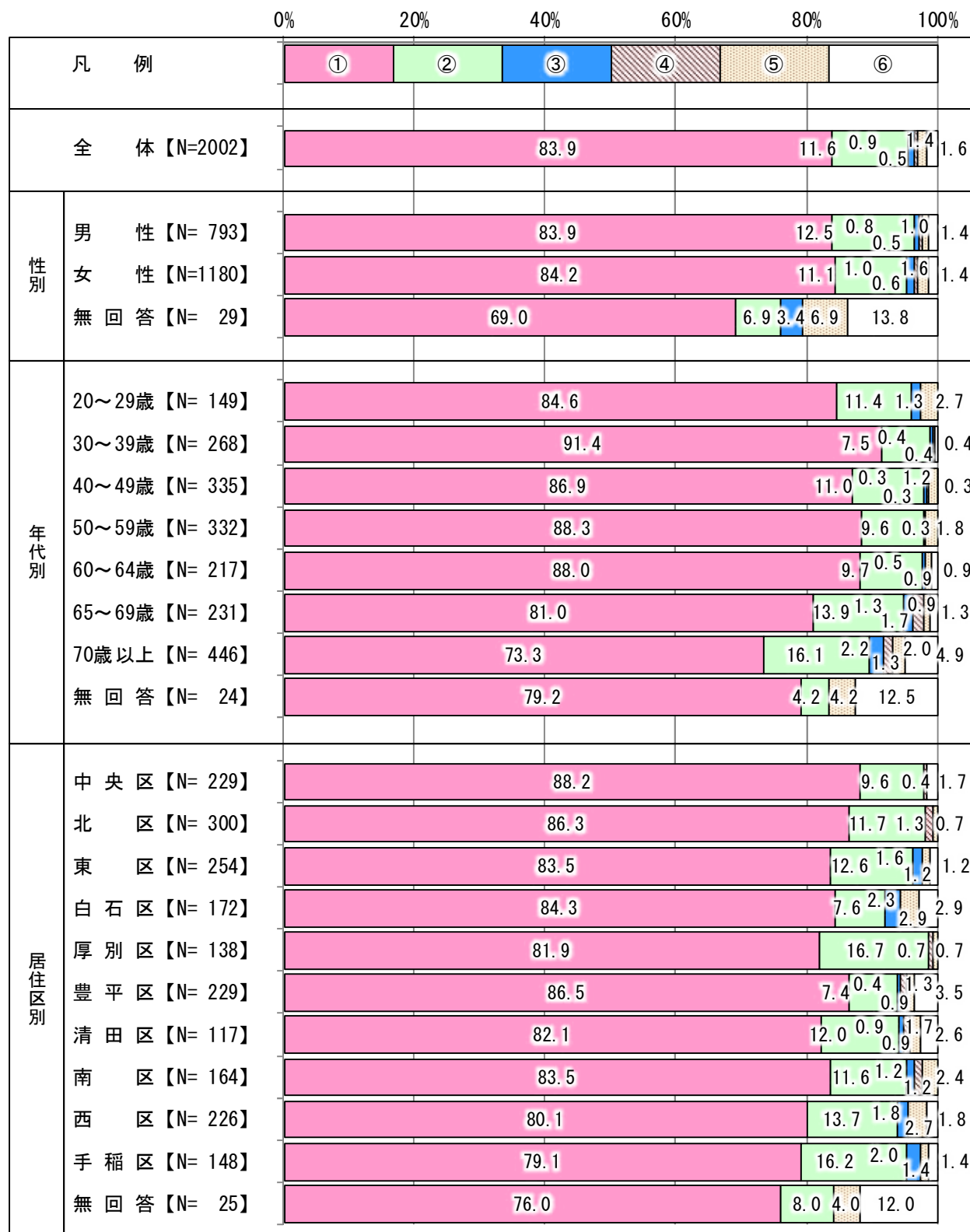
【年代別】

全年代で「特に重視すべき」が最も高く、30 歳代では9割を超えている。年代による大きな傾向の違いは見られない。

【居住区別】

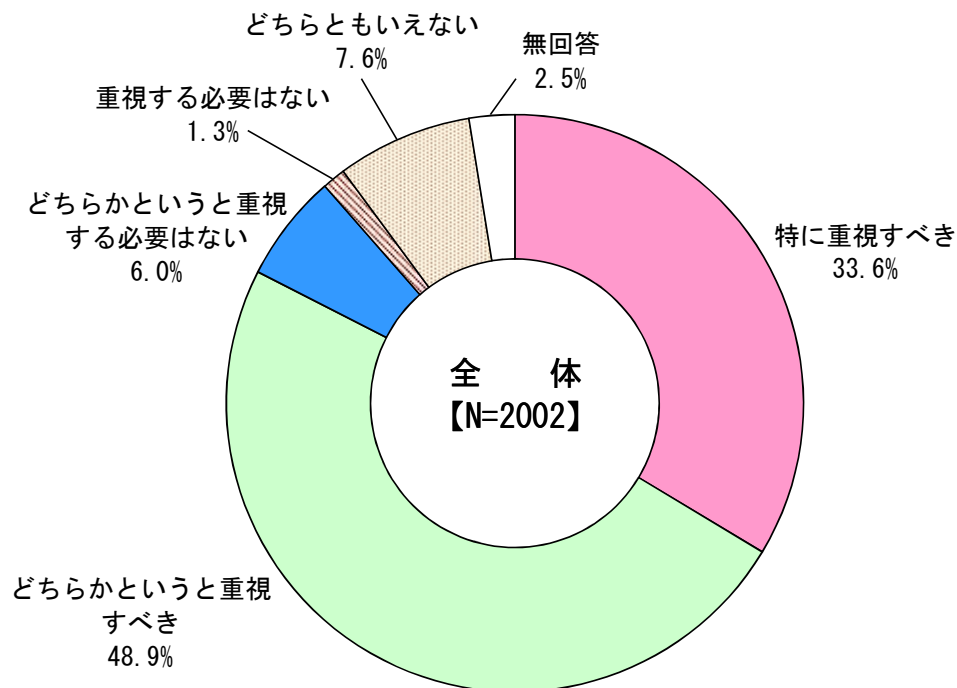
全居住区で「特に重視すべき」が最も高く、8割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



(3) お客様サービス（問い合わせ対応・広報）

お客様サービスの重要度については、「特に重視すべき」(33.6%)と「どちらかという重視すべき」(48.9%)を合わせた「重視すべき」(82.5%)が全体の約 8 割を占めている。



【対象者全体】

お客様サービスの重要度については、「どちらかという重視すべき」が 48.9%と最も高く、次いで「特に重視すべき」が 33.6%、「どちらともいえない」が 7.6%、「どちらかという重視する必要はない」が 6.0%、「重視する必要はない」が 1.3%となっている。

【性別】

男女共に「どちらかという重視すべき」が最も高く、男性が 49.7%、女性が 48.9%となっている。「特に重視すべき」は女性が 35.1%と男性の 31.4%と比較し高い。

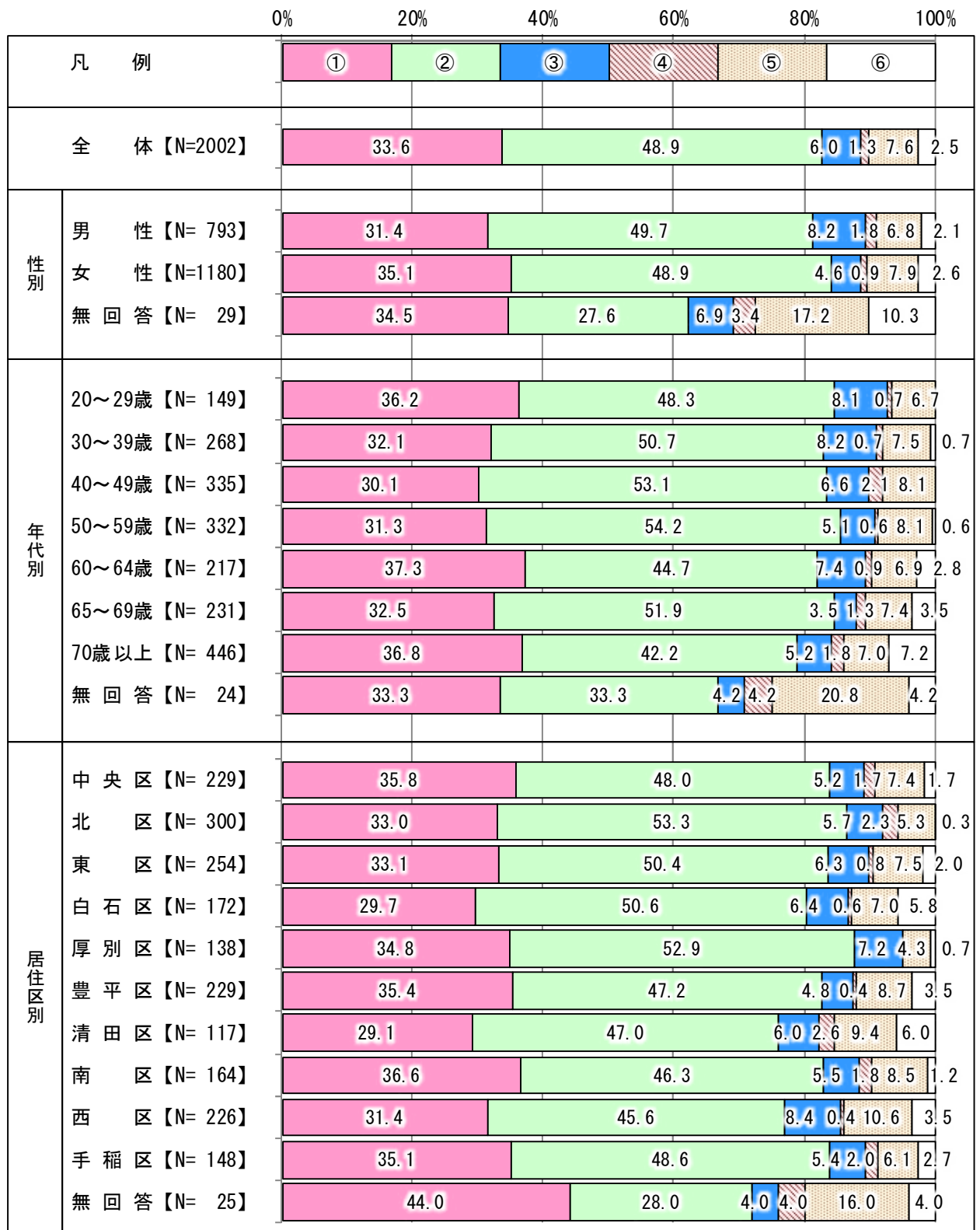
【年代別】

全年代で「どちらかという重視すべき」が最も高く、5 割程度となっている。年代による大きな傾向の違いは見られない。

【居住区別】

全居住区で「どちらかという重視すべき」が最も高く 5 割程度となっている。居住区による大きな傾向の違いは見られない。

- ①特に重視すべき ②どちらかという重視すべき ③どちらかという重視する必要はない
④重視する必要はない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



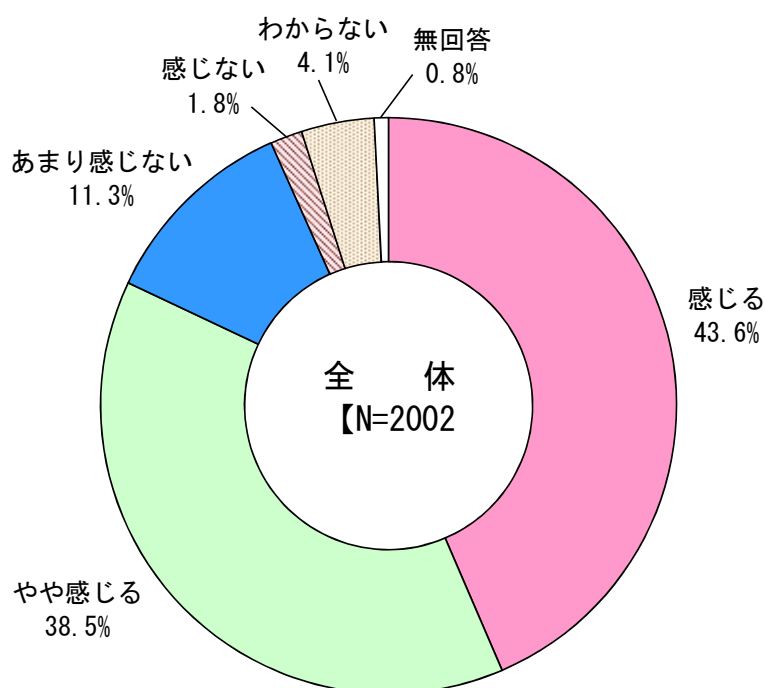
(6) 将来を見据えた魅力ある都市の整備

・ 都心部の「にぎわい」について

【問25】 あなたは、札幌の都心（右図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



都心部の「にぎわい」については、「感じる」(43.6%)と「やや感じる」(38.5%)を合わせた“感じる”(82.1%)が全体の約 8 割を占めている。



【対象者全体】

都心部の「にぎわい」については、「感じる」が 43.6%と最も高く、次いで「やや感じる」が 38.5%、「あまり感じない」が 11.3%、「わからない」が 4.1%、「感じない」が 1.8%となっている。

【性別】

男女共に「感じる」が最も高く、男性が 40.6%、女性が 45.8%となっている。「あまり感じない」は男性が 13.1%と女性の 10.0%と比較し高い。

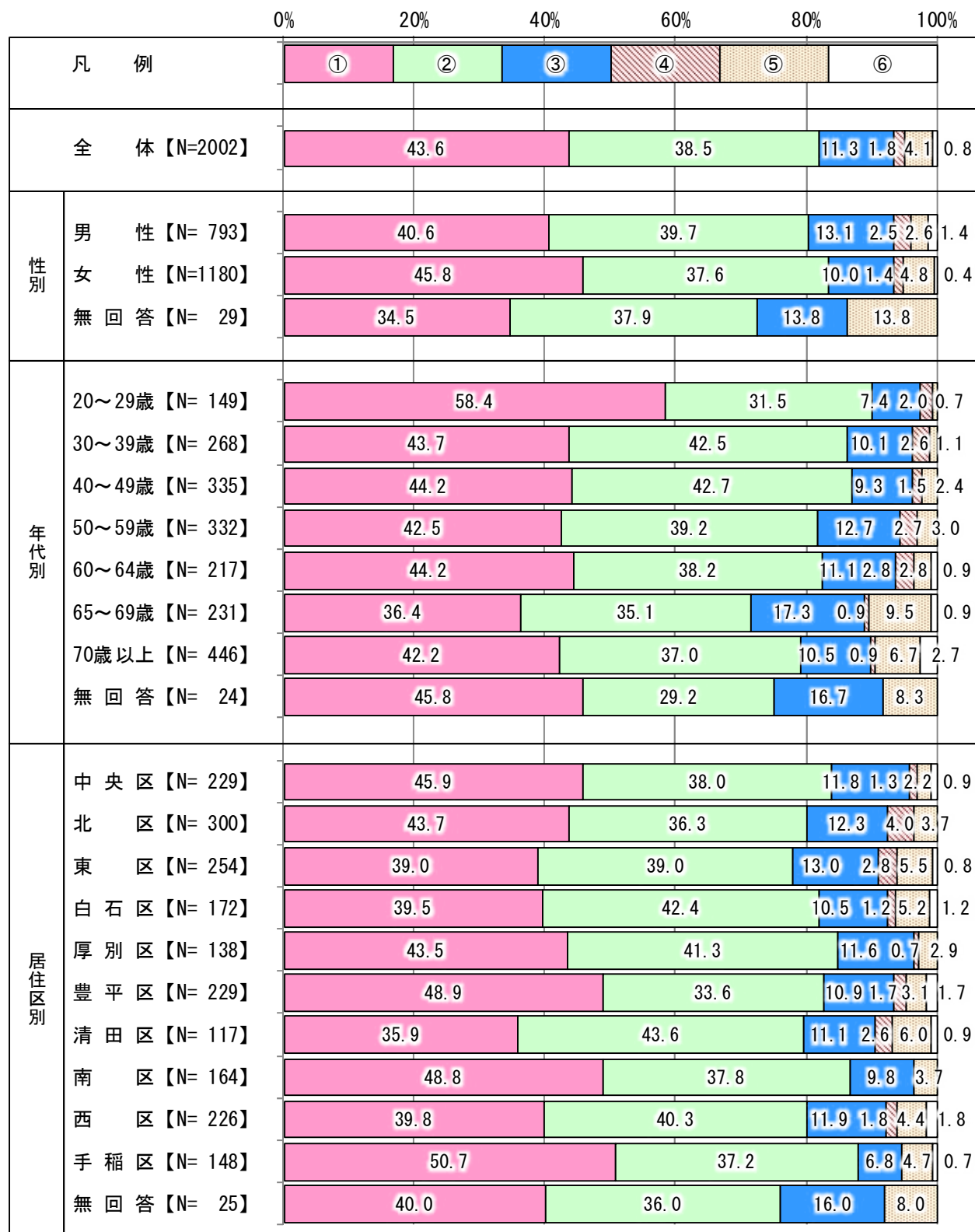
【年代別】

全年代で「感じる」が最も高く、特に 20 歳代では 58.4%と他の年代と比較し高い。「あまり感じない」は 65～69 歳では 17.3%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

白石区、清田区、西区を除く全ての居住区で「感じる」が最も高く、4 割程度となっている。白石区、清田区、西区では「やや感じる」が最も高く、4 割程度となっている。

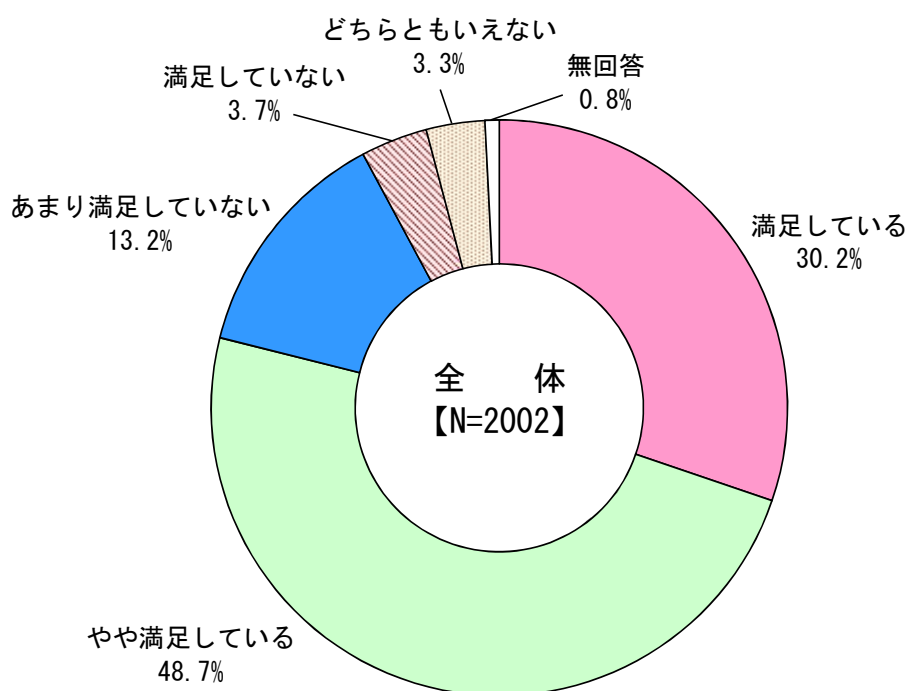
①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



・ 住環境の満足度

【問26】 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(30.2%)と「やや満足している」(48.7%)を合わせた“満足している”(78.9%)が全体の約 8 割を占めている。



【対象者全体】

住環境の満足度については、「やや満足している」が 48.7%と最も高く、次いで「満足している」が 30.2%、「あまり満足していない」が 13.2%、「満足していない」が 3.7%、「どちらともいえない」が 3.3%となっている。

【性別】

男女共に「やや満足している」が最も高く、男性が 50.3%、女性が 47.5%となっている。「あまり満足していない」は女性が 14.6%と男性の 11.2%と比較し高い。

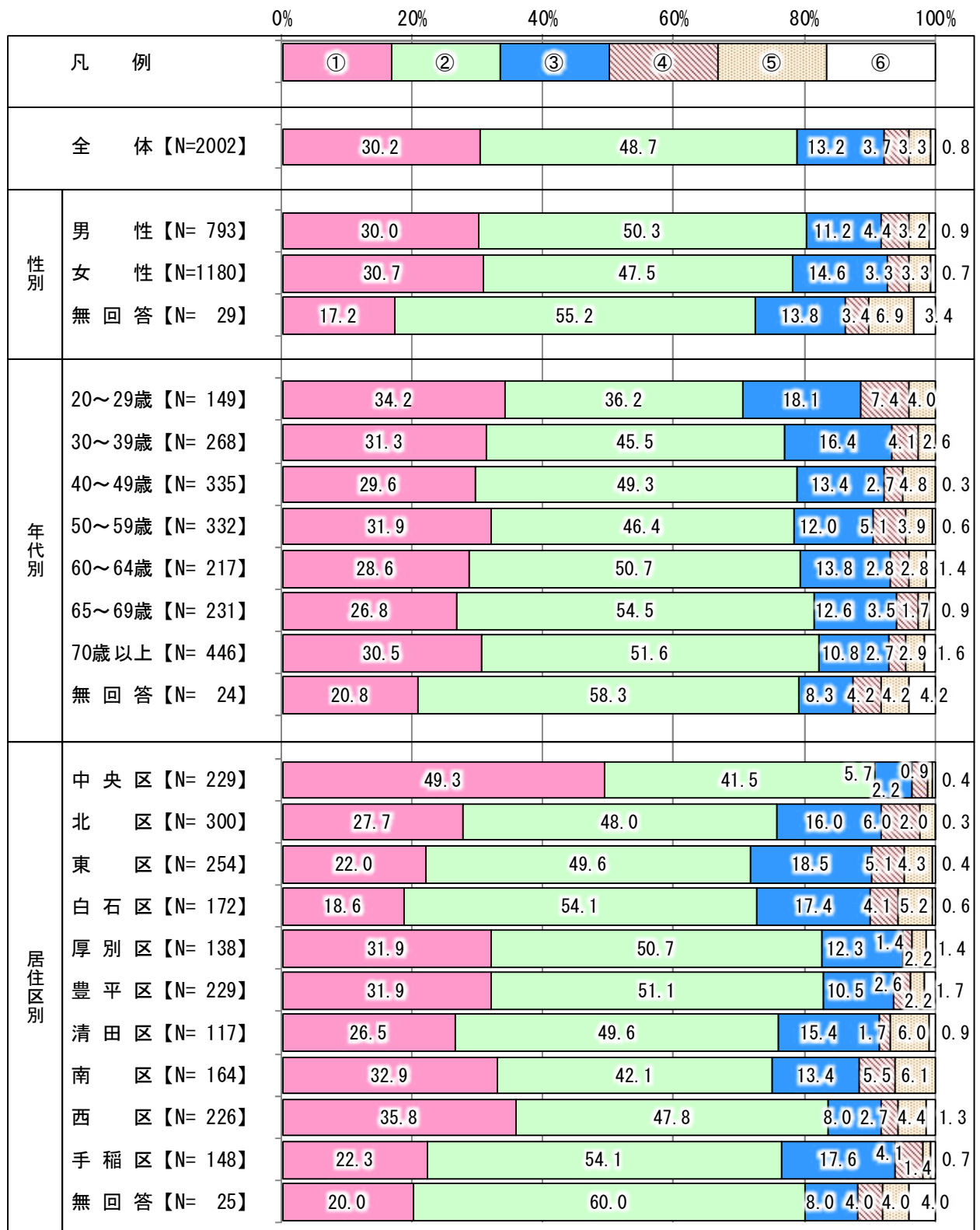
【年代別】

全年代で「やや満足している」が最も高く、20 歳代が 36.2%、65～69 歳が 54.5%と年代が上がるにつれ増加していく傾向となっている。

【居住区別】

中央区を除く全ての居住区で「やや満足している」が最も高く、5 割程度となっている。中央区では「満足している」が 49.3%となっている。居住区によって若干バラつきが見られる。

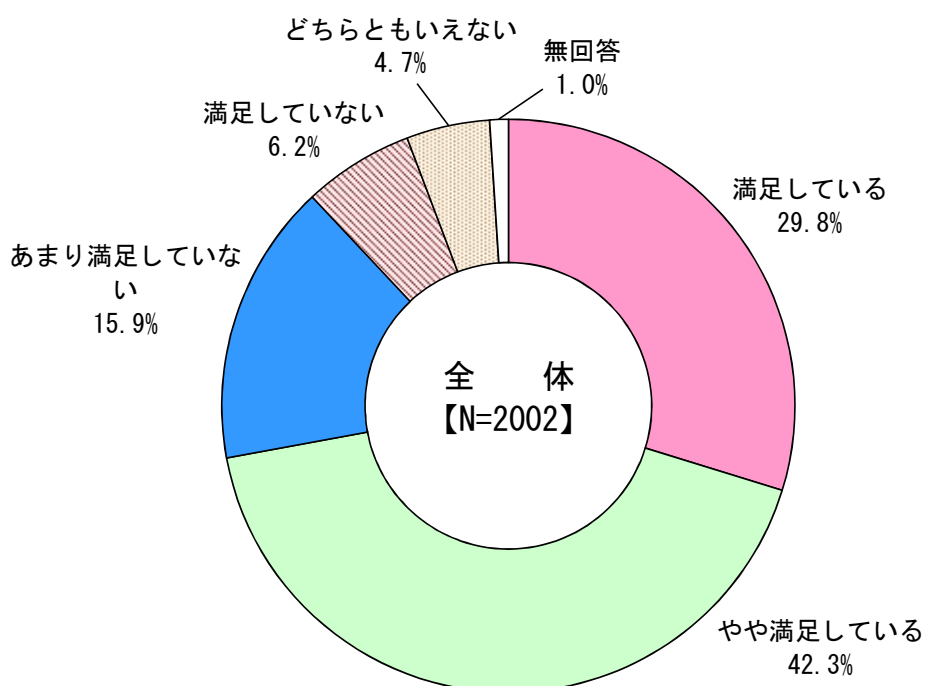
①満足している	②やや満足している	③あまり満足していない
④満足していない	⑤どちらともいえない	⑥無回答



・ 公共交通の満足度

【問27】 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(29.8%)と「やや満足している」(42.3%)を合わせた“満足している”(72.1%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

公共交通の満足度については、「やや満足している」が 42.3%と最も高く、次いで「満足している」が 29.8%、「あまり満足していない」が 15.9%、「満足していない」が 6.2%、「どちらともいえない」が 4.7%となっている。

【性別】

男女共に「やや満足している」が最も高く、男性が 44.9%、女性が 40.3%となっている。「満足している」は女性が 32.8%と男性の 25.7%と比較し高い。

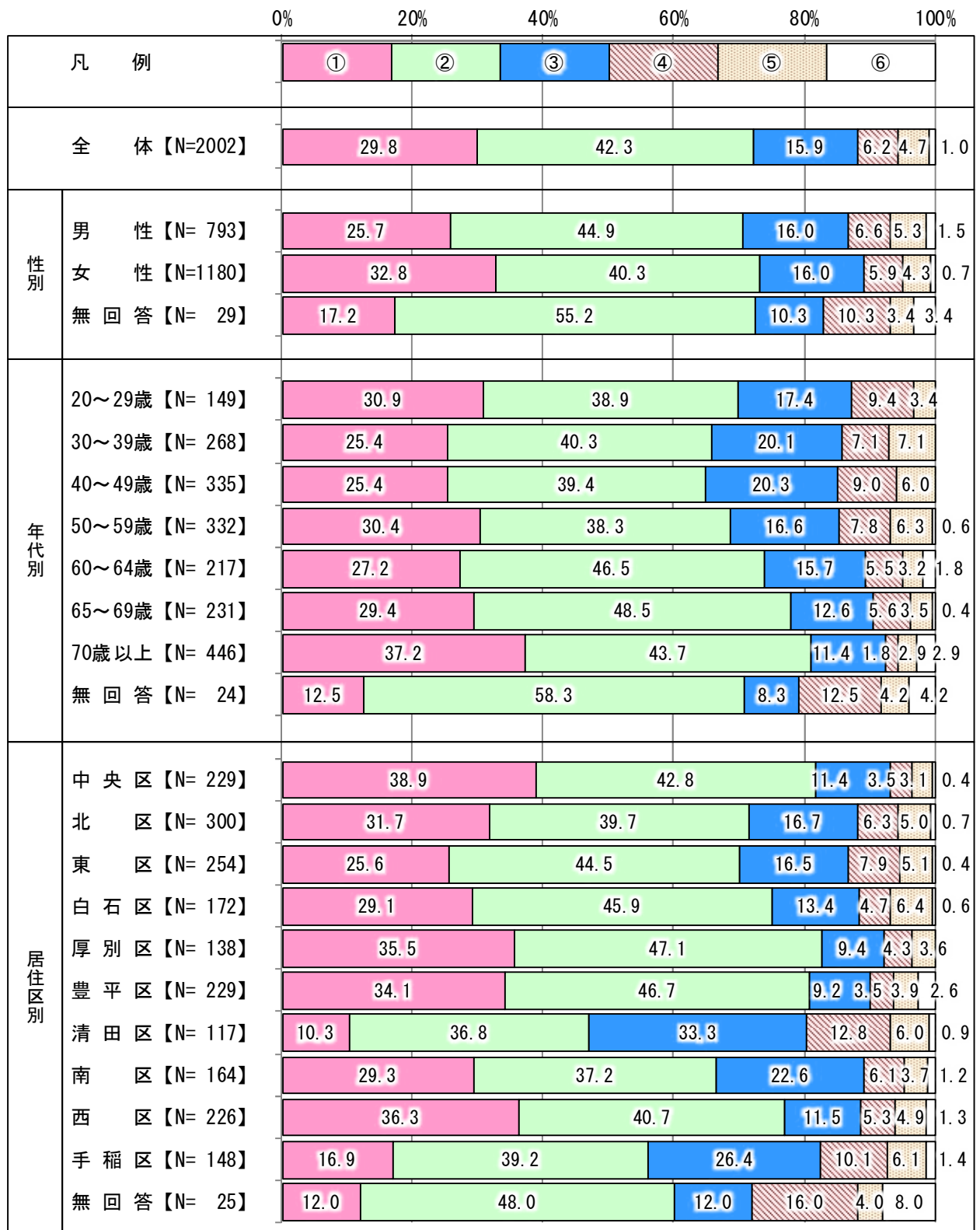
【年代別】

全年代で「やや満足している」が最も高く、特に 65～69 歳では 48.5%となっている。「満足している」は 70 歳以上が 37.2%と他の年代と比較し高い。「あまり満足していない」は 30 歳代が 20.1%、40 歳代が 20.3%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高く、厚別区では 47.1%となっている。「あまり満足していない」は清田区で 33.3%と他の居住区と比較し高い。居住区によって大きなバラつきが見られる。

①満足している	②やや満足している	③あまり満足していない
④満足していない	⑤どちらともいえない	⑥無回答

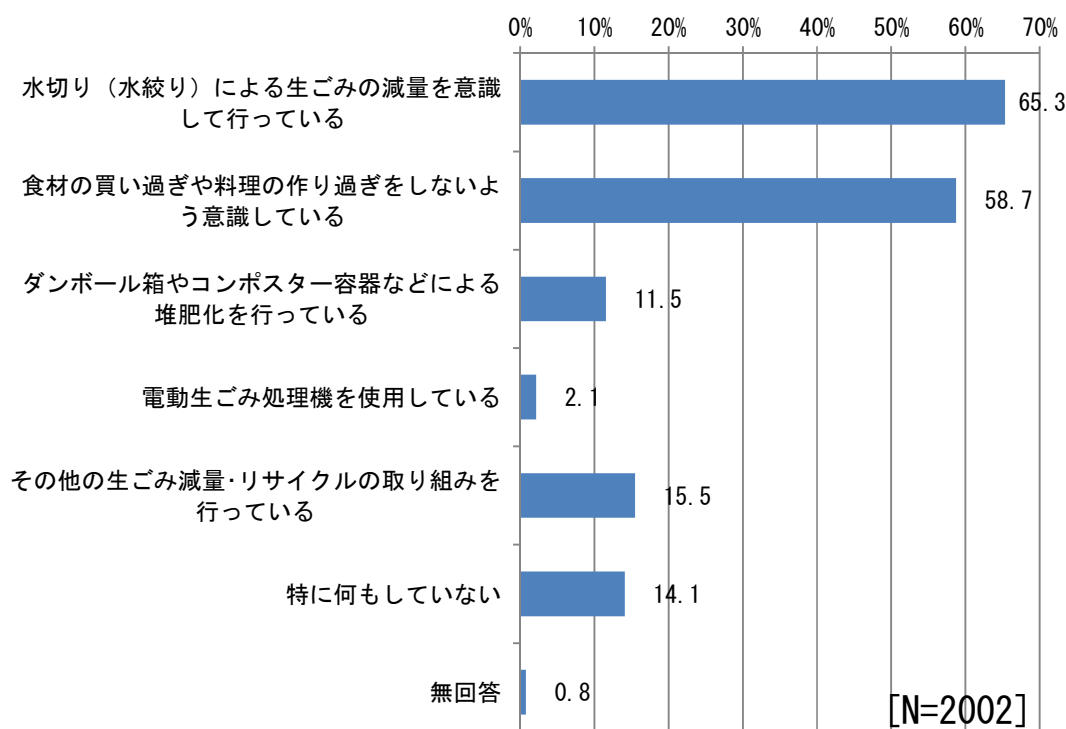


(7) 低炭素社会の推進と循環型社会の構築

・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問28】 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(65.3%)が最も高く、約7割となっている。



【対象者全体】

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が 65.3%と最も高く、次いで「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が 58.7%となっている。

【性別】

男性は「特に何もしていない」が 18.9%と女性の 10.7%と比較し高い。女性は「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が 64.4%と男性の 51.2%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代では「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が最も高く、40 歳代では 57.6%となっている。50 歳以上は「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高く、65～69 歳では 78.8%、70 歳以上では 78.3%と他の年代と比較し高い。20 歳代では「特に何もしていない」が 27.5%、65～69 歳では「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」が 26.8%とそれぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高く、厚別区では 69.6%となっている。南区では「ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている」が 19.5%、厚別区では「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」が 21.7%とそれぞれ他の居住区と比較し高い。

問28 生ごみ減量・リサイクルの取り組み

(単位：%)

		回答者数	水切り（水絞り）を意欲して行っている生ごみ減量	食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している	ダンボール箱やコンポストなどによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答	計
全体		2,002	65.3	58.7	11.5	2.1	15.5	14.1	0.8	168.1
性別	男性	793	58.6	51.2	11.9	2.0	13.7	18.9	1.6	158.0
	女性	1,180	69.8	64.4	11.2	2.3	16.6	10.7	0.2	175.2
	無回答	29	65.5	34.5	17.2	－	17.2	20.7	3.4	158.6
年代別	20～29歳	149	40.3	47.7	7.4	0.7	6.7	27.5	－	130.2
	30～39歳	268	48.5	56.3	6.7	3.0	8.6	20.5	－	143.7
	40～49歳	335	57.0	57.6	8.7	1.5	9.3	17.6	0.3	151.9
	50～59歳	332	66.9	59.3	9.3	3.0	12.7	16.0	0.3	167.5
	60～64歳	217	72.8	61.8	7.8	1.4	18.4	11.1	1.4	174.7
	65～69歳	231	78.8	61.5	19.0	1.7	26.8	8.7	0.9	197.4
	70歳以上	446	78.3	62.8	17.5	2.7	22.0	5.8	1.8	190.8
	無回答	24	66.7	33.3	12.5	－	16.7	16.7	4.2	150.0
居住区別	中央区	229	66.4	64.6	11.4	3.1	10.5	12.2	0.4	168.6
	北区	300	61.3	53.7	10.7	1.3	16.0	19.0	0.3	162.3
	東区	254	65.0	56.7	11.0	2.4	16.5	15.4	0.4	167.3
	白石区	172	65.7	57.0	9.9	2.9	16.9	14.5	1.2	168.0
	厚別区	138	69.6	60.1	13.8	2.2	21.7	8.7	－	176.1
	豊平区	229	63.3	57.2	7.0	2.6	14.0	14.4	2.2	160.7
	清田区	117	63.2	60.7	12.0	－	8.5	17.9	0.9	163.2
	南区	164	69.5	58.5	19.5	1.8	17.7	11.6	－	178.7
	西区	226	66.8	63.7	9.7	3.5	16.8	11.5	1.3	173.5
	手稲区	148	66.2	61.5	14.2	0.7	16.2	12.2	0.7	171.6
	無回答	25	64.0	36.0	16.0	－	16.0	16.0	4.0	152.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

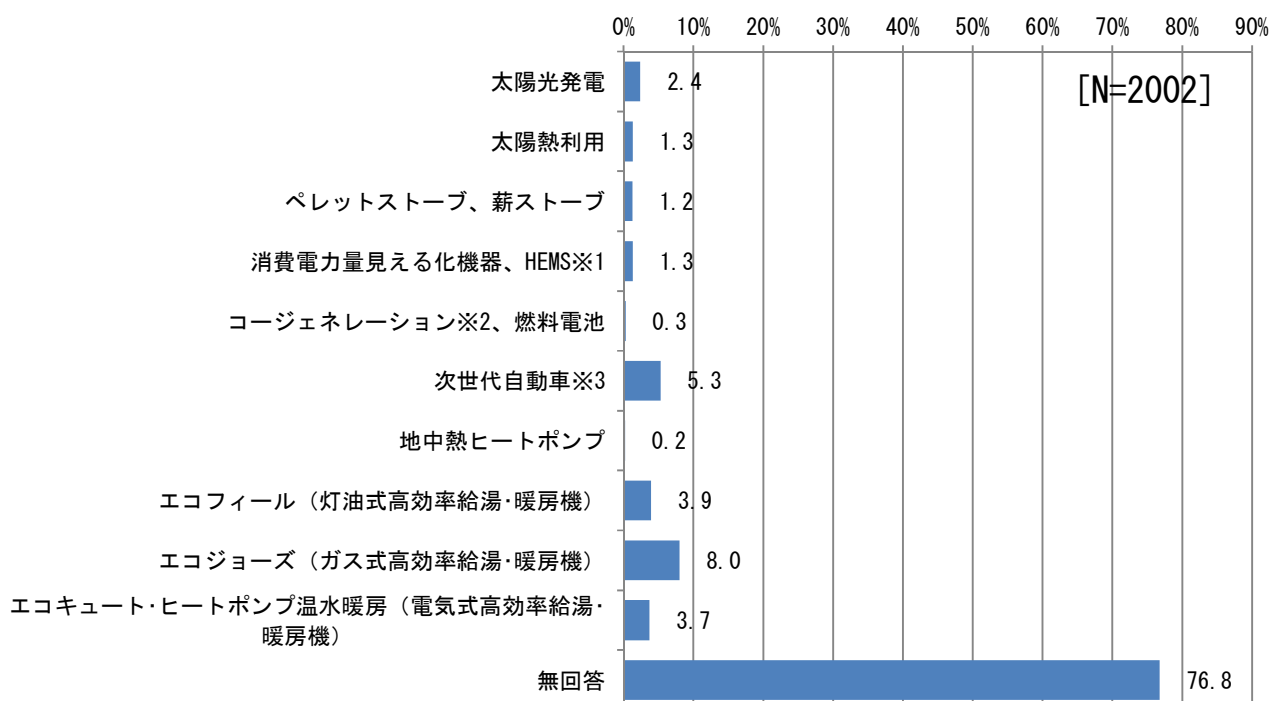
対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 環境配慮活動について

【問29】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

- (1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器などの導入状況については、「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」(8.0%)が最も高く、約1割となっている。



※¹HEMS : Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※²コージェネレーション : 発電時の排熱を給湯・暖房に活用するシステム。具体的にはエネファーム、コレモなどがあります。

※³次世代自動車 : 具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車などがあります。

【対象者全体】

再生可能エネルギー機器などの導入状況については、「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が8.0%と最も高く、次いで「次世代自動車」が5.3%、「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が3.9%となっている。

【性別】

男性は「次世代自動車」が6.7%と女性の4.5%と比較し高い。女性は「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が9.0%と男性の6.4%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代、50 歳代では「次世代自動車」、30 歳代、40 歳代、60 歳代では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」、70 歳以上では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が最も高い。

【居住区別】

東区、手稲区を除く全ての居住区で「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高く、特に中央区、厚別区は 10.9%となっている。東区では「次世代自動車」が 4.3%、手稲区では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が 7.4%となっている。

問29-1 環境配慮活動について

(単位：%)

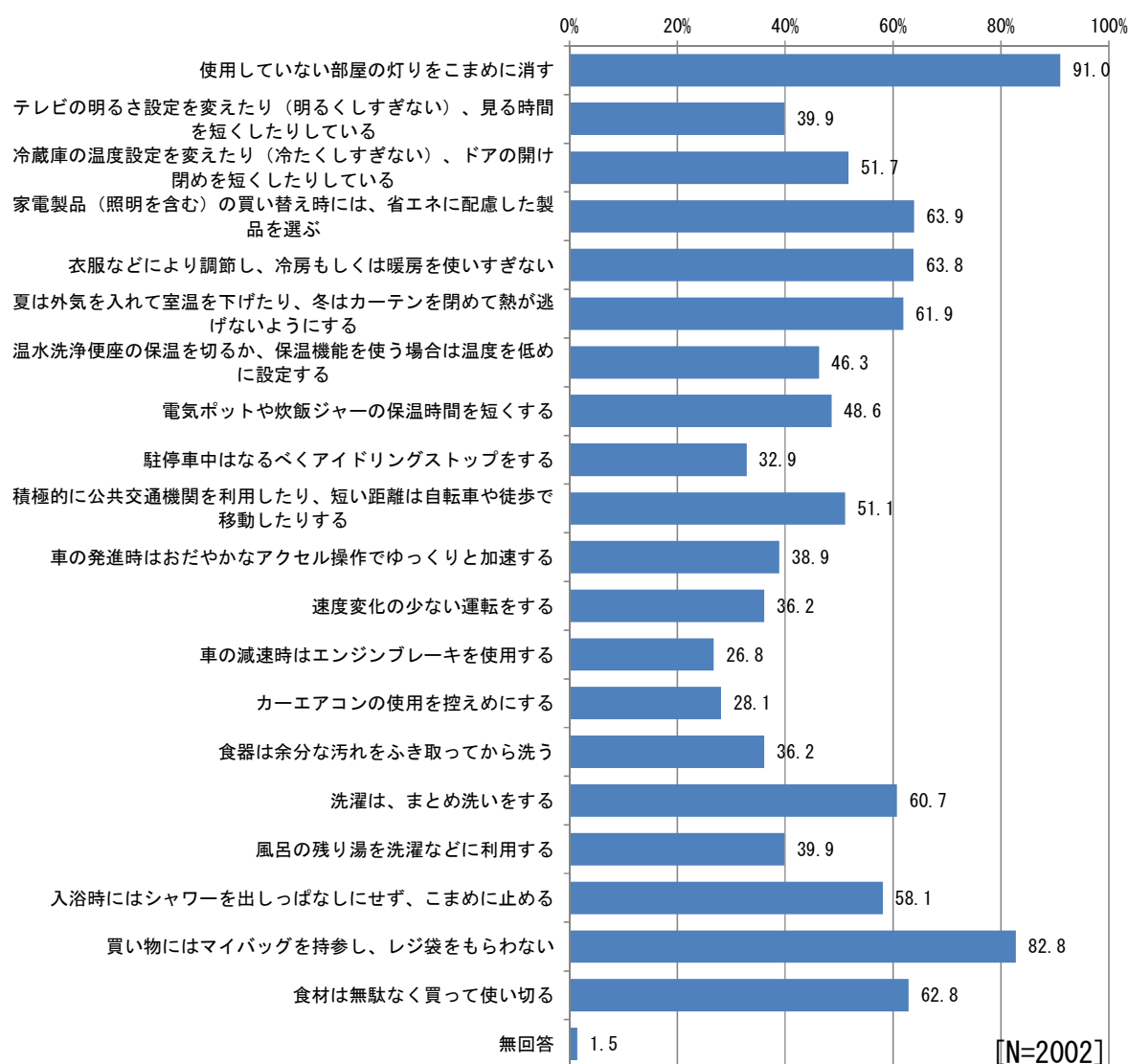
		回答者数	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、薪ストーブ	消費電力 ※1 見える化機器	料電池 コージェネレーション※2、燃料電池	次世代自動車※3	地中熱ヒートポンプ	エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)	エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)	エコキュート・ヒートポンプ給湯・暖房機	無回答	計
全体		2,002	2.4	1.3	1.2	1.3	0.3	5.3	0.2	3.9	8.0	3.7	76.8	104.4
性別	男性	793	3.2	1.3	1.0	2.0	0.4	6.7	0.3	5.3	6.4	2.8	75.0	104.3
	女性	1,180	1.9	1.4	1.4	0.8	0.3	4.5	0.2	3.1	9.0	4.3	77.8	104.7
	無回答	29	-	-	-	-	-	-	-	3.4	10.3	3.4	82.8	100.0
年代別	20～29歳	149	3.4	2.0	0.7	1.3	0.7	5.4	0.7	2.0	4.7	3.4	80.5	104.7
	30～39歳	268	2.6	-	0.7	0.7	0.4	5.2	-	1.1	10.8	5.2	78.0	104.9
	40～49歳	335	2.4	0.9	0.9	0.3	-	5.4	-	1.2	10.1	3.9	78.2	103.3
	50～59歳	332	2.4	0.9	0.3	1.5	-	8.1	0.6	1.2	7.5	3.3	78.0	103.9
	60～64歳	217	1.4	0.9	2.8	0.5	0.9	6.0	-	1.8	8.8	4.1	77.4	104.6
	65～69歳	231	3.0	3.0	3.5	3.0	-	5.2	-	4.8	7.8	3.0	73.2	106.5
	70歳以上	446	2.0	1.8	0.9	1.8	0.4	3.1	0.2	11.0	5.2	3.1	74.7	104.3
	無回答	24	4.2	-	-	-	-	-	-	4.2	20.8	4.2	70.8	104.2
居住区別	中央区	229	3.1	0.4	1.3	0.9	-	6.1	-	3.1	10.9	4.4	74.2	104.4
	北区	300	3.0	1.0	0.7	1.7	0.7	4.3	0.3	4.3	7.7	5.7	75.3	104.7
	東区	254	2.8	1.6	1.2	-	-	4.3	0.4	3.5	3.9	3.1	84.3	105.1
	白石区	172	3.5	2.3	0.6	1.7	-	7.0	0.6	1.7	8.1	5.8	73.3	104.7
	厚別区	138	2.2	2.9	2.9	1.4	1.4	4.3	-	2.9	10.9	2.9	74.6	106.5
	豊平区	229	1.7	1.7	0.9	2.2	-	7.9	-	3.1	8.3	2.2	76.0	103.9
	清田区	117	1.7	0.9	-	0.9	0.9	9.4	-	5.1	10.3	5.1	70.9	105.1
	南区	164	0.6	0.6	2.4	1.8	-	4.9	-	2.4	6.7	1.8	80.5	101.8
	西区	226	2.2	0.9	1.3	1.8	0.4	1.8	-	6.2	8.8	2.7	77.9	104.0
	手稲区	148	2.7	1.4	2.0	0.7	-	6.1	-	7.4	5.4	2.7	77.0	105.4
	無回答	25	-	-	-	-	-	-	4.0	4.0	12.0	4.0	76.0	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

- (2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(91.0%)が最も高く、9割を超えている。



【対象者全体】

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 91.0%と最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 82.8%、「家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ」が 63.9%となっている。

【性別】

男性は「速度変化の少ない運転をする」が 48.2%と女性の 28.2%と比較が高い。女性は「電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする」が 58.5%と男性の 34.0%と比較が高い。

【年代別】

全年代で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、9割程度となっている。60～64歳では「駐停車中はなるべくアイドリングストップをする」が 44.7%、70歳以上では「食器は余分な汚れをふき取ってから洗う」が 46.6%とそれぞれ他の年代と比較が高い。

【居住区別】

全居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、9割程度となっている。南区では「駐停車中はなるべくアイドリングストップをする」が43.3%、「車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する」が50.0%、「速度変化の少ない運転をする」が49.4%と他の居住区と比較し高い。

問29-2 エコライフの取り組み

		回答者数	まめに消す	間を短くしたりしている	テレビの明るさ設定を変えた時	開け閉めを短くしたりしている	冷蔵庫の温度設定を変えた時	（冷たくしすぎない）、ドアの	製品を選ぶ	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した	衣服などにより調節し、冷房も	しは暖房を使いすぎない	逃げないようにする	夏は外気を入れて室温を下げる、冬はカーテンを閉めて下	め設定する	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	グストップやアイドリング	駐停車中はなるべくアイドリン	で移動したりする	積極的に公共交通工具を利用
全体		2,002	91.0	39.9	51.7	63.9	63.8	61.9	46.3	48.6	32.9	51.1									
性別	男性	793	87.8	36.2	42.0	63.6	63.8	61.8	39.6	58.5	26.3	52.5									
	女性	1,180	93.2	42.6	58.4	64.2	68.7	62.3	50.6	58.5	26.3	52.5									
	無回答	29	89.7	27.6	48.3	58.6	51.7	48.3	51.7	44.8	31.0	48.3									
年代別	20～29歳	149	83.2	25.5	31.5	28.9	56.4	59.1	24.2	32.9	15.4	52.3									
	30～39歳	268	87.7	33.6	46.6	53.0	57.5	54.9	42.9	51.1	28.4	40.3									
	40～49歳	335	91.6	37.6	54.9	64.8	64.5	58.2	47.2	54.9	33.7	49.6									
	50～59歳	332	91.9	39.8	52.4	72.3	66.0	59.3	48.8	51.2	35.5	43.4									
	60～64歳	217	92.6	39.6	48.8	73.3	68.2	62.7	45.6	50.7	44.7	52.1									
	65～69歳	231	91.8	45.9	56.7	71.0	68.0	68.4	47.2	46.8	39.0	58.4									
	70歳以上	446	93.3	48.2	57.8	67.3	64.1	67.9	52.0	45.7	29.4	59.9									
	無回答	24	91.7	20.8	45.8	58.3	54.2	62.5	62.5	45.8	41.7	50.0									
居住区別	中央区	229	91.3	36.2	54.1	64.2	72.9	64.6	45.9	43.2	28.4	59.4									
	北区	300	93.0	41.7	50.0	64.7	60.0	60.0	47.7	46.0	30.3	52.7									
	東区	254	89.8	39.0	49.2	63.4	65.0	60.2	44.1	53.1	27.6	49.2									
	白石区	172	90.1	40.7	52.9	57.6	57.0	63.4	44.2	48.3	33.1	45.3									
	厚別区	138	90.6	44.9	55.1	67.4	64.5	65.2	48.6	40.6	31.9	57.2									
	豊平区	229	91.7	37.1	50.7	62.4	62.9	58.5	46.3	49.8	29.7	52.8									
	清田区	117	89.7	33.3	50.4	59.8	53.8	46.2	39.3	47.9	38.5	36.8									
	南区	164	89.6	42.7	55.5	67.1	63.4	68.3	50.6	53.7	43.3	45.1									
	西区	226	90.7	43.4	51.3	63.7	67.7	68.6	44.2	50.0	35.8	55.3									
	手稲区	148	92.6	41.2	52.0	69.6	68.9	60.8	49.3	54.1	39.2	48.0									
	無回答	25	88.0	24.0	44.0	60.0	48.0	56.0	60.0	44.0	32.0	52.0									

		ル車操	速度変化の少ない運転をする	車を減速する	エンジンブレーキ	カーエアコンの使用を控える	食器は余分な汚れをふき取って	洗濯は、まとめ洗いを	風呂の残り湯を洗濯などに利用	入浴時にはシャワーを止める	買い物にはマイバッグを持参	食材は無駄なく買って使い切る	無回答	計
全体		38.9	36.2	26.8	28.1	36.2	60.7	39.9	58.1	82.8	62.8	1.5	1022.9	
性別	男性	50.1	48.2	37.7	34.9	29.5	54.7	38.3	54.0	75.7	55.6	2.0	994.3	
	女性	31.2	28.2	19.7	23.6	40.7	64.9	41.2	60.8	87.3	67.8	1.2	1043.8	
	無回答	48.3	31.0	17.2	27.6	34.5	55.2	27.6	62.1	93.1	58.6	-	955.2	
年代別	20～29歳	28.2	29.5	20.1	18.8	22.1	60.4	26.2	41.6	66.4	47.7	0.7	771.1	
	30～39歳	37.7	36.2	24.3	26.1	24.6	57.8	34.3	47.4	76.5	58.6	1.1	920.5	
	40～49歳	42.1	39.7	27.5	28.4	33.7	53.4	39.4	51.3	80.6	63.0	0.3	1016.4	
	50～59歳	44.6	40.1	32.2	31.3	35.5	59.6	45.2	59.6	84.6	59.0	1.5	1053.9	
	60～64歳	45.6	40.1	33.6	34.1	35.9	57.6	41.9	65.0	89.9	67.3	0.5	1089.9	
	65～69歳	36.4	37.7	26.4	31.2	42.4	62.8	39.4	64.1	86.1	67.1	2.6	1089.2	
	70歳以上	34.3	30.5	23.1	25.3	46.6	69.5	43.5	66.8	86.3	68.8	2.9	1083.4	
	無回答	45.8	29.2	20.8	29.2	41.7	58.3	37.5	70.8	95.8	62.5	-	1025.0	
居住区別	中央区	33.2	28.8	24.5	21.4	39.3	62.0	32.8	55.0	78.2	66.4	1.7	1003.5	
	北区	39.3	37.7	30.7	27.0	37.3	63.0	38.0	58.0	80.3	61.3	1.3	1020.0	
	東区	33.9	33.9	20.9	26.8	34.6	63.4	42.5	59.8	82.3	57.9	1.2	997.6	
	白石区	32.6	30.8	21.5	20.3	32.6	61.0	39.0	55.2	85.5	65.7	2.9	979.7	
	厚別区	43.5	38.4	30.4	31.2	34.8	63.8	49.3	63.0	82.6	61.6	2.9	1067.4	
	豊平区	37.6	32.3	24.9	30.1	35.4	55.0	37.6	57.2	85.2	63.3	-	1000.4	
	清田区	41.9	42.7	26.5	31.6	32.5	45.3	46.2	56.4	74.4	59.8	4.3	957.3	
	南区	50.0	49.4	36.0	32.9	37.2	60.4	36.0	61.6	85.4	64.6	1.2	1093.9	
	西区	39.8	36.3	26.5	31.0	37.2	63.3	41.2	58.4	85.8	60.6	0.9	1051.8	
	手稲区	44.6	40.5	30.4	34.5	38.5	64.2	43.9	55.4	86.5	69.6	0.7	1084.5	
	無回答	40.0	24.0	16.0	24.0	36.0	60.0	36.0	68.0	92.0	64.0	-	968.0	

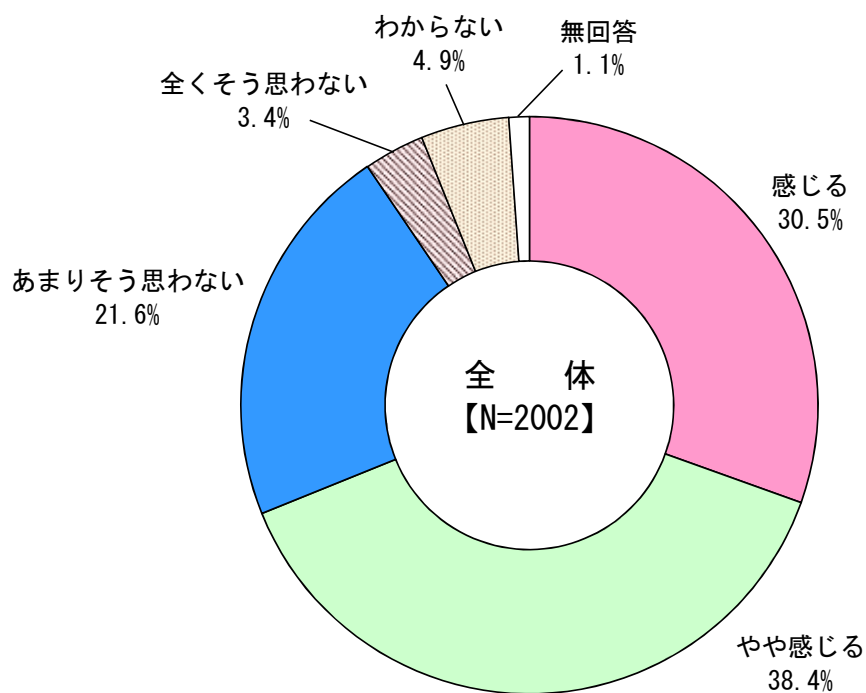
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(8) 多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり・札幌に息づく動植物の安全と共生
・ 花やみどりの現状について

【問30】 あなたは、自分が住んでいる地域（小学校の校区や連合町内会くらいの範囲）の花やみどりの現状について、親しみを感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

居住地の花やみどりへの親近感については、「感じる」(30.5%)と「やや感じる」(38.4%)を合わせた“感じる”(68.9%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

居住地の花やみどりへの親近感については、「やや感じる」が 38.4%と最も高く、次いで「感じる」が 30.5%、「あまりそう思わない」が 21.6%、「わからない」が 4.9%、「全くそう思わない」が 3.4%となっている。

【性別】

男女共に「やや感じる」が最も高く、男性が 41.2%、女性が 36.4%となっている。「感じる」は女性が 34.5%と男性の 24.8%と比較し高い。

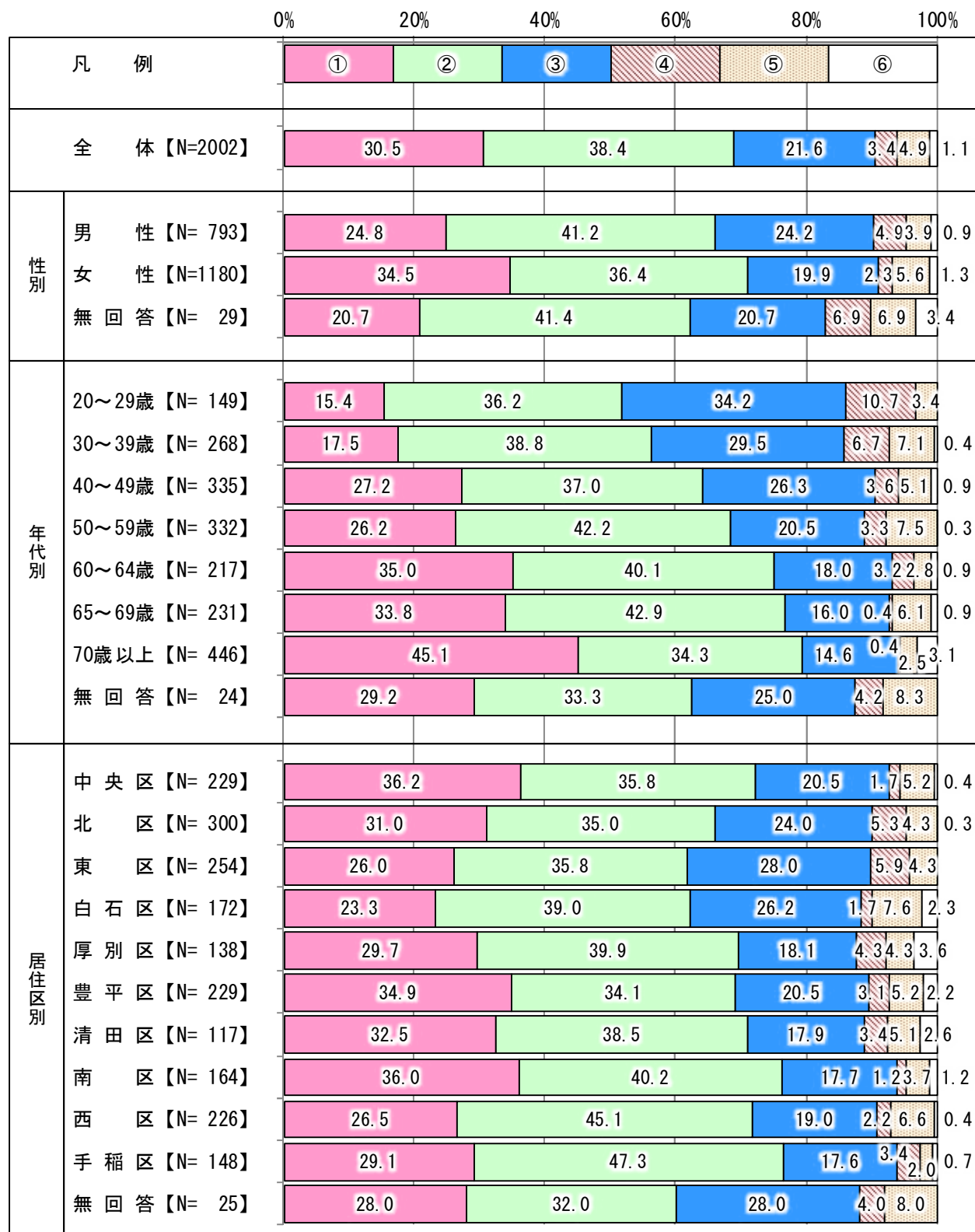
【年代別】

70歳以上を除く全ての年代で「やや感じる」が最も高く、65～69歳では42.9%となっている。70歳以上は「感じる」が 45.1%と最も高く、年代が上がるにつれ増加していく傾向となっている。

【居住区別】

中央区、豊平区を除く全ての居住区で「やや感じる」が最も高く、特に手稲区は 47.3%と他の居住区と比較し高い。中央区、豊平区では「感じる」が最も高く、3割を超えている。

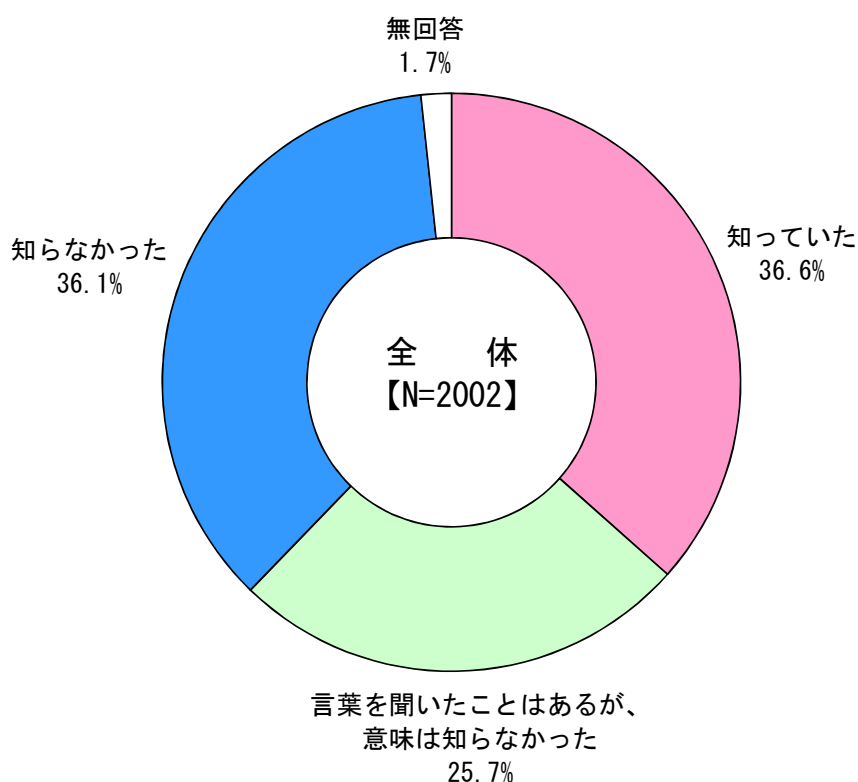
①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 「生物多様性」の認知度

【問31】 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいい、空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性により支えられています。あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「生物多様性」の認知度については、「知っていた」(36.6%)が全体の約4割を占めている。



【対象者全体】

「生物多様性」の認知度については、「知っていた」が 36.6%と最も高く、次いで「知らなかった」が 36.1%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が 25.7%となっている。

【性別】

男性は「知っていた」が 44.6%と最も高く、女性は「知らなかった」が 42.4%と最も高い。

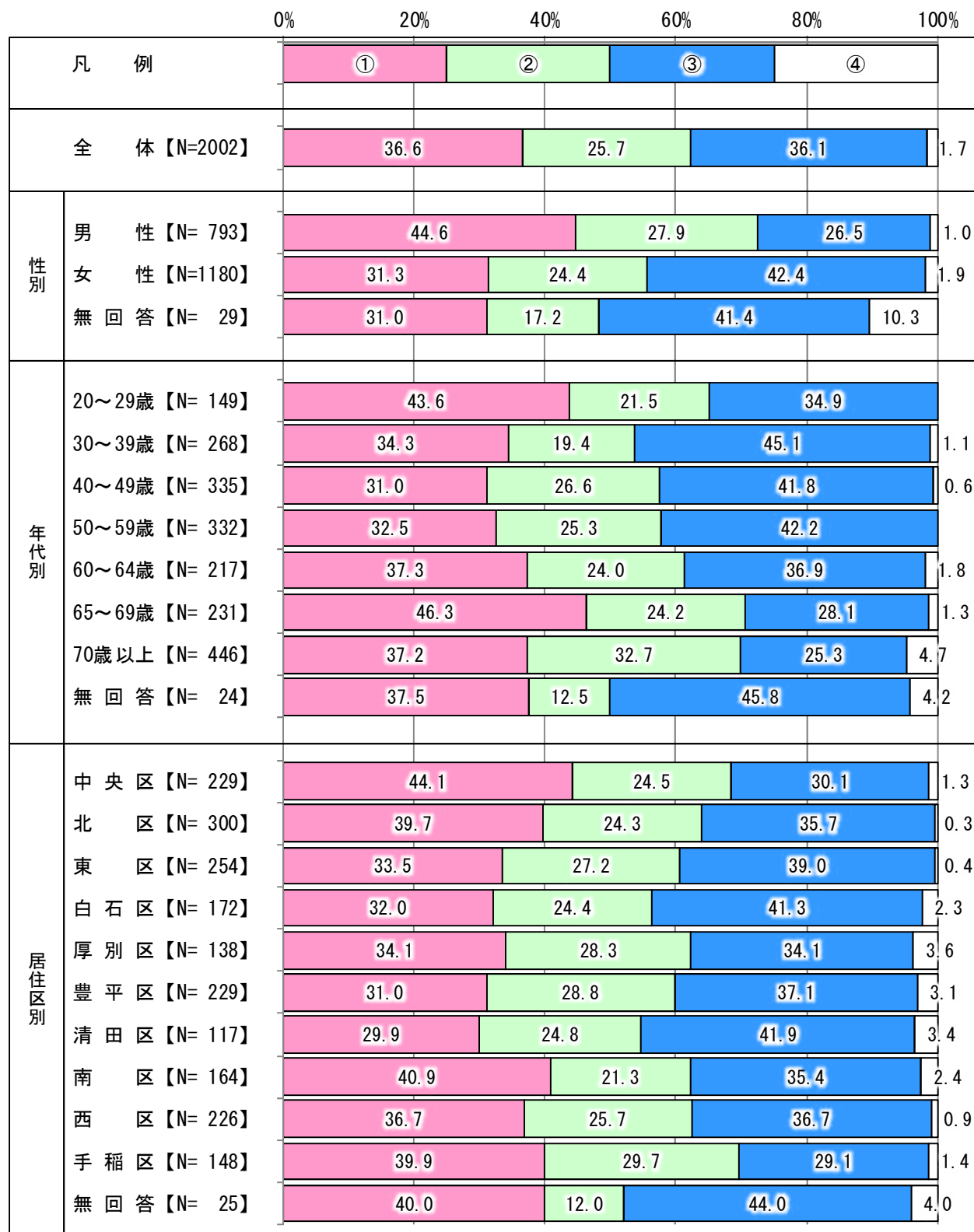
【年代別】

20 歳代、60 歳代、70 歳以上では「知っていた」が最も高く、特に 65～69 歳では 46.3%となっている。30 歳代、40 歳代、50 歳代では「知らなかった」が最も高く、30 歳代では 45.1%となっている。

【居住区別】

中央区、北区、厚別区、南区、西区、手稲区では「知っていた」が最も高く、特に中央区では 44.1%となっている。東区、白石区、豊平区、清田区では「知らなかった」が最も高く、特に清田区では 41.9%となっている。

①知っていた ②言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった ③知らなかった ④無回答



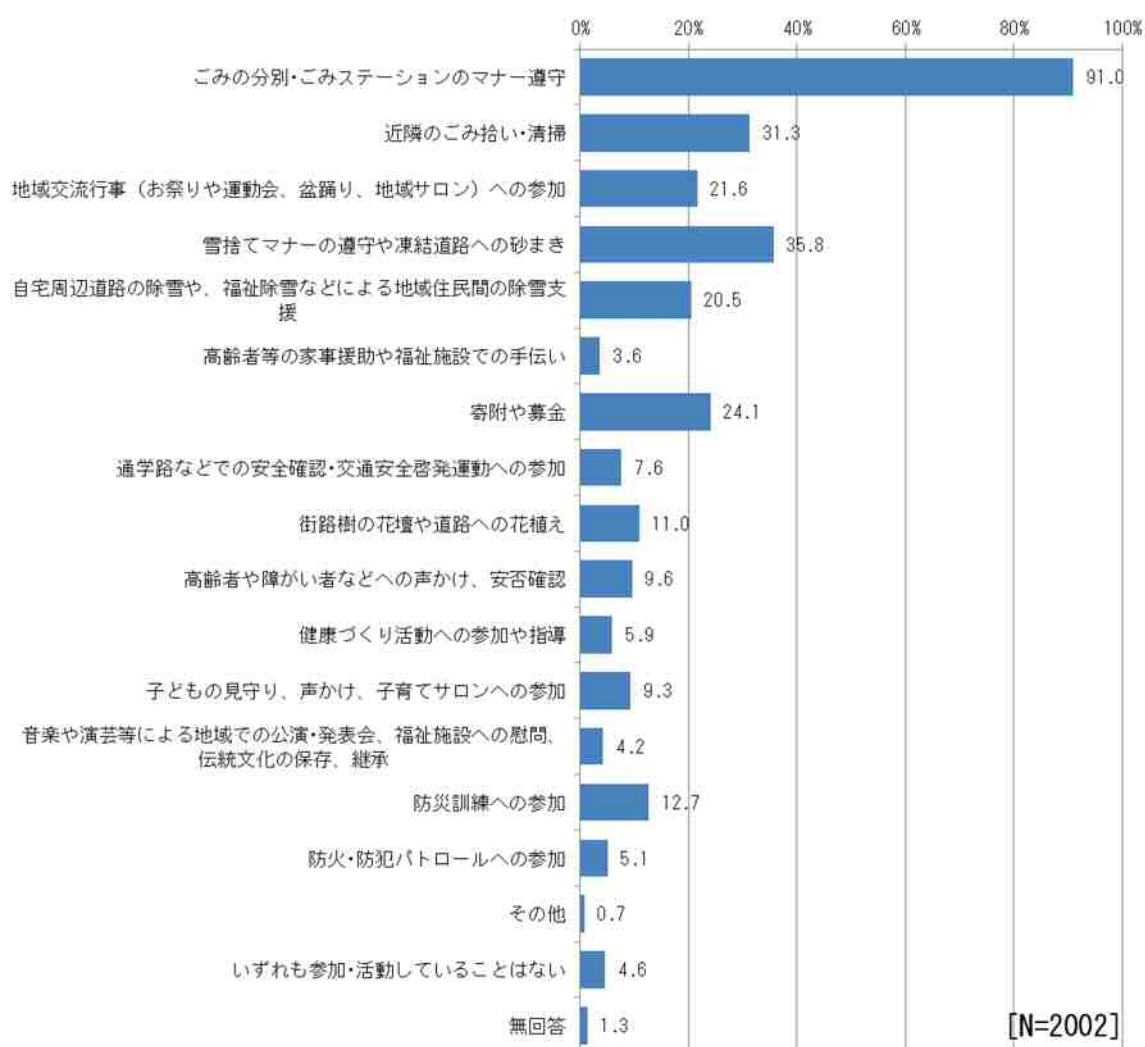
(9) 市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり

・ 「まちづくり活動」について

【問32】 次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※まちづくり活動ー地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、道路への花植え等の活動を行ったりすること。

「まちづくり活動」については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」(91.0%)が最も高く、9割を超えている。



【対象者全体】

「まちづくり活動」については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が 91.0%と最も高く、次いで「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 35.8%、「近隣のごみ拾い・清掃」が 31.3%となっている。

【性別】

男性は「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」が 24.8%と女性の 17.6%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、60～64 歳では 95.9%となっている。70 歳以上では「近隣のごみ拾い・清掃」が 49.1%、65～69 歳では「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 45.9%とそれぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、9割程度となっている。「近隣のごみ拾い・清掃」では清田区が45.3%と他の居住区と比較し高く、一方、中央区は16.2%と低い。厚別区では「街路樹の花壇や道路への花植え」が21.0%、手稲区では「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」が34.5%とそれぞれ他の居住区と比較し高い。

問32 「まちづくり活動」について

		回答者数	ごみの分別・ごみステーション	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援	高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹の花壇や道路への花植え
全体		2,002	91.0	31.3	21.6	35.8	20.5	3.6	24.1	7.6	11.0
性別	男性	793	89.9	31.7	21.8	40.0	24.8	3.7	22.2	7.8	14.4
	女性	1,180	91.9	30.8	21.2	33.5	17.6	3.6	25.3	7.5	8.6
	無回答	29	79.3	41.4	31.0	13.8	17.2	3.4	27.6	6.9	13.8
年代別	20～29歳	149	78.5	7.4	7.4	24.8	12.8	0.7	12.8	1.3	0.7
	30～39歳	268	87.3	9.0	20.1	22.8	9.0	2.2	10.4	8.2	2.6
	40～49歳	335	92.2	19.4	24.2	32.8	13.7	1.8	16.7	9.3	3.6
	50～59歳	332	94.9	34.9	16.3	38.0	19.0	2.1	23.2	6.0	7.5
	60～64歳	217	95.9	36.4	21.2	42.4	25.8	3.7	30.9	7.4	13.4
	65～69歳	231	93.9	45.5	26.0	45.9	29.0	7.4	36.8	9.1	20.3
	70歳以上	446	90.1	49.1	27.1	40.6	29.4	6.3	32.7	9.2	22.0
	無回答	24	79.2	33.3	20.8	12.5	16.7	-	16.7	-	4.2
居住区別	中央区	229	92.6	16.2	17.5	26.6	12.2	5.2	25.3	4.4	5.7
	北区	300	90.7	35.7	19.7	37.3	23.3	3.7	22.3	6.0	11.3
	東区	254	90.6	28.7	22.0	35.0	22.0	4.3	20.9	7.1	15.7
	白石区	172	87.2	28.5	19.8	27.9	18.6	1.2	15.1	7.6	8.7
	厚別区	138	94.2	37.7	27.5	40.6	18.1	2.2	29.7	2.9	21.0
	豊平区	229	90.0	26.2	18.3	31.4	17.5	3.1	23.1	8.3	9.2
	清田区	117	88.0	45.3	24.8	47.0	23.1	3.4	31.6	9.4	12.8
	南区	164	91.5	36.6	25.0	42.1	22.0	3.7	24.4	14.6	12.2
	西区	226	92.5	29.2	18.1	35.0	18.6	4.0	26.1	9.7	4.0
	手稲区	148	94.6	41.9	31.1	48.0	34.5	5.4	29.1	9.5	14.9
	無回答	25	76.0	32.0	24.0	16.0	12.0	-	20.0	-	8.0

		け、高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加や指導	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	音楽や演奏、演芸等による地域での公演・発表会、福祉施設への慰問・伝統文化の保存継承	防災訓練への参加	防火・防犯パトロールへの参加	その他	といずれも参加・活動している	無回答	計
全体		9.6	5.9	9.3	4.2	12.7	5.1	0.7	4.6	1.3	300.0
性別	男性	9.0	5.5	7.4	3.7	15.5	6.8	0.3	4.9	1.4	310.7
	女性	9.7	6.1	10.5	4.7	10.8	4.0	1.1	4.4	1.0	292.6
	無回答	20.7	6.9	13.8	-	13.8	3.4	-	3.4	13.8	310.3
年代別	20～29歳	2.0	0.7	5.4	1.3	2.7	0.7	-	14.1	1.3	174.5
	30～39歳	3.0	0.4	10.1	3.0	3.7	1.9	-	8.2	1.5	203.4
	40～49歳	4.5	2.4	11.0	2.1	7.2	2.4	1.2	4.5	1.2	250.1
	50～59歳	7.5	3.3	6.6	3.0	12.3	3.0	0.3	3.3	-	281.3
	60～64歳	10.1	6.5	5.5	4.1	14.3	6.9	1.4	0.9	1.4	328.1
	65～69歳	13.0	10.8	12.6	8.2	22.1	8.2	0.9	3.5	0.4	393.5
	70歳以上	19.3	13.0	11.2	6.7	20.4	9.9	1.1	2.7	2.2	393.0
	無回答	12.5	-	8.3	-	12.5	-	-	4.2	12.5	233.3
居住区別	中央区	9.2	4.8	7.9	4.4	14.0	2.6	0.9	5.2	0.4	255.0
	北区	10.3	3.3	7.3	4.3	10.7	2.7	0.7	4.7	1.0	295.0
	東区	9.4	7.5	8.3	4.7	10.6	5.5	1.2	5.9	1.2	300.8
	白石区	6.4	6.4	9.3	2.9	11.6	8.1	-	5.8	4.1	269.2
	厚別区	8.0	6.5	11.6	6.5	21.7	8.7	0.7	2.9	2.2	342.8
	豊平区	10.0	7.0	11.8	3.1	12.7	4.8	0.4	4.4	0.9	282.1
	清田区	6.8	5.1	6.8	6.8	13.7	6.8	-	6.0	1.7	339.3
	南区	12.2	4.3	11.6	4.9	13.4	6.1	1.2	4.3	0.6	330.5
	西区	10.2	6.2	9.7	3.5	11.5	4.9	-	3.1	0.9	287.2
	手稲区	11.5	10.1	10.8	3.4	12.2	5.4	2.7	2.7	-	367.6
	無回答	12.0	-	8.0	-	-	-	-	8.0	12.0	240.0

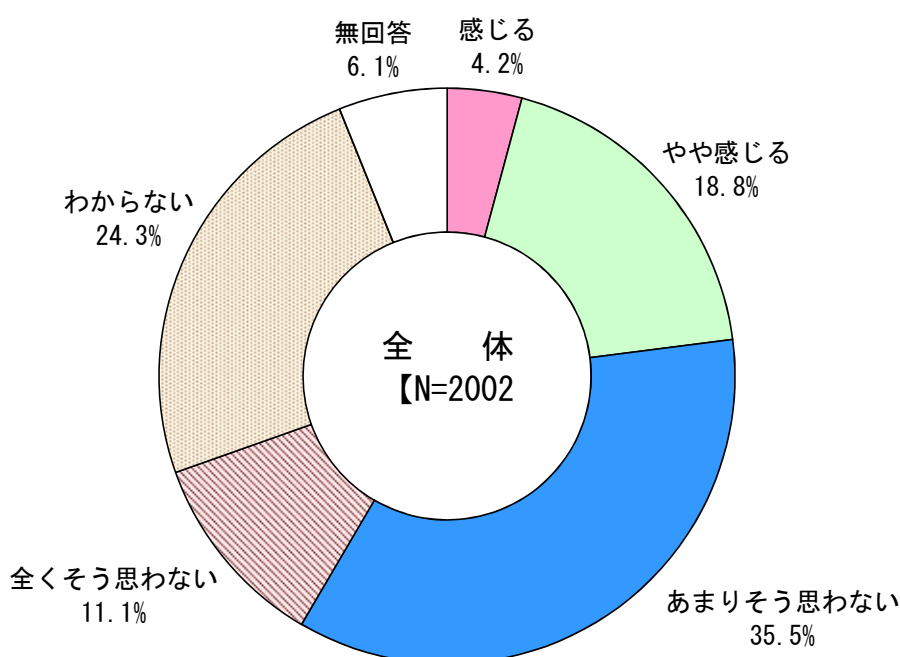
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 市政参加の機会

【問33】札幌市では、以下にあげるような参加の機会によって、できるだけ多くの市民の皆さまにご意見をいただきながら市の事業や施策（市政）を進めていくよう努めているところです。
あなたは、普段、こうした参加の機会が用意されていると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加機会が用意されているかどうかについては、「あまりそう思わない」(35.5%)と「全くそう思わない」(11.1%)を合わせた“そう思わない”(46.6%)が全体の約 5 割を占めている。



【対象者全体】

市政への参加機会が用意されているかどうかについては、「あまりそう思わない」が 35.5%と最も高く、次いで「わからない」が 24.3%、「やや感じる」が 18.8%、「全くそう思わない」が 11.1%、「感じる」が 4.2%となっている。

【性別】

男女共に「あまりそう思わない」が最も高く、男性が 38.6%、女性が 33.8%となっている。「わからない」は女性が 28.0%と男性の 18.5%と比較し高い。

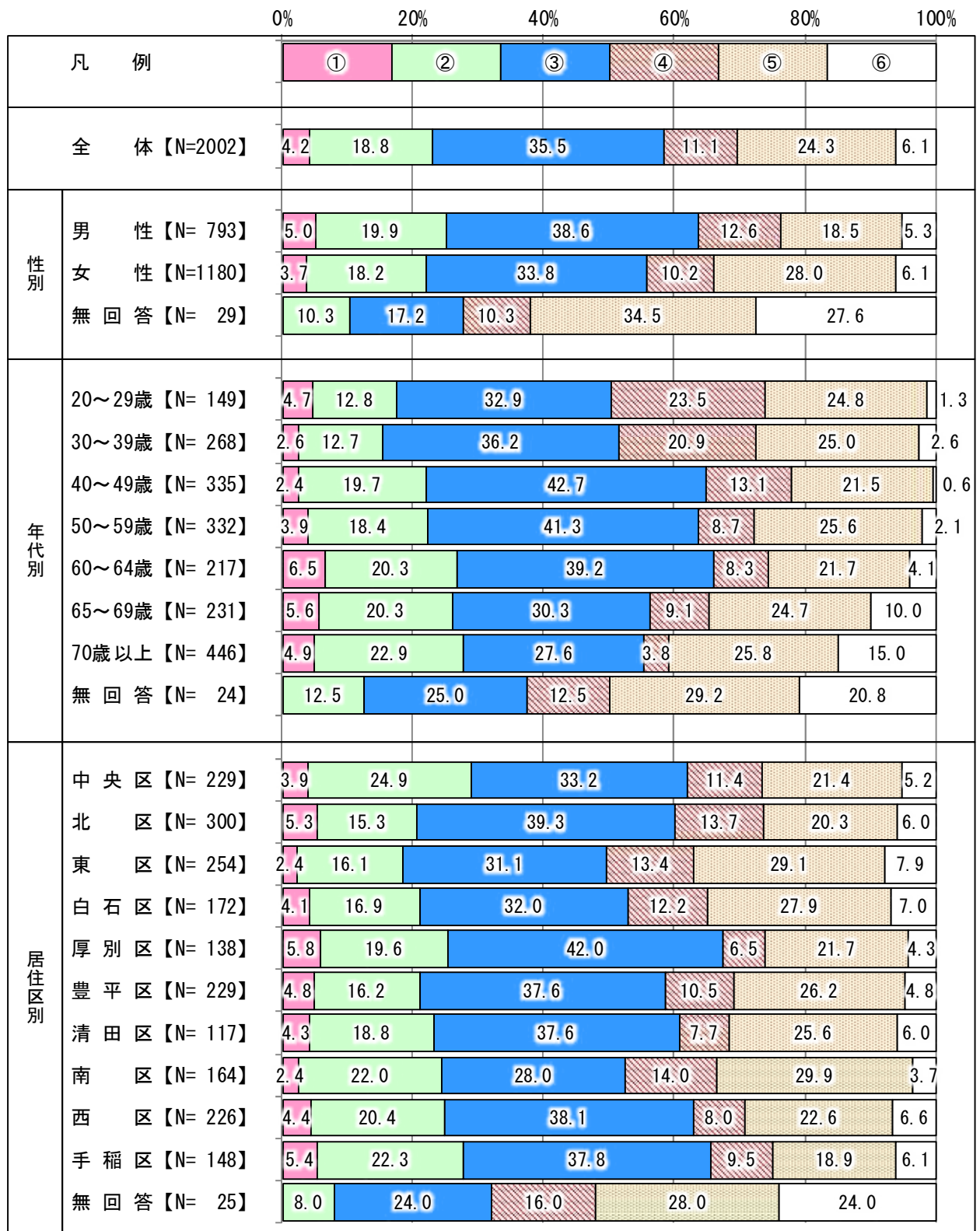
【年代別】

全年代で「あまりそう思わない」が最も高く、40 歳代、50 歳代では 4 割を超えている。「やや感じる」は 20 歳代が 12.8%、70 歳以上が 22.9%と年代が上がるにつれ増加していく傾向となっている。

【居住区別】

南区を除く全ての居住区で「あまりそう思わない」が最も高く、特に厚別区は 42.0%と他の居住区と比較し高い。南区では「わからない」が最も高く 29.9%となっている。「やや感じる」は中央区が 24.9%と他の居住区と比較し高い。

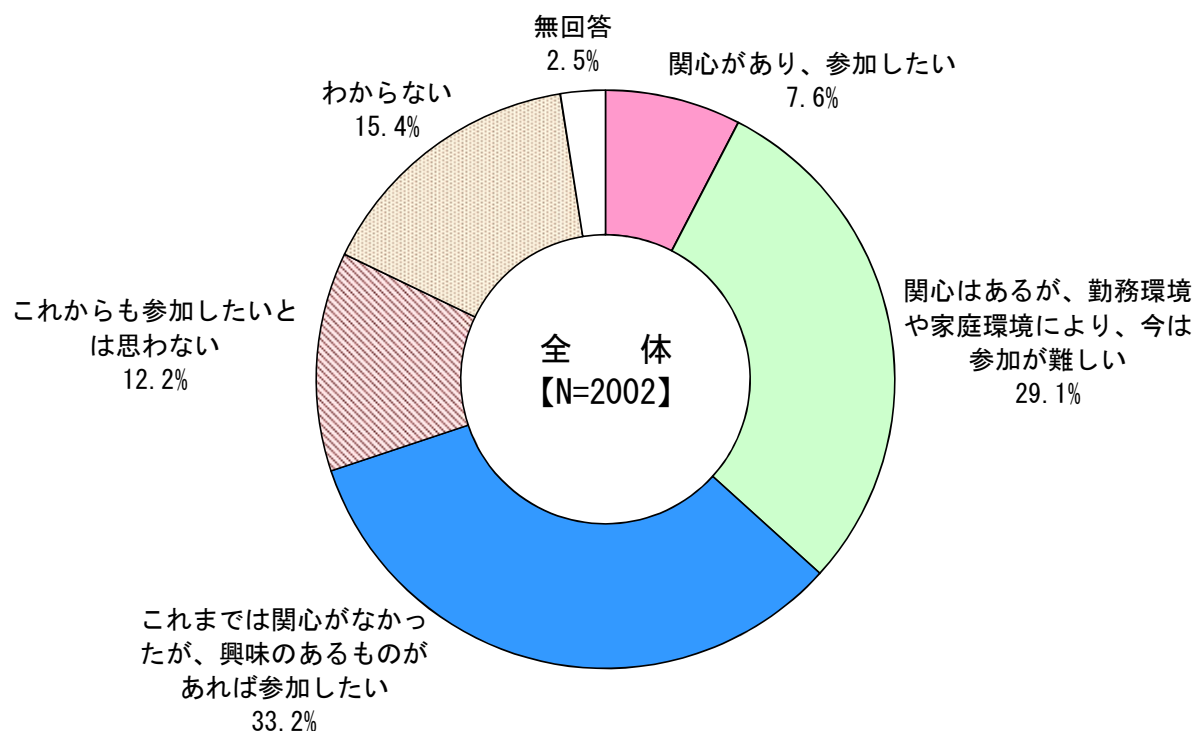
①感じる ②やや感じる ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 市政参加の意志

【問34】 あなたは、市政に参加したいと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

市政参加の意志については、「関心があり、参加したい」(7.6%)と「これまでは関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」(33.2%)を合わせた“参加したい”(40.8%)が全体の約 4 割を占めている。



【対象者全体】

市政参加の意志については、「これまでは関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 33.2%と最も高く、次いで「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 29.1%、「わからない」が 15.4%、「これから参加したいとは思わない」が 12.2%、「関心があり、参加したい」が 7.6%となっている。

【性別】

男女共に「これまでは関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高く、男性が 32.7%、女性が 33.5%となっている。「わからない」は女性が 18.7%と男性の 10.3%と比較し高い。

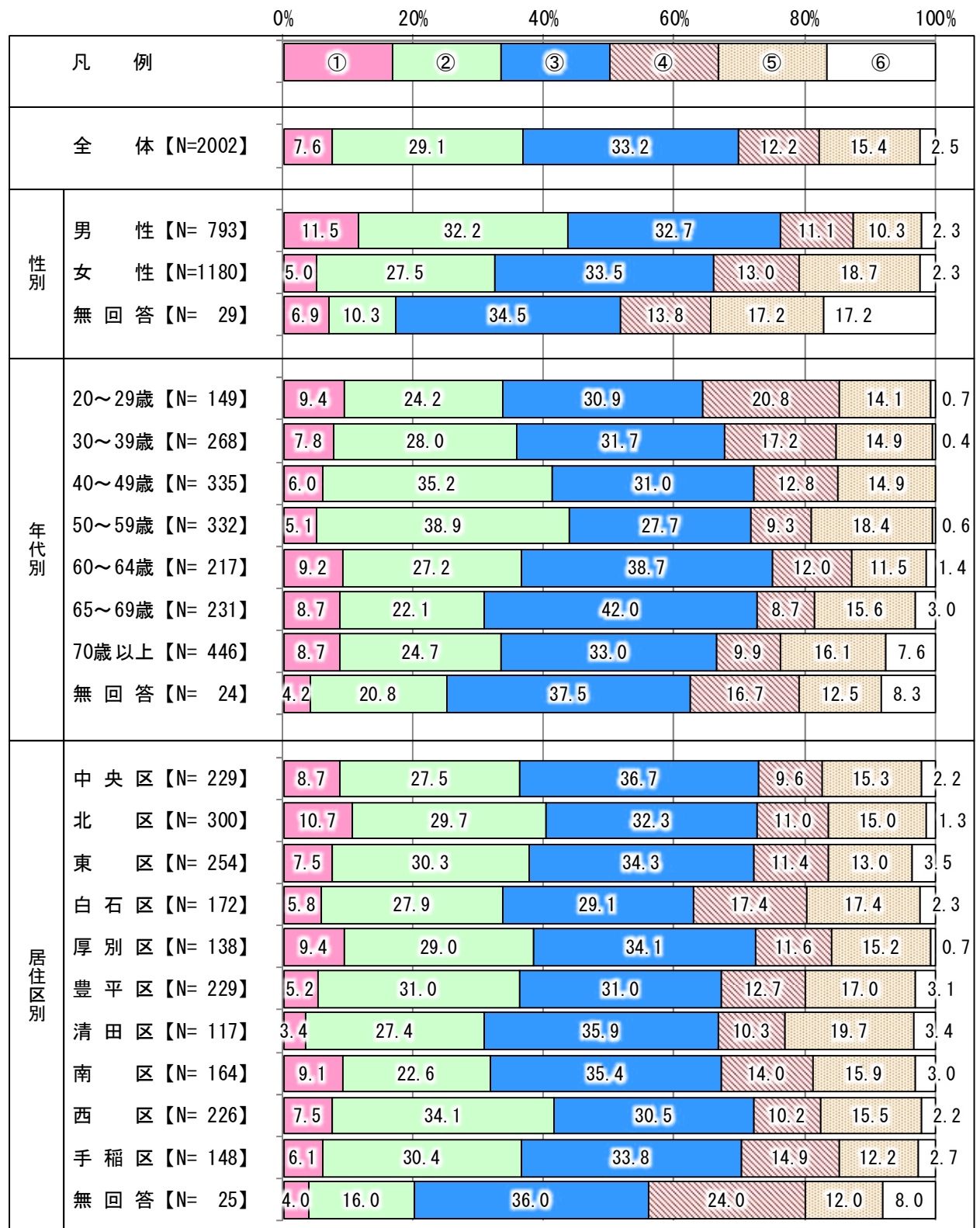
【年代別】

40 歳代、50 歳代を除く全ての年代で「これまでは関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高く、65～69 歳では 42.0%と他の年代と比較し高い。40 歳代、50 歳代は「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が最も高く、50 歳代では 38.9%となっている。「これから参加したいとは思わない」は 20 歳代が 20.8%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

豊平区、西区を除く全ての居住区で「これまでは関心はなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高く、3 割程度となっている。豊平区、西区では「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が最も高く、3 割程度となっている。「これから参加したいとは思わない」は白石区が 17.4%と他の居住区と比較し高い。

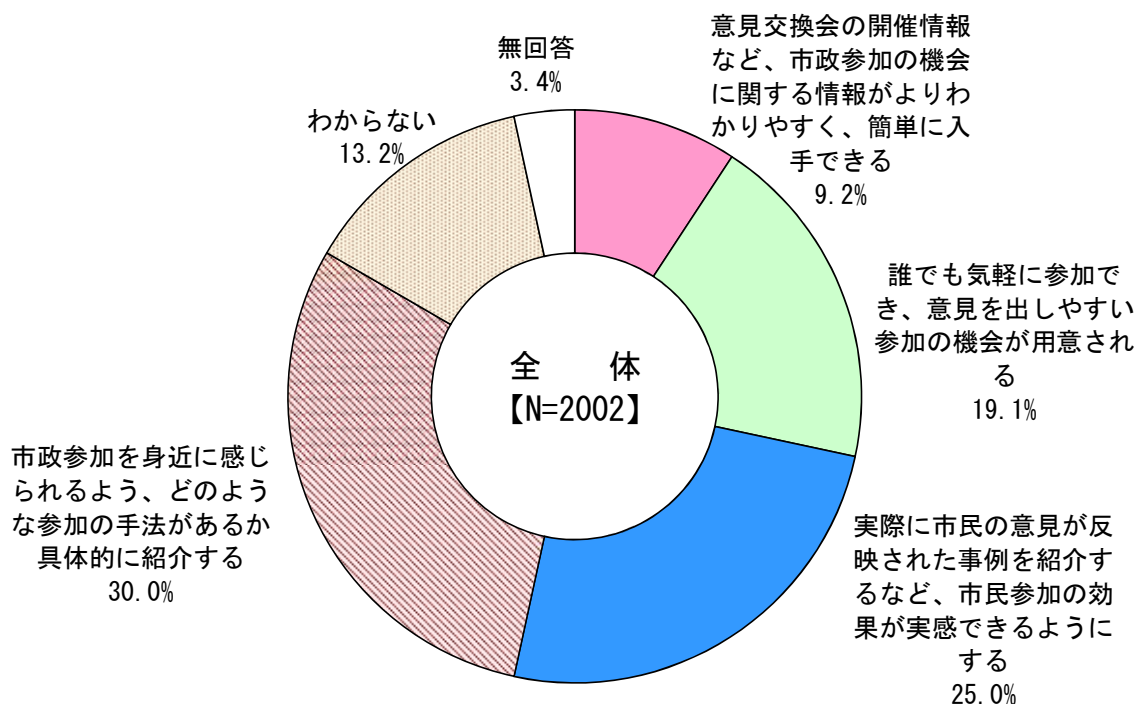
- ①関心があり、参加したい ②関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい
 ③これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい
 ④これからも参加したいとは思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 参加しやすくなるために必要なこと

【問35】 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

参加しやすくなるために必要なことについては、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」(30.0%)が全体の3割を占めている。



【対象者全体】

参加しやすくなるために必要なことについては、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が30.0%と最も高く、次いで「実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が25.0%、「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」が19.1%、「わからない」が13.2%、「意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる」が9.2%となっている。

【性別】

男女共に「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が最も高く、男性が28.4%、女性が30.9%となっている。「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」は男性が22.3%と女性の17.0%と比較が高い。

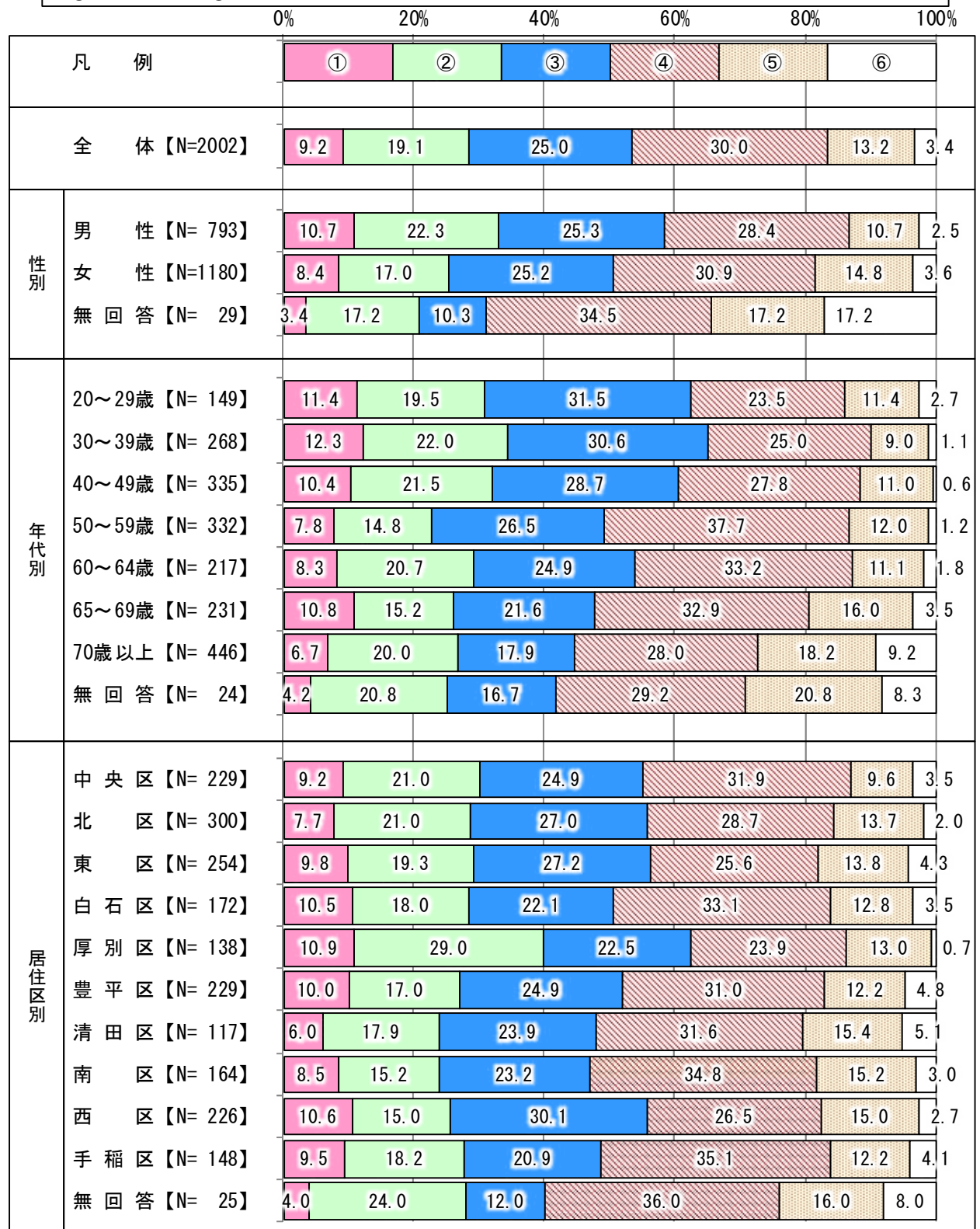
【年代別】

20歳代、30歳代、40歳代では「実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、3割程度となっている。50歳以上では「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が最も高く、特に50歳代では37.7%と他の年代と比較が高い。

【居住区別】

中央区、北区、白石区、豊平区、清田区、南区、手稲区では「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が最も高く、3割程度となっている。東区、西区では「実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、3割程度となっている。厚別区では「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」が最も高く29.0%となっている。

- ①意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる
 ②誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される
 ③実際に市民の意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする
 ④市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する
 ⑤わからない ⑥無回答



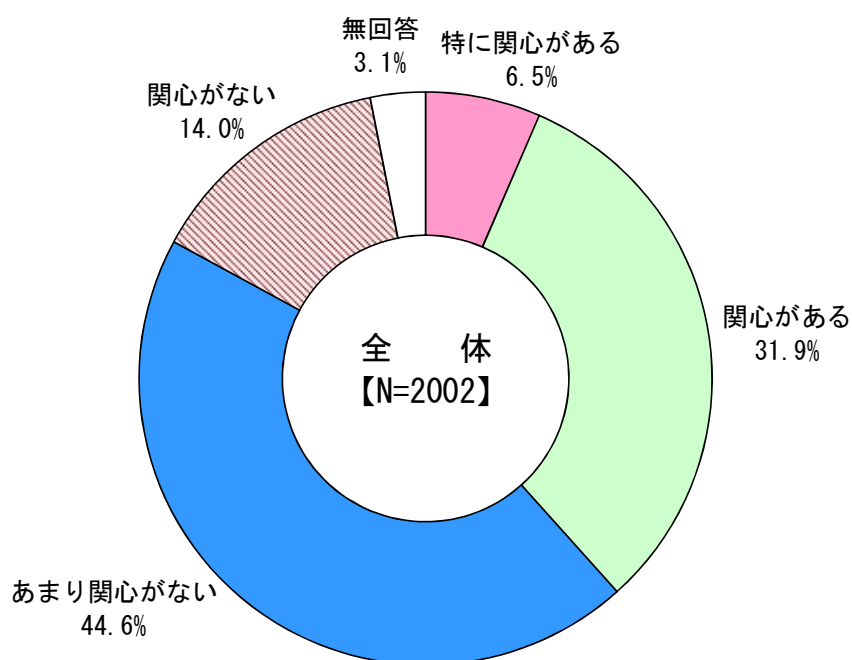
・ 海外諸都市や外国人の方との交流

【問36】 あなたは、姉妹・友好都市※¹をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流※²に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※¹札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※²「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、芸術文化（芸術作品の創作・鑑賞、各国を知るセミナー等）、スポーツ（青少年スポーツ交流等）、観光（外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等）、教育（語学、留学等）、経済（企業の進出・誘致、流通の拡大等）など様々な分野における交流を指します。

海外諸都市や外国人の方との交流については、「あまり関心がない」(44.6%)と「関心がない」(14.0%)を合わせた“関心がない”(58.6%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

海外諸都市や外国人の方との交流については、「あまり関心がない」が44.6%と最も高く、次いで「関心がある」が31.9%、「関心がない」が14.0%、「特に関心がある」が6.5%となっている。

【性別】

男女共に「あまり関心がない」が最も高く、男性が45.3%、女性が44.1%となっている。性別による大きな傾向の違いは見られない。

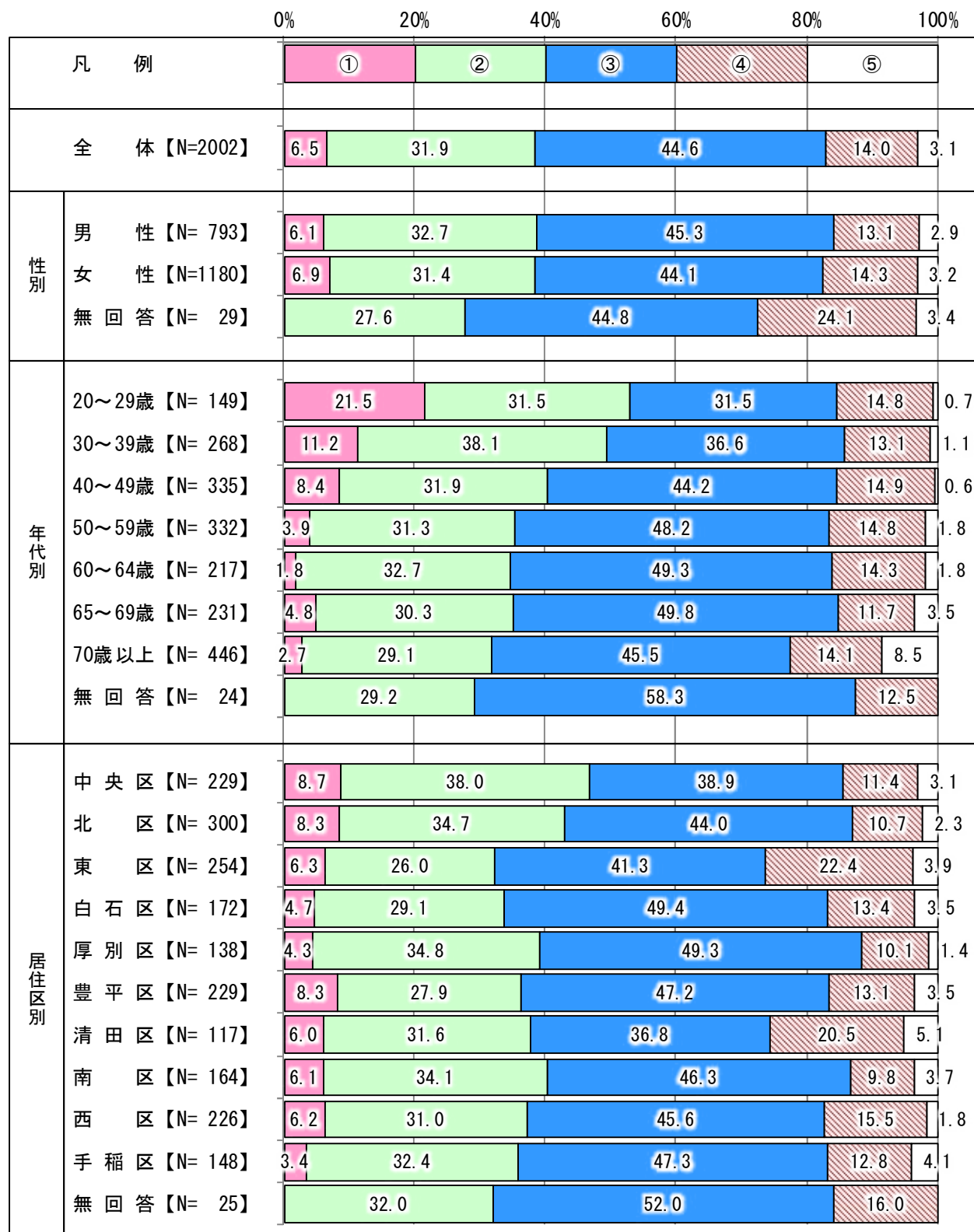
【年代別】

20歳代、30歳代では「関心がある」が最も高く、特に30歳代では38.1%と他の年代と比較し高い。40歳以上では「あまり関心がない」が最も高く、4割を超えている。「特に関心がある」は20歳代が21.5%と他の年代と比較し高く、年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「あまり関心がない」が最も高く、白石区では49.4%となっている。「関心がある」は中央区が38.0%と他の居住区と比較し高い。

①特に関心がある ②関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答

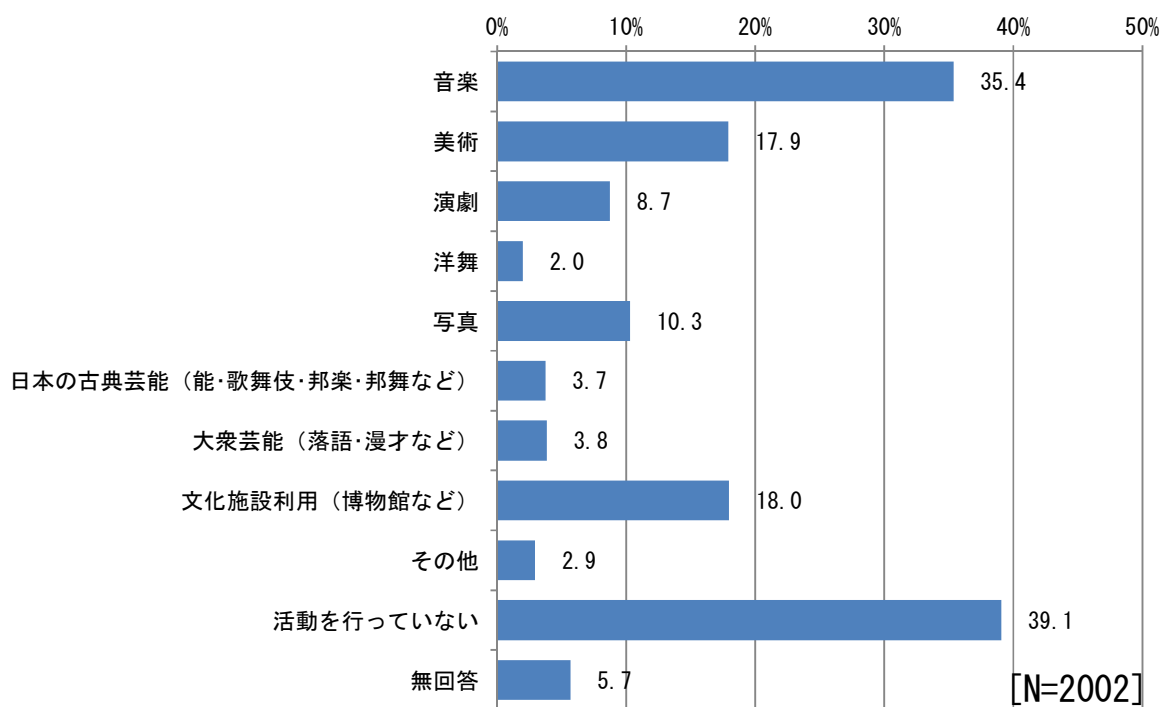


(10) 多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり

・ 文化芸術活動について

【問37】 あなたが、この 1 年間に、趣味などで行った文化芸術活動（実践及び鑑賞）は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

この 1 年間に行った文化芸術活動については、「音楽」(35.4%) が約 4 割となっている。



【対象者全体】

この 1 年間に行った文化芸術活動については、「活動を行っていない」が 39.1%と最も高く、次いで「音楽」が 35.4%、「文化施設利用(博物館など)」が 18.0%となっている。

【性別】

男性は「活動を行っていない」が 43.9%と女性の 35.9%と比較し高い。女性は「音楽」が 40.1%と男性の 29.0%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代では「音楽」が最も高く、特に 20 歳代では 43.6%と他の年代と比較し高い。50 歳以上では「活動を行っていない」が最も高く、60～64 歳では 44.7%となっている

【居住区別】

中央区、厚別区、清田区では「音楽」が最も高く、特に厚別区では 47.8%と他の居住区と比較し高い。北区、東区、白石区、豊平区、南区、西区、手稲区では「活動を行っていない」が最も高く、特に手稲区では 49.3%と他の居住区と比較し高い。中央区は「美術」が 31.4%と他の居住区と比較し高い。

問37 文化芸術活動について

(単位：%)

		回答者数	音楽	美術	演劇	洋舞	写真	邦楽・邦舞など 日本の古典芸能（能・歌舞伎・	大衆芸能（落語・漫才など）	文化施設利用（博物館など）	その他	活動を行っていない	無回答	計
全体		2,002	35.4	17.9	8.7	2.0	10.3	3.7	3.8	18.0	2.9	39.1	5.7	147.6
性別	男性	793	29.0	14.2	5.4	0.4	12.0	2.6	3.8	16.9	3.7	43.9	5.7	137.6
	女性	1,180	40.1	20.5	11.2	3.0	9.2	4.5	3.6	18.9	2.5	35.9	5.5	154.8
	無回答	29	17.2	13.8	-	6.9	10.3	3.4	13.8	10.3	3.4	34.5	13.8	127.6
年代別	20～29歳	149	43.6	16.8	12.1	-	14.8	-	2.7	13.4	1.3	38.3	2.7	145.6
	30～39歳	268	38.8	19.8	10.1	1.5	12.7	1.1	4.5	17.9	1.5	36.6	3.4	147.8
	40～49歳	335	40.9	16.4	12.2	2.4	9.6	3.0	3.3	20.6	2.4	39.7	2.1	152.5
	50～59歳	332	37.3	18.4	12.3	1.5	9.9	3.3	1.8	20.5	1.8	41.9	1.8	150.6
	60～64歳	217	30.4	16.1	6.0	0.5	7.4	3.7	2.8	22.6	1.4	44.7	5.5	141.0
	65～69歳	231	30.3	21.2	4.3	3.5	11.7	4.8	5.2	19.5	4.8	38.1	6.1	149.4
	70歳以上	446	30.7	17.3	5.6	2.9	9.0	7.0	5.2	13.0	5.4	36.3	13.0	145.3
	無回答	24	20.8	16.7	-	4.2	8.3	4.2	12.5	12.5	4.2	33.3	16.7	133.3
居住区別	中央区	229	45.0	31.4	14.4	0.9	10.9	5.7	4.4	26.2	3.5	31.0	3.5	176.9
	北区	300	34.0	17.7	7.3	3.0	10.7	2.0	4.0	20.3	4.3	36.7	6.3	146.3
	東区	254	30.7	13.4	7.9	1.2	10.6	4.7	2.4	12.2	1.6	45.3	7.9	137.8
	白石区	172	30.8	12.2	7.0	1.7	9.3	1.7	4.7	16.3	2.3	38.4	9.3	133.7
	厚別区	138	47.8	22.5	10.9	1.4	13.0	5.8	6.5	18.8	2.9	31.9	2.9	164.5
	豊平区	229	37.6	18.3	9.2	2.6	11.4	3.5	2.6	16.6	1.7	38.4	5.7	147.6
	清田区	117	37.6	13.7	6.0	3.4	7.7	5.1	3.4	12.8	5.1	36.8	7.7	139.3
	南区	164	35.4	19.5	9.8	2.4	9.1	2.4	2.4	22.0	2.4	41.5	3.0	150.0
	西区	226	32.7	14.6	8.8	2.2	9.7	4.0	5.8	15.9	3.1	41.6	4.4	142.9
	手稲区	148	27.0	14.2	6.1	0.7	9.5	3.4	1.4	17.6	2.7	49.3	4.1	135.8
	無回答	25	16.0	16.0	-	4.0	8.0	4.0	12.0	12.0	4.0	40.0	16.0	132.0

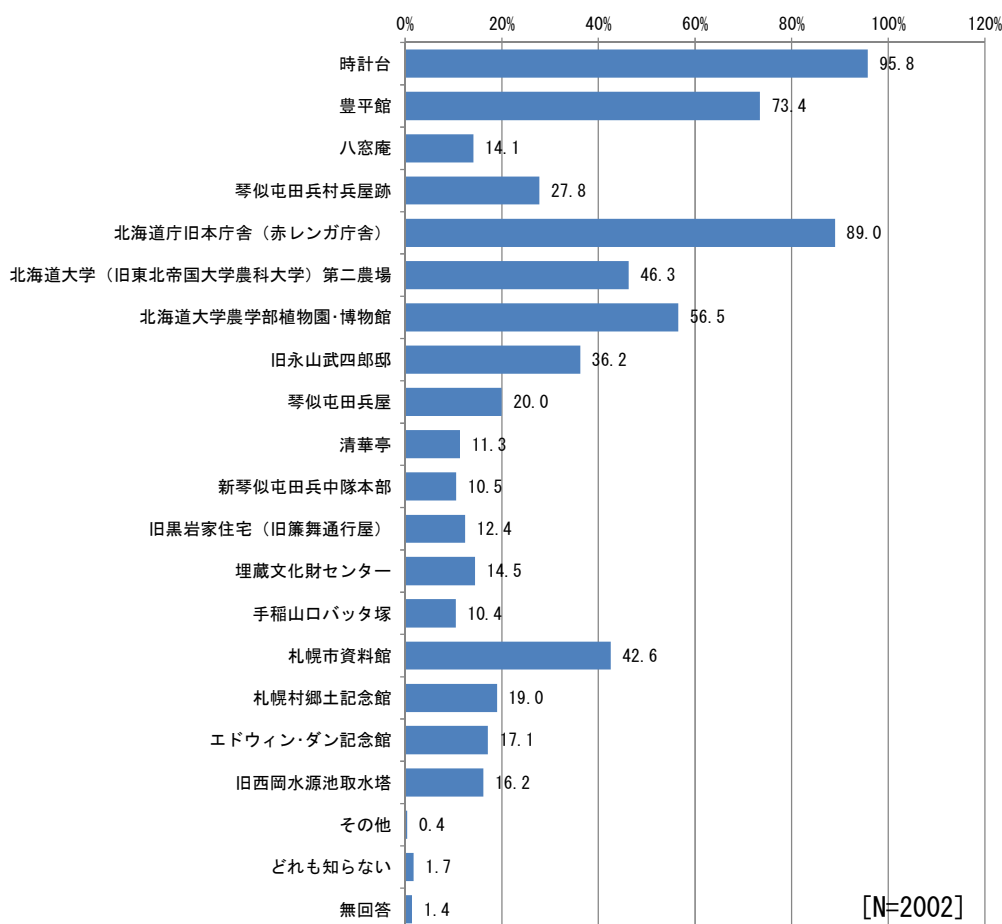
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 文化財施設の認知状況

【問38】 札幌市の文化財及び関係施設のうち、あなたが文化財施設として知っているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

文化財施設の認知状況については、「時計台」(95.8%)が最も高く、9割を超えている。



【対象者全体】

文化財施設の認知状況については、「時計台」が 95.8%と最も高く、次いで「北海道庁旧本庁舎 (赤レンガ庁舎)」が 89.0%、「豊平館」が 73.4%となっている。

【性別】

男性は「北海道大学 (旧東北帝国大学農科大学) 第二農場」が 50.9%と女性の 43.3%と比較し高い。女性は「札幌市資料館」が 46.7%と男性の 36.6%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「時計台」が最も高く、9割を超えている。「豊平館」は 50 歳代、60 歳代で 8 割を超えており、他の年代と比較し高い。65～69 歳では「札幌市資料館」が 54.1%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「時計台」が最も高く、9割を超えている。西区では「琴似屯田兵村兵屋跡」が 64.6%、手稲区では「北海道大学 (旧東北帝国大学農科大学) 第二農場」が 58.1%、中央区では「北海道大学農学部植物園・博物館」が 68.1%、北区では「新琴似屯田兵中隊本部」が 28.0%、南区では「旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)」が 45.7%、東区では「札幌村郷土記念館」が 32.7%、豊平区では「旧西岡水源池取水塔」が 27.5%とそれぞれ他の居住区と比較し高い。

問38 文化財施設の認知状況

		回答者数	時計台	豊平館	八窓庵	琴似屯田兵村兵屋跡	北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）	北海道大学（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	北海道大学農学部植物園・博物館	旧永山武四郎邸	琴似屯田兵屋	清華亭
全体		2,002	95.8	73.4	14.1	27.8	89.0	46.3	56.5	36.2	20.0	11.3
性別	男性	793	96.2	74.0	14.9	31.5	90.3	50.9	57.8	38.7	23.8	13.6
	女性	1,180	95.6	73.2	13.8	25.5	88.3	43.3	55.8	34.8	17.5	9.8
	無回答	29	89.7	65.5	6.9	17.2	79.3	37.9	51.7	24.1	13.8	10.3
年代別	20～29歳	149	94.6	21.5	1.3	13.4	79.2	38.3	40.9	11.4	6.7	6.7
	30～39歳	268	92.9	52.2	4.5	17.9	81.7	31.3	39.9	23.5	11.9	6.3
	40～49歳	335	96.7	71.9	9.0	23.9	91.3	39.1	53.4	35.5	16.1	9.0
	50～59歳	332	97.3	85.2	17.2	32.5	91.3	46.7	60.8	43.4	24.1	13.3
	60～64歳	217	97.7	85.7	16.6	30.0	94.9	53.0	66.4	43.3	23.5	12.9
	65～69歳	231	97.4	86.6	19.5	36.4	92.2	53.7	63.2	43.7	25.5	14.7
	70歳以上	446	94.4	83.4	22.2	33.0	88.8	56.7	63.2	40.4	24.9	13.7
	無回答	24	91.7	66.7	8.3	16.7	83.3	29.2	45.8	29.2	12.5	12.5
居住区別	中央区	229	95.6	77.3	22.3	22.7	89.5	47.6	68.1	40.2	16.6	14.8
	北区	300	96.3	73.3	11.0	31.7	91.3	53.0	62.0	34.7	16.3	14.7
	東区	254	93.7	65.4	12.2	17.7	87.0	47.6	51.6	43.7	12.6	13.8
	白石区	172	95.3	74.4	12.8	13.4	86.6	41.3	52.3	36.6	11.0	5.2
	厚別区	138	98.6	74.6	11.6	16.7	89.1	48.6	55.1	35.5	11.6	10.1
	豊平区	229	96.5	77.7	16.2	19.7	88.2	42.4	52.0	38.0	14.0	6.1
	清田区	117	94.9	70.1	7.7	19.7	88.0	30.8	47.9	30.8	12.8	7.7
	南区	164	93.9	76.2	21.3	19.5	87.8	45.7	56.1	39.6	14.0	12.2
	西区	226	96.0	72.1	13.7	64.6	88.5	42.5	56.6	30.1	54.9	14.2
	手稲区	148	98.0	75.7	10.8	45.9	95.3	58.1	57.4	29.1	33.1	8.8
	無回答	25	92.0	64.0	8.0	16.0	76.0	36.0	52.0	28.0	12.0	12.0

		新琴似屯田兵中隊本部	旧黒岩家住宅（旧藤舞通行屋）	埋蔵文化財センター	手稲山口バツタ塚	札幌市資料館	札幌村郷土記念館	エドウィン・ダン記念館	旧西岡水源池取水塔	その他	どれも知らない	無回答	計
全体		10.5	12.4	14.5	10.4	42.6	19.0	17.1	16.2	0.4	1.7	1.4	616.7
性別	男性	13.2	14.1	14.4	13.2	36.6	18.5	15.8	19.3	0.5	1.0	1.8	640.2
	女性	8.9	11.1	14.7	8.6	46.7	19.5	18.1	14.3	0.3	2.2	1.0	603.3
	無回答	3.4	20.7	10.3	6.9	37.9	10.3	13.8	6.9	－	3.4	6.9	517.2
年代別	20～29歳	3.4	4.7	4.7	6.0	28.9	16.1	10.7	5.4	－	4.0	0.7	398.7
	30～39歳	6.7	5.2	10.1	6.7	25.0	8.6	12.3	4.9	0.4	3.4	1.1	446.6
	40～49歳	9.0	9.9	18.2	13.1	37.9	14.0	15.2	10.1	－	2.4	0.3	576.1
	50～59歳	9.3	13.9	20.2	12.0	48.8	22.9	20.2	21.4	0.3	1.5	0.6	682.8
	60～64歳	10.6	17.1	15.7	9.7	45.6	18.4	22.6	22.6	0.9	1.4	0.5	688.9
	65～69歳	16.5	21.6	16.9	13.0	54.1	23.8	24.2	23.8	0.4	0.4	0.9	728.6
	70歳以上	14.6	12.8	11.9	10.3	49.6	25.1	15.0	20.6	0.7	0.4	3.8	685.4
	無回答	4.2	20.8	8.3	4.2	33.3	12.5	16.7	8.3	－	4.2	4.2	512.5
居住区別	中央区	5.2	10.9	27.9	5.2	56.3	15.3	17.9	14.4	0.4	1.3	1.3	651.1
	北区	28.0	7.7	12.3	12.0	40.0	19.0	10.3	9.3	－	1.7	0.3	625.0
	東区	7.9	8.7	9.1	7.9	38.6	32.7	9.4	12.6	0.8	2.8	2.8	578.3
	白石区	5.8	7.0	15.7	6.4	38.4	19.8	11.6	16.3	0.6	1.7	2.3	554.7
	厚別区	4.3	2.9	13.8	2.9	44.2	17.4	12.3	19.6	0.7	0.7	－	570.3
	豊平区	7.0	14.4	14.4	5.7	42.8	18.3	20.1	27.5	0.4	0.9	1.3	603.5
	清田区	4.3	6.0	7.7	4.3	35.9	14.5	7.7	17.1	－	1.7	2.6	512.0
	南区	4.3	45.7	20.7	7.3	43.3	14.0	68.3	30.5	0.6	3.0	1.2	705.5
	西区	12.8	11.5	9.7	13.3	40.3	11.9	8.4	9.7	0.4	2.2	0.9	654.4
	手稲区	14.2	11.5	13.5	43.9	45.9	23.0	12.8	12.2	－	0.7	1.4	691.2
	無回答	4.0	20.0	8.0	4.0	32.0	16.0	20.0	12.0	－	4.0	4.0	520.0

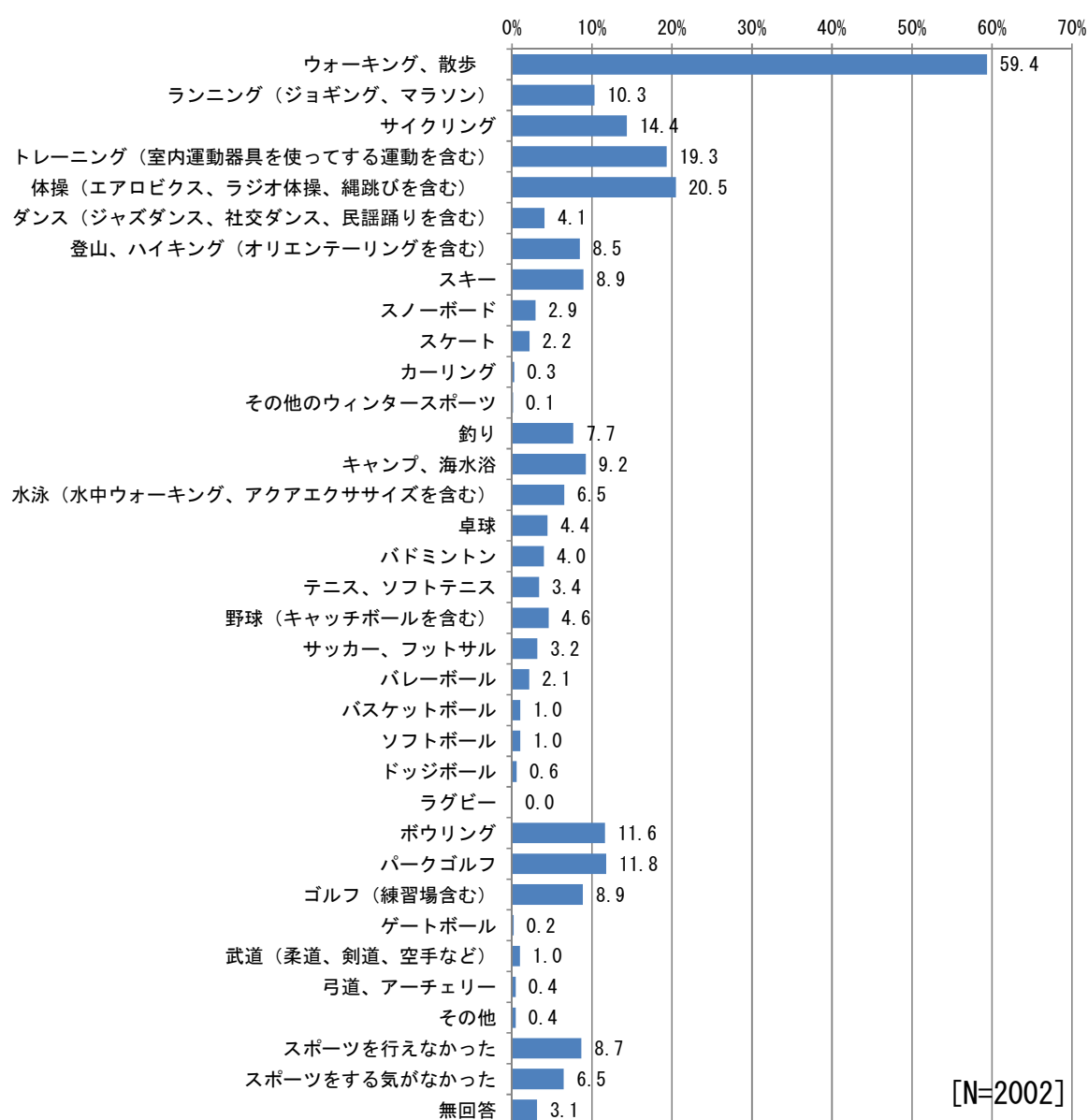
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 1年間に行ったスポーツの種類

【問39】あなたは、この1年間にスポーツ（運動）を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、スポーツ（運動）には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます（部活動は含まれます）。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

この1年間に行ったスポーツの種類については、「ウォーキング、散歩」(59.4%)が最も高く、約6割となっている。



【対象者全体】

この1年間に行ったスポーツの種類については、「ウォーキング、散歩」が59.4%と最も高く、次いで「体操 (エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」が20.5%、「トレーニング (室内運動器具を使ってする運動を含む)」が19.3%となっている。

【性別】

男性は「ゴルフ（練習場含む）」が 17.9%と女性の 3.0%と比較し高い。女性は「体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む）」が 25.5%と男性の 13.5%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「ウォーキング、散歩」が最も高く、特に 65～69 歳では 70.1%と他の年代と比較し高い。20 歳代では「ボウリング」が 30.2%、30 歳代では「キャンプ、海水浴」が 22.4%、40 歳代では「スキー」が 20.3%、65 歳以上では「パークゴルフ」がそれぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「ウォーキング、散歩」が最も高く、中央区では 66.4%となっている。居住区によって大きなバラつきは見られない。

問39 1年間にを行ったスポーツの種類

		回答者数	ウォーキング、散歩	ランニング（ジョギング、マラソン）	サイクリング	トレッキング（室内運動、器具を使ってする運動を含む）	体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳（水中ウォーキング、アクササイズを含む）	卓球	バドミントン
全体		2,002	59.4	10.3	14.4	19.3	20.5	4.1	8.5	8.9	2.9	2.2	0.3	0.1	7.7	9.2	6.5	4.4	4.0
性別	男性	793	63.1	17.3	18.5	22.6	13.5	1.0	9.3	12.7	3.7	2.3	0.3	0.1	14.0	11.3	6.2	4.2	4.2
	女性	1,180	57.7	5.8	11.8	17.5	25.5	6.3	7.9	6.5	2.5	2.2	0.3	0.2	3.6	8.0	6.9	4.7	4.0
	無回答	29	27.6	3.4	6.9	3.4	6.9	-	10.3	3.4	-	-	-	-	-	3.4	-	-	-
	20～29歳	149	59.1	28.9	19.5	30.9	14.1	6.0	10.7	8.1	15.4	3.4	-	-	8.1	13.4	10.1	7.4	14.8
年代別	30～39歳	268	49.6	16.8	16.4	19.8	16.4	2.6	10.1	11.6	8.2	3.7	-	0.4	10.4	22.4	9.3	4.1	6.0
	40～49歳	335	54.0	11.0	21.5	17.6	20.9	2.4	10.4	20.3	3.3	6.3	0.6	0.3	10.7	17.0	7.5	6.9	9.0
	50～59歳	332	57.5	8.4	12.0	16.9	16.0	2.7	7.8	9.0	0.6	1.5	0.3	-	6.0	7.2	5.4	3.6	2.4
	60～64歳	217	63.6	9.2	14.3	23.0	26.3	2.8	6.0	5.5	-	0.5	-	0.5	6.9	4.6	7.4	1.4	0.9
	65～69歳	231	70.1	6.1	14.3	21.2	22.5	6.5	7.8	7.4	-	0.4	0.4	-	6.5	1.7	6.5	4.3	-
	70歳以上	446	65.0	4.3	8.5	16.1	24.9	6.3	7.4	1.8	0.2	0.2	0.4	-	6.3	2.0	3.8	4.3	0.4
	無回答	24	25.0	4.2	4.2	8.3	8.3	-	8.3	4.2	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-
	中央区	229	66.4	16.2	17.5	23.6	21.4	4.4	14.8	14.8	1.7	3.1	0.4	0.4	7.4	7.9	5.2	4.8	3.5
居住区別	北区	300	63.3	8.3	14.7	23.0	21.7	3.0	6.7	6.7	3.7	1.7	-	-	10.7	11.0	5.7	4.3	4.3
	東区	254	53.9	10.6	12.6	18.1	19.3	5.1	9.1	10.2	4.7	4.3	-	-	6.7	7.5	6.7	2.4	6.3
	白石区	172	57.0	8.1	14.0	13.4	14.0	2.9	9.3	8.7	1.7	1.7	-	-	7.0	8.1	4.7	3.5	1.7
	厚別区	138	59.4	11.6	16.7	21.0	23.2	5.8	6.5	9.4	4.3	1.4	-	-	6.5	8.0	7.2	3.6	5.1
	豊平区	229	58.1	11.8	16.6	19.2	20.5	4.4	4.8	7.9	2.2	1.7	1.7	0.4	6.1	8.3	8.7	3.5	2.6
	清田区	117	55.6	10.3	14.5	16.2	24.8	4.3	5.1	6.8	0.9	2.6	0.9	-	4.3	11.1	6.0	7.7	5.1
	南区	164	60.4	11.0	9.8	23.2	23.8	3.0	11.6	10.4	4.3	1.8	-	0.6	7.3	13.4	7.3	3.0	3.7
	西区	226	59.7	6.6	14.6	15.5	21.2	5.8	8.8	6.2	1.8	2.2	-	-	9.3	8.0	8.8	8.0	5.3
	手稲区	148	62.2	10.1	12.8	18.9	17.6	2.7	6.8	8.8	4.1	0.7	-	-	10.1	11.5	5.4	5.4	2.0
	無回答	25	24.0	4.0	8.0	8.0	8.0	-	8.0	4.0	-	-	-	-	-	4.0	-	-	-

		テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答	計
全体		3.4	4.6	3.2	2.1	1.0	1.0	0.6	0.0	11.6	11.8	8.9	0.2	1.0	0.4	0.4	8.7	6.5	3.1	251.8
性別	男性	3.7	8.3	6.2	1.5	1.4	2.1	0.5	0.1	16.1	15.4	17.9	0.3	1.5	0.3	0.5	6.7	4.0	1.8	292.4
	女性	3.3	2.1	1.3	2.6	0.8	0.3	0.7	-	8.8	9.6	3.0	0.2	0.7	0.6	0.4	10.2	8.2	2.6	226.9
	無回答	-	3.4	-	-	3.4	-	-	-	3.4	3.4	3.4	-	-	-	-	3.4	3.4	62.1	151.7
	20～29歳	9.4	14.8	16.8	9.4	7.4	1.3	1.3	0.7	30.2	4.0	6.7	-	5.4	3.4	-	6.7	4.0	1.3	372.5
年代別	30～39歳	4.1	5.6	7.1	3.0	1.9	0.7	1.9	-	19.0	4.9	8.2	-	1.1	0.7	-	9.7	6.3	0.4	282.5
	40～49歳	4.5	9.9	4.8	2.7	0.9	2.4	0.6	-	15.5	3.9	5.1	-	0.9	0.6	1.2	6.3	9.9	0.6	289.3
	50～59歳	3.0	3.3	0.6	1.5	-	-	0.3	-	10.8	6.9	10.2	0.3	0.6	-	0.3	13.3	9.3	1.2	219.3
	60～64歳	4.6	1.8	0.5	0.9	-	2.8	0.5	-	6.5	13.4	12.9	-	0.9	-	0.9	8.3	2.8	3.7	233.2
	65～69歳	1.7	1.3	-	0.9	0.4	0.4	-	-	4.8	22.5	10.4	0.4	0.9	-	0.9	5.6	3.9	3.0	232.9
	70歳以上	0.9	0.7	0.2	0.7	-	0.4	0.2	-	5.2	22.4	9.4	0.4	-	-	-	9.4	6.1	5.2	213.2
	無回答	-	4.2	-	-	4.2	-	-	-	4.2	-	4.2	-	-	-	-	-	4.2	66.7	154.2
	中央区	2.6	3.1	2.6	1.3	0.4	1.7	1.3	0.4	10.5	7.4	10.5	0.4	0.4	0.9	0.4	10.0	5.2	1.3	274.2
居住区別	北区	2.3	6.7	3.3	2.0	1.7	1.3	0.3	-	12.7	14.3	11.7	-	2.7	0.7	0.7	7.3	4.0	1.7	262.0
	東区	3.5	5.5	4.3	3.9	2.0	1.2	0.4	-	11.8	11.0	8.3	0.4	1.2	-	-	10.6	9.4	2.8	254.3
	白石区	5.2	5.8	5.2	0.6	1.7	-	0.6	-	9.9	6.4	9.3	0.6	0.6	-	-	9.9	8.1	2.9	223.3
	厚別区	3.6	1.4	2.2	2.2	-	2.2	-	-	8.0	15.9	6.5	-	1.4	0.7	-	8.7	8.7	0.7	252.2
	豊平区	3.5	4.8	3.9	2.6	1.7	0.9	0.9	-	15.3	13.5	9.6	0.4	0.4	-	0.9	11.4	4.8	3.1	256.3
	清田区	5.1	5.1	2.6	1.7	0.9	2.6	0.9	-	15.4	11.1	10.3	-	-	-	0.9	3.4	9.4	4.3	249.6
	南区	3.0	4.3	3.0	1.8	0.6	0.6	1.2	-	10.4	12.8	6.7	-	1.2	0.6	1.2	7.9	6.1	-	256.1
	西区	5.3	3.5	1.8	3.1	-	0.4	-	-	10.6	11.1	7.5	-	0.4	0.9	-	7.5	6.2	4.0	244.2
	手稲区	0.7	4.1	2.7	1.4	-	-	0.7	-	12.2	16.9	6.8	-	0.7	-	-	8.8	6.1	3.4	243.2
	無回答	-	4.0	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	4.0	-	-	-	-	-	4.0	64.0	152.0

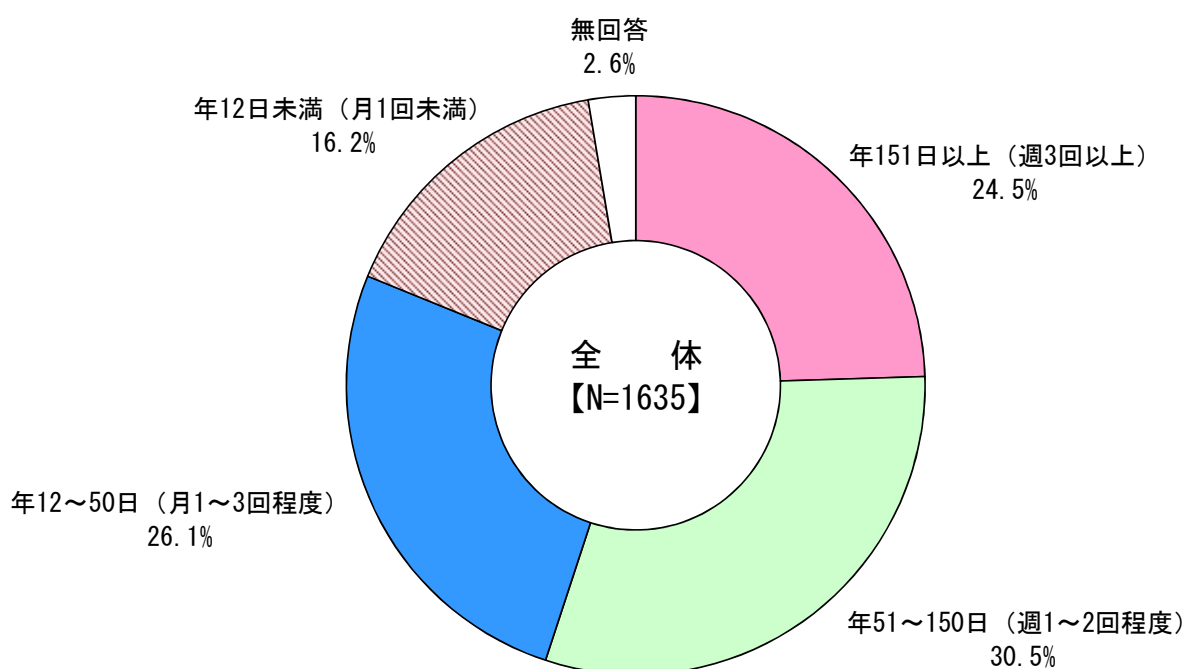
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ スポーツの頻度

【問40】 この設問は、問 39 で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。あなたが、問 39 で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1 年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツの頻度については、「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」(30.5%) が全体の約 3 割を占めている。



【対象者全体】

スポーツの頻度については、「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が 30.5%と最も高く、次いで「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が 26.1%、「年 151 日以上（週 3 回以上）」が 24.5%、「年 12 日未満（月 1 回未満）」が 16.2%となっている。

【性別】

男女共に「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が最も高く、男性が 28.7%、女性が 32.2%となっている。「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」は男性が 28.2%と女性の 24.6%と比較し高い。

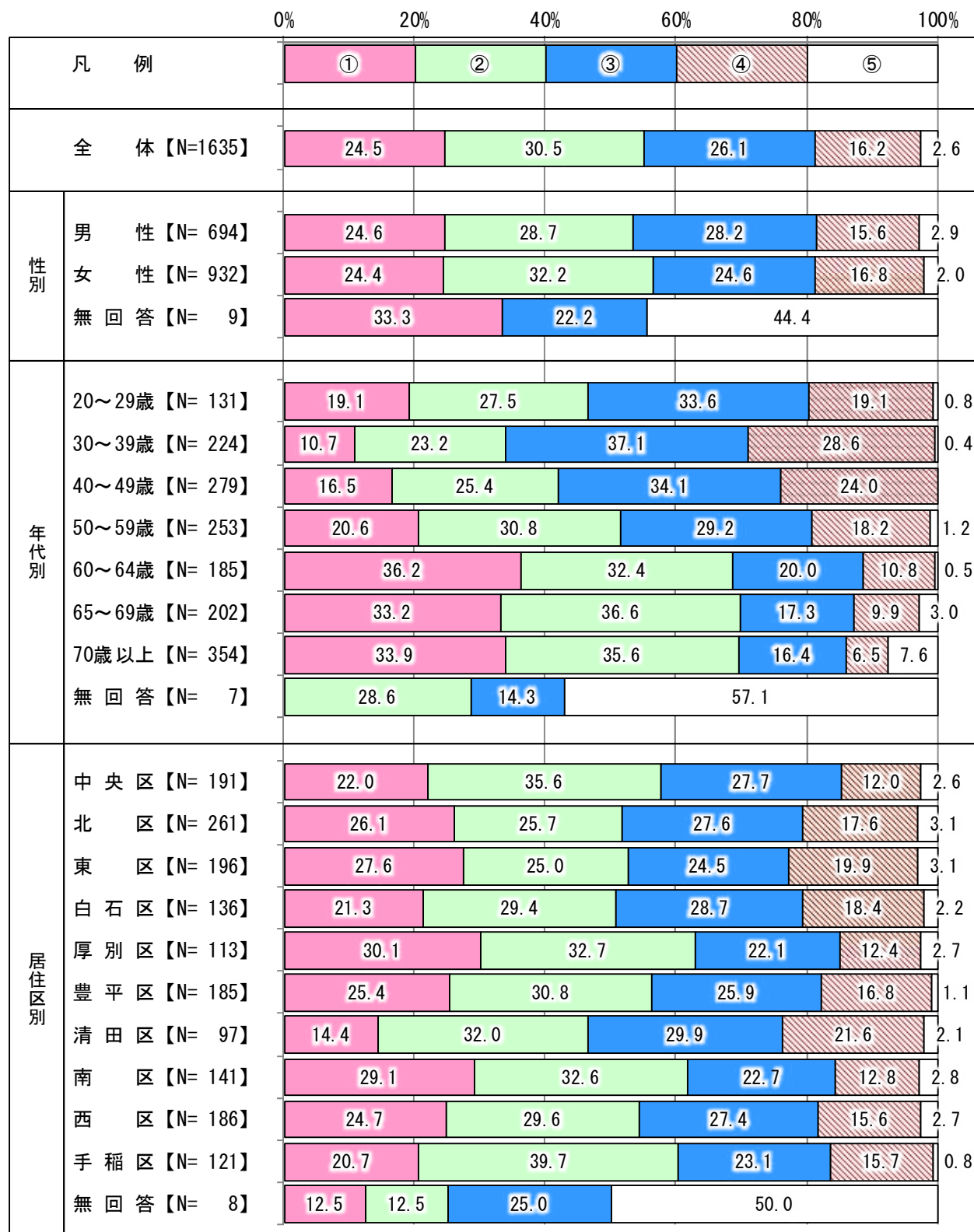
【年代別】

20 歳代、30 歳代、40 歳代では「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が最も高く、3 割程度となっている。50 歳代、65～69 歳、70 歳以上では「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が最も高く、3 割程度となっている。60～64 歳では「年 151 日以上（週 3 回以上）」が 36.2%となっている。「年 12 日未満（月 1 回未満）」は 30 歳代が 28.6%、70 歳以上が 6.5%と年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

中央区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区では「年 51～150 日（週 1～2 回程度）」が最も高く、特に手稲区では 39.7%と他の居住区と比較し高い。北区は「年 12～50 日（月 1～3 回程度）」が最も高く 27.6%となっている。東区では「年 151 日以上（週 3 回以上）」が最も高く 27.6%となっている。居住区によって若干バラつきが見られる。

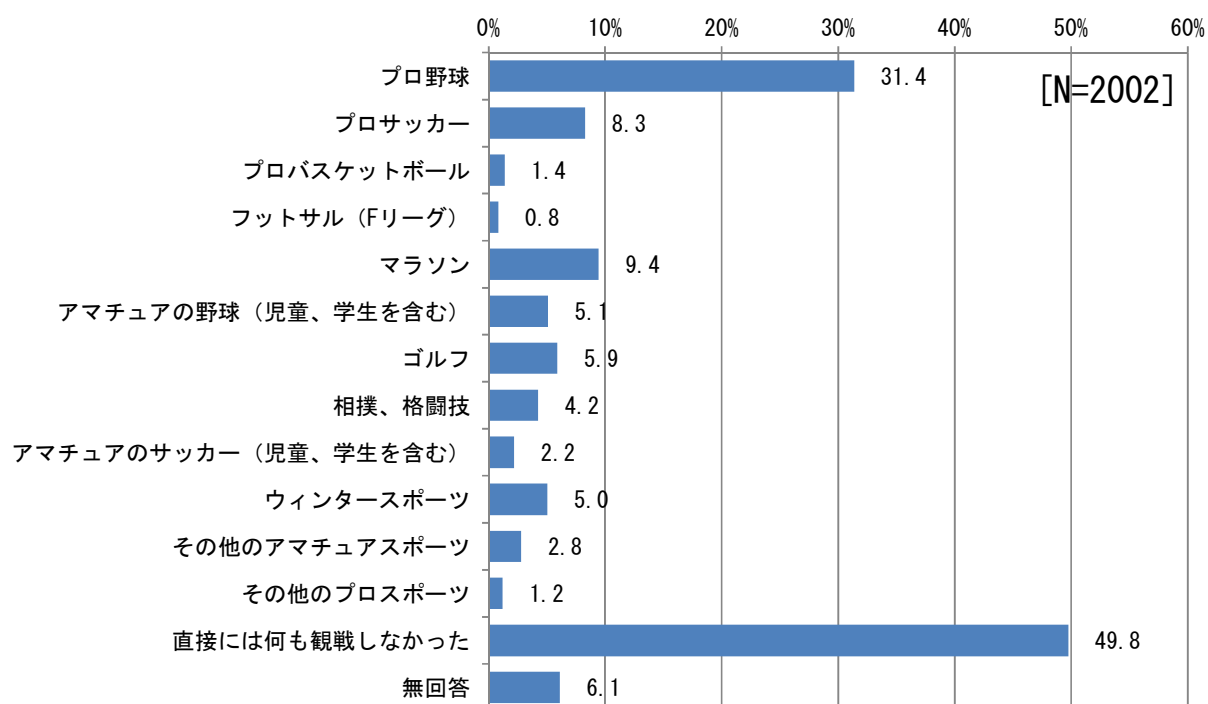
①年151日以上（週3回以上） ②年51～150日（週1～2回程度） ③年12～50日（月1～3回程度）
④年12日未満（月1回未満） ⑤無回答



・ スポーツ観戦について

【問41】 あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

この1年間に観戦したスポーツについては、「プロ野球」(31.4%)が3割を超えている。



【対象者全体】

この1年間に観戦したスポーツについては、「直接には何も観戦しなかった」が49.8%と最も高く、次いで「プロ野球」が31.4%、「マラソン」が9.4%となっている。

【性別】

男性は「プロ野球」が37.1%と女性の28.1%と比較し高い。女性は「直接には何も観戦しなかった」が53.6%と男性の45.4%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、特に60～64歳では59.0%と他の年代と比較し高い。65～69歳は「プロ野球」が40.3%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、特に白石区では59.3%と他の居住区と比較し高い。豊平区では「プロ野球」が38.4%、厚別区では「プロサッカー」が10.1%、中央区では「マラソン」が14.4%とそれぞれ他の居住区と比較し高い。

問41 スポーツ観戦について

(単位：%)

		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	ゴルフ	相撲、格闘技	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	ウィンタースポーツ	その他のアマチュアスポーツ	その他のプロスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答	計
全体		2,002	31.4	8.3	1.4	0.8	9.4	5.1	5.9	4.2	2.2	5.0	2.8	1.2	49.8	6.1	133.7
性別	男性	793	37.1	9.7	1.8	0.5	12.1	7.6	9.6	5.8	1.6	5.4	2.4	1.6	45.4	3.7	144.3
	女性	1,180	28.1	7.5	1.2	1.1	7.8	3.6	3.4	3.2	2.6	4.8	2.9	0.9	53.6	6.1	126.8
	無回答	29	10.3	3.4	-	-	3.4	-	6.9	3.4	-	3.4	10.3	-	10.3	72.4	124.1
年代別	20～29歳	149	25.5	7.4	0.7	1.3	2.7	4.7	-	1.3	2.0	3.4	1.3	1.3	57.0	2.7	111.4
	30～39歳	268	26.5	8.6	1.1	2.6	5.2	1.9	1.9	4.1	2.2	4.5	2.6	0.7	55.6	3.4	120.9
	40～49歳	335	30.1	11.0	3.0	0.9	6.9	6.0	3.3	4.2	4.8	4.5	3.6	1.2	49.6	1.8	130.7
	50～59歳	332	33.4	8.1	2.1	0.9	7.8	4.8	5.7	1.5	2.1	5.1	1.8	0.6	50.3	3.3	127.7
	60～64歳		27.6	4.1	0.9	-	6.9	5.1	7.8	3.2	1.4	2.8	2.3	0.5	59.0	5.5	127.2
	65～69歳	231	40.3	9.5	1.3	-	15.2	5.2	11.7	6.1	1.7	6.5	2.6	2.2	45.0	6.9	154.1
	70歳以上	446	34.3	8.3	0.4	0.4	16.1	7.0	8.5	7.2	1.1	7.0	3.8	1.8	43.5	10.3	149.8
	無回答	24	4.2	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	4.2	-	12.5	75.0	100.0
居住区別	中央区	229	29.7	8.7	2.6	0.4	14.4	3.9	6.1	3.5	0.4	5.2	1.7	2.2	51.5	4.8	135.4
	北区	300	29.3	9.7	0.3	1.0	11.7	6.7	7.3	4.7	1.3	5.0	3.3	0.7	47.0	5.3	133.3
	東区	254	29.9	9.4	0.8	1.2	8.7	5.1	5.5	5.5	3.9	8.3	2.4	2.4	50.0	6.3	139.4
	白石区	172	27.3	5.8	1.2	0.6	5.8	1.2	5.8	2.3	-	2.3	0.6	0.6	59.3	5.8	118.6
	厚別区	138	37.0	10.1	1.4	1.4	6.5	5.1	5.1	2.9	3.6	4.3	3.6	-	49.3	3.6	134.1
	豊平区	229	38.4	9.6	1.7	1.3	9.2	6.1	6.6	4.8	3.5	5.2	4.8	0.4	41.0	5.7	138.4
	清田区	117	35.0	6.8	0.9	0.9	5.1	9.4	7.7	4.3	4.3	5.1	0.9	1.7	50.4	4.3	136.8
	南区	164	29.3	6.1	2.4	0.6	10.4	6.1	3.0	3.0	1.8	4.3	3.0	1.2	51.2	6.7	129.3
	西区	226	33.6	8.8	1.3	0.9	8.4	3.5	5.8	6.6	2.2	4.0	2.7	1.8	51.8	4.4	135.8
	手稲区	148	29.7	6.1	2.0	-	11.5	5.4	5.4	3.4	2.0	6.1	4.1	0.7	55.4	4.7	136.5
	無回答	25	4.0	-	-	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-	16.0	72.0	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い